
慶應義塾大学 大学院 奨学金案内

2024年度 | 大学院版

奨学制度に関するWebサイト

奨学金・経済支援制度に関する連絡(募集・面接・推薦者発表・採用発表等)は、すべて在籍キャンパスのWebサイトへの掲出により行います。常に注意を払ってください。

奨学制度に関する情報および本奨学金案内のPDFは、Webサイトに掲載します。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/apply/form.html>

学内の奨学金、民間団体・地方公共団体の奨学金の募集要項は以下のページで閲覧できます。在籍するキャンパスの情報を確認してください。

《奨学金公募情報URL一覧》

三田	https://www.students.keio.ac.jp/mt/scholarships/unique/
矢上	https://www.st.keio.ac.jp/students/life/
湘南藤沢(政策・メディア研究科)	https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/
信濃町	https://www.students.keio.ac.jp/sn/scholarships/unique/
湘南藤沢(健康マネジメント研究科)	https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/nmc-gshm.html
芝共立	https://www.students.keio.ac.jp/sk/scholarships/unique/
日吉(経営管理研究科)	https://www.students.keio.ac.jp/hyg/scholarships/unique/
日吉(システムデザイン・マネジメント研究科)	https://www.students.keio.ac.jp/hyg/scholarships/unique/
日吉(メディアデザイン研究科)	https://www.students.keio.ac.jp/hyg/scholarships/unique/

申請書類・提出物送付先一覧

- ・キャンパスや奨学金によっては、郵送での申請を受け付けない場合や、送付先が異なる場合があります。必ず募集要項や塾生サイトで最新の情報を確認してください。
- ・在籍キャンパスの宛先を確認のうえ、送付してください(宛先を間違えると期日に間に合わず選考から漏れてしまうことがあります)。
- ・郵便物はレターパックライト等、記録の残る方法で送付してください。宅配便・バイク便は利用できません。
- ・レターパックの品名や封筒の表面には、送付する書類の奨学金名称を記載してください。
- ・入構禁止期間中(大学一斉休暇期間を除く)も郵便物は届きます。申請締切日必着で郵送してください。

研究科	郵便番号	住所	宛先
文学研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛
経済学研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛
法学研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛
社会学研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛
商学研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛
医学研究科	〒160-8582	新宿区信濃町35	慶應義塾大学学生課学生生活担当宛
理工学研究科	〒223-8522	横浜市港北区日吉3-14-1	慶應義塾大学理工学部学生課学生生活担当宛
政策・メディア研究科	〒252-0882	藤沢市速藤5322	慶應義塾大学湘南藤沢事務室奨学金担当宛
健康マネジメント研究科	〒252-0883	藤沢市速藤4411	慶應義塾大学看護医療学部事務室奨学金担当宛
薬学研究科	〒105-8512	港区芝公園1-5-30	慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課奨学金担当宛
経営管理研究科	〒223-8526	横浜市港北区日吉4-1-1	慶應義塾大学日吉学生部大学院 経営管理研究科 奨学金担当宛
システムデザイン・マネジメント研究科	〒223-8526	横浜市港北区日吉4-1-1	慶應義塾大学日吉学生部大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 奨学金担当宛
メディアデザイン研究科	〒223-8526	横浜市港北区日吉4-1-1	慶應義塾大学日吉学生部大学院 メディアデザイン研究科 奨学金担当宛
法務研究科	〒108-8345	港区三田2-15-45	慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当宛

奨学金に関する問い合わせ

4月・5月の奨学金担当窓口は申請受付および申請相談で大変混み合いますので、電話による質問等は受けられない場合があります。問い合わせについてはできる限りK-Supportからお願いします。

I. 奨学金制度について 2

- 奨学金を申請する前に 2
- 奨学金制度一覧 2
- 申請資格 3
- 募集スケジュール 3
- 選考基準 3
- 申請方法 4
- 大学からの連絡手段について 4
- 塾生サイトから奨学金公募情報へのアクセス方法 5
- 奨学金公募情報の見方 6

II. 各奨学金の概要

1. 学内の奨学金(給付) 7

- 学内の奨学金(給付)の種類 7
- 募集から採用までの流れ 7
- 学内の奨学金の概要 8
 - 1 慶應義塾大学大学院奨学金 8
 - 2 慶應義塾大学修学支援奨学金 8
 - 3 指定寄付奨学金 8
 - 4 研究のすゝめ奨学金 10
 - 5 研究科独自の奨学金 10
- 【参考】学費・授業料等延納申請 11

2. 日本学生支援機構奨学金(貸与) 12

- 日本学生支援機構奨学金について 12
- 定期採用 14
- 緊急採用(第一種)・応急採用(第二種) 15
- 第二種奨学金(海外) 15
- 採用後の手続き 16
- 特に優れた業績による返還免除制度 16

3. 民間団体・地方公共団体の奨学金(給付・貸与) 17

- 募集から採用、返済(貸与奨学金の場合)までの流れ 17
- 民間団体・地方公共団体の奨学金募集方法について 18
- 学外の奨学金の概要 19
 - 民間団体・地方公共団体の奨学金 19

III. 申請に必要な書類 23

- 学内の奨学金 24
- 民間団体・地方公共団体の奨学金 24
- 日本学生支援機構奨学金 25
- 申請に必要な書類の詳細 26
- 収入・世帯事情に関する必要書類の詳細 28
- 奨学金Web申請システム 33
- 2024年度 大学院奨学金申請書・選考シート
入力上の注意と入力例 35

IV. 奨学金以外の経済支援制度について 45

1. 慶應義塾大学教育ローン制度 45
2. 国の教育ローン(日本政策金融公庫) 45
3. 生活福祉資金 教育支援資金(全国社会福祉協議会) 45

V. 特別な事情の場合に申請できる
奨学金・経済支援制度 46

1. 家計が急変した際に申請できる奨学金 46
2. 原級(留年)中に申請できる奨学金・経済支援制度 46
3. 大規模自然災害(激甚災害)により被災した塾生を対象とする奨学金 46
4. 留学の際に利用できる奨学金・留学を支援するための制度 46

VI. 採用後の注意事項 47

- 学籍異動(休学・留学・原級・停学・退学)に関わる手続き 47
- 住所変更(本人および保証人)・保証人変更・
改姓・振込口座変更に関わる手続き 47
- 奨学金 申請・採用者数(のべ数・2023年度実績) 48

〈個人情報の保護について〉

- 提供された個人情報は、奨学金選考およびこれに付随する奨学金業務を行う目的で利用するほか、①学事に関する管理、連絡および手続き、②学生生活全般に関する管理、連絡および手続き、③本人および保証人宛に送付する各種書類の発送、その他入学手続き要項に記載されている目的で利用することがあります。
- 奨学生として採用された場合、奨学生である資格確認をするために、進級・原級(留年)・修了・退学・休学・留学・停学等の在籍状況に関する情報および学業成績に関する情報(修得単位数、成績評語)を当該の奨学団体に提供することがあります。

I. 奨学金制度について

慶應義塾大学大学院で扱う奨学金は、慶應義塾大学独自の奨学金(学内奨学金)、日本学生支援機構奨学金、民間団体・地方公共団体の奨学金の3つに大別されます。いずれの奨学金制度も、学生が研究に専念し、高度な専門性を身につける環境を整え、社会に貢献しうる人材を育成することを目的としています。この案内には、それぞれの奨学金の申請から採用手続きまでの事項が記載されています。各自が在籍中に要する経費、家庭からの援助などの経済的設計を明確に認識したうえで、それぞれの奨学金の趣旨を理解し、活用してください。

奨学金を申請する前に

1. 奨学金を申請する前に、どれくらいの経済的支援が必要か考えてみましょう。
2. 貸与奨学金を利用した場合、返済するのは修了後の自分自身です。貸与額は自己の責任の負える範囲に抑えるなど慎重に検討してください。
3. 奨学金に関するお知らせ(募集・面接・推薦者発表・採用発表等)は、塾生サイトおよび「K-Support」や「keio.jp」のメールアドレス(▶ p.4)宛のメール、奨学金Web申請システム(▶ p.33~44)等で案内します。常に注意を払ってください。
4. 奨学金の手続きは、在籍キャンパスのみ・本人からのみ受け付けます。
 - 郵送必着日以降、受付期間外、受付時間外、在籍キャンパス以外での申請は一切受け付けません。万が一、やむを得ない事情で所定の期間内に申請できない場合は、必ず事前に在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ相談してください。
 - 必ず学生本人が提出してください。保証人や友人等の代理提出は受理しません。
 - 書類に不備や誤りがあった場合、選考から外れることがあります。
5. 虚偽の申請をした場合には採用が取り消されます。また、その後の奨学金の審査に影響する場合があります。
6. 大学保健管理センターで行う定期健康診断は必ず受診してください。

奨学金制度一覧

以下が代表的な奨学金です。p.45では奨学金以外の経済支援制度を紹介しています。

奨学金の種類		種 別		申請時期(予定)	金 額	期 間	対 象
学 内	慶應義塾大学大学院奨学金 ▶ p.8	給付		4月入学者:4～5月 9月入学者:9～10月 (研究科により異なる)	年額50万円・60万円 (研究科・課程により異なる)	1年間 (再申請可)	修士課程 博士課程
	慶應義塾大学修学支援奨学金 ▶ p.8	給付		5月下旬～6月、11月	学費の範囲内の金額 (支給額平均年額約30万円)	1年間 (再申請可)	修士課程 博士課程 法務研究科
	指定寄付奨学金 ▶ p.8～9	給付		4～5月	年額10万円～ 学費の範囲内の金額 (奨学金により異なる)	1年間 (奨学金により再申請可)	奨学金により異なる
	研究のすゝめ奨学金 ▶ p.10	給付		入学前あるいは 入学後 (研究科により異なる)	年額30万円・50万円・70万円 (研究科により異なる)	1年間 (一部研究科は再申請可)	研究科により異なる
	研究科独自の奨学金 ▶ p.10	給付		研究科により異なる			
学 外	日本学生支援機構奨学金 ▶ p.12～16	貸与	第一種 (無利子)	4月、10月	月額50,000円、88,000円の いずれかを選択	標準 修業年限	修士課程 法務研究科
			第二種 (有利子)		月額80,000円、122,000円の いずれかを選択		博士課程
					月額5万円、8万円、10万円、13万円、 15万円の中から自由に選択 * 法務研究科法曹養成専攻は4万円 または7万円の増額可		修士課程 博士課程 法務研究科
	民間団体・地方公共団体の奨学金 ▶ p.17～22	給付		主に 4月、5月	奨学団体により異なる		
		貸与					

上記の情報は変更となる場合があります。申請前に塾生サイトで最新の情報を確認してください。

奨学金における支給期間の「1年間」とは、4月入学生の場合、春学期から秋学期まで、9月入学生の場合、秋学期から翌年春学期までを1年間として扱います。

申請資格

- 慶應義塾大学大学院に正規生として在籍する学生であること。
- 日本国籍を有する者。外国籍の場合は、法定特別永住者・永住者・定住者・日本人（永住者）の配偶者または子。
在留資格「家族滞在」の場合、「学内の奨学金」で単年度採用のものへ申請可。条件により、「日本学生支援機構奨学金」へも申請可。

【注意】

- (1) 原則、休学中・停学中の者は申請できません。留学中の者の申請の可否は奨学金ごとに異なります。
- (2) 原級（留年）中の者は申請できる奨学金が限られています（休学・留学終了後の原級者は除く）。（▶ p.46）
- (3) 在留資格「留学」の場合は、国際センターホームページ（<https://www.ic.keio.ac.jp/>）で募集している奨学金を参照してください。

❗ 日本学術振興会に採用されている皆さんへ

日本学術振興会 特別研究員に採用されている者は、採用期間中、他のフェローシップ・奨学金等同種の資金を日本学術振興会以外から受給することが制限される場合があります。奨学金へ申請する際には、必ず奨学金の募集要項、日本学術振興会の遵守事項をよく確認するよう注意してください。

❗ 科学技術振興機構「博士後期課程学生支援プロジェクト」に申請予定または採用されている皆さんへ

科学技術振興機構「博士後期課程学生支援プロジェクト」に申請予定の者は、奨学金によっては申請が制限されているものがあります。また、「博士後期課程学生支援プロジェクト」の採用期間中には、他の奨学金との併給・受給に制限があったり、「生活費」とみなされる奨学金との併給が認められないことがあります。申請する際は、必ず奨学金の募集要項や科学技術振興機構の遵守事項をよく確認するよう注意してください。

募集スケジュール

奨学金の募集および申請は、4月から5月にかけて集中します。それ以外の時期にもいくつか募集はありますが、数は限られています。また、スケジュールは在籍キャンパスによって異なります。何らかの奨学金を利用したい場合は、申請時期を逃さないよう注意してください。

選考基準

奨学金の選考にあたって何を重視するかは奨学金ごとに異なります。家計基準を重視するもの、学力を重視するもの、家計基準と学力の両方を見るものがあります。奨学金によっては、さらに面接や作文を課すものもあります。なお、選考の経過および決定の理由は公表しません。

■ 学力基準 ■

学力について基準が設けられている奨学金は、提出された成績関係書類（▶ p.26⑤）により審査します。学内の奨学金および民間団体・地方公共団体の奨学金の中には、研究計画書や研究業績の提出を求める場合があります。提出された書類で総合的に審査します。

■ 家計基準 ■

<学内の奨学金、民間団体・地方公共団体の奨学金>

家計について基準が設けられている奨学金については、所得およびその世帯の家族構成・通学形態・授業料などから算出された認定所得金額をもとに審査します。基準として見るものは、父母両方（母子・父子世帯の場合は母または父の分。父母ともにいない場合には、父母に代わって家計を支えている者）の合計収入です。独立生計者として認定された場合は、本人および配偶者の合計収入を基準として見ます。独立生計者として認定されるには一定の条件を満たしている必要があります。（▶ p.27⑮）

奨学団体によって独自の家計基準が設けられている場合はその基準に準じますが、特に細かい基準が設けられておらず申請資格に家計が考慮される記載がある場合は、概ね日本学生支援機構の学部第一種家計基準に準じます。次のモデルケースは、あくまで収入の上限額の目安として参考にしてください。

【参考】家計基準（4人家族[生計維持者1名] 父・母・本人（自宅外通学・修士課程）・弟（公立高校・自宅通学））のモデルケース（上限額の目安）

研究科	文・経済・法・社会・商学 研究科	医学 研究科	理工学 研究科	経営管理 研究科 MBA プログラム	経営管理 研究科 EMBA プログラム	政策・ メディア 研究科	健康 マネジメント 研究科	システムデザイン・ マネジメント研究科 メディアデザイン 研究科	薬学 研究科	法務研究科 法曹養成 専攻
授業料	100万円	141万円	108万円	215万円	350万円	146万円	170万円	192万円	103万円	114万円
給与所得の世帯 （源泉徴収票等の支 払金額（税込））	860万円	901万円	868万円	975万円	1,110万円	906万円	930万円	952万円	863万円	874万円
給与所得以外の世帯 （確定申告書等の所得 金額）	452万円	493万円	460万円	567万円	702万円	498万円	522万円	544万円	455万円	466万円

＜日本学生支援機構奨学金＞

本人および配偶者（配偶者は定職収入がある場合のみ）の2023年分（1月～12月）の収入金額が、日本学生支援機構が設けている収入基準額以下であることが申請資格となります。なお、配偶者が給与所得者の場合は、配偶者のみ下表の[参考]給与所得控除をしたうえで、本人の収入金額と合算します。日本学生支援機構第一種奨学金については、2024年の収入見込み金額が収入基準額超過の許容範囲内で特殊な事情がある場合、申請できることがありますので、在籍キャンパスの奨学金担当窓口で相談してください。

区 分			修士課程	博士課程	法務研究科
日本学生 支援機構 奨学金	第一種	収入基準額超過の許容範囲	389万円	442万円	389万円
	第二種	収入基準額	536万円	718万円	536万円
	併用貸与	収入基準額	284万円	299万円	284万円

【参考】給与所得の控除額（配偶者のみ）

年間収入金額（税込）	控除額
268万円未満の場合	年間収入金額と同額
268万円以上、400万円以下の場合	年間収入金額×0.2+214万円
400万円を超え、781万円以下の場合	年間収入金額×0.3+174万円
781万円を超える場合	408万円

なお、2023年の収入金額が申請時に以下のような理由で変動している場合は、2024年の収入見込み金額が基準となります。

- 定職、アルバイトを退職、休職または就労時間が減少した場合
- 新たに定職、アルバイトに就いた場合
- 父母からの給付額が大幅に増額・減額した場合
- 奨学金が終了した場合
- その他の収入が大幅に増額・減額した場合

申請方法

『奨学金案内（大学院版）』や塾生サイト等で募集要項を確認のうえ、所定の申請期間内に書類をそろえ、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ提出してください。郵送による提出の場合は、締切日必着で送付してください。

奨学金の申請受付時間・申請場所

キャンパス	申請受付時間	申請場所	確認方法
三田	9:30～15:00	学生部福利厚生支援担当（南校舎地下1階）	塾生サイト「奨学金公募情報一覧」 に掲出（☐ 表紙裏）
日吉	奨学金により異なる	学生部大学院担当（協生館2階）	
矢上	9:30～15:00	学生課学生生活担当（25棟1階）	
信濃町	8:45～16:45	学生課学生生活担当（孝養舎1階）	
湘南藤沢	政策・メディア研究科	奨学金により異なる	
	健康マネジメント研究科	事務室学生生活担当（A館1階）	
芝共立	9:30～11:30	看護医療学部事務室（1階）	
	12:30～16:00		
芝共立	8:45～11:20	学生課3番窓口（1号館1階）	
	12:20～16:45		

- 原則として土・日・祝日は休業です。
- 募集や申請などはすべて在籍キャンパスを通じて行います。各奨学金の詳細については、必ず在籍キャンパスの塾生サイトを確認してください。
- 4月・5月の奨学金担当は申請受付および申請相談で大変混み合いますので、電話による質問等は受けられない場合があります。

大学からの連絡手段について

奨学金の申請後に大学から個別の連絡を行う際は、原則として「K-Support」や「keio.jp」のメールアドレス等に連絡をします^(※)。また、申請書類の不備について、奨学金Web申請システムを通して連絡することもあります。

奨学金を申請した後は、奨学金Web申請システム（☐ p.33～44）および「K-Support」や「keio.jp」のメールを確認するようにしてください。

【新入生の皆さんへ】「keio.jp」のメールアドレスとは？

入学後に皆さんで自身で設定して使用可能となる、大学独自のメールアドレスです。以下のようなメールアドレスの形式となり、慶應IDと呼んでいます。

（例）keiotaro@keio.jp

@の前はアクティベーション時に希望した文字列となります。取得方法は以下のWebサイトで確認してください。
keio.jpマニュアル https://www.itc.keio.ac.jp/ja/keiojp_manual.html

（※）湘南藤沢キャンパスではCNSメールも使用します。詳細は在籍キャンパスの奨学金担当に確認してください。

塾生サイトから奨学金公募情報へのアクセス方法

(例 在籍キャンパス:三田、在籍研究科:文学研究科)

在籍キャンパスによって表示が異なります。

1. 在籍キャンパスを選択する



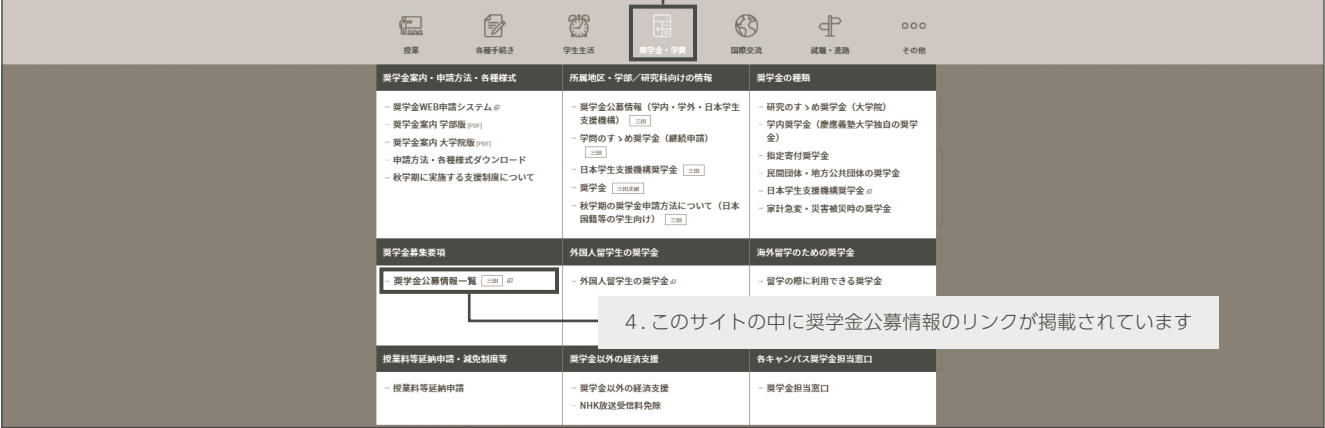
2. 所属研究科を選択する

塾生注目

新型コロナウイルス感染症への対応について

塾生向けの情報は、「新型コロナウイルス感染症への対応（塾生向け）」ページにまとめています。
随時更新します。最新情報を確認してください。

3. 「奨学金・学費」を選択する



4. このサイトの中に奨学金公募情報のリンクが掲載されています

※閲覧には慶應IDでの認証が必要

Ⅱ. 各奨学金の概要

1. 学内の奨学金(給付)

学内の奨学金(給付)の種類

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 慶應義塾大学大学院奨学金 | (☞ p.8) |
| 2 慶應義塾大学修学支援奨学金 | (☞ p.8) |
| 3 指定寄付奨学金 | (☞ p.8~9) |
| 4 研究のすゝめ奨学金 | (☞ p.10) |
| 5 研究科独自の奨学金 | (☞ p.10) |

特 徴	注意事項
■ 慶應義塾大学が独自で行っている奨学金は、すべて返済の必要がない給付の奨学金です。 ■ ほとんどの奨学金の給付期間は1年間ですが、原則再申請することができます。1年間単位で申請ができるため、それだけ多くの学生にチャンスがあります。 ■ 塾員(卒業生)や三田会、篤志家など、慶應義塾大学を支援してくださる方々からいただいた寄付金で運営している奨学金が多いのも特徴です。	■ 学費未納者は申請を認められない奨学金があります。 ■ 選考の経過および決定の理由は公表しません。 ■ 虚偽の申請をした場合には、採用が取り消されます。 ■ 採用後、奨学生として不適格と認められた場合、その資格を失うことがあります。この場合、支給された金額の全額または一部を返還しなければなりません。 ■ 研究科によっては独自の給付奨学金を設置しています。 ☞ p.10

募集から採用までの流れ (研究科独自の奨学金を除く)

①募集	在籍キャンパスの塾生サイト「奨学金公募情報一覧」にて募集要項が公開されます(慶應IDの認証が必要)。この時点で、申請期間・締切日だけでなく、一次選考合格者発表日や面接予定日についても確認してください。申請期間・締切日、受付時間、申請場所等は在籍キャンパスによって異なりますので、必ず在籍キャンパスの情報を確認してください。
②申請書類提出 ☞ p.23	指定の申請期間内または申請締切日時までに、奨学金Web申請システム(☞ p.33~44)で必要事項を入力の上、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ、必ず学生本人が所定の書類一式を提出してください。郵送による申請の場合は、締切日必着です。
③申請受付状況の確認	申請書類が大学で受理されると、奨学金Web申請システムの「奨学金申請・受給状況確認」画面で、選考状況が「選考中」と表示されます。書類提出後数日経っても「選考中」とならず、かつ、大学から何の連絡も届かない場合は、在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで問い合わせてください。郵送で申請した場合、必ず配送事業者に配達状況を確認のうえ、大学に書類が到着した5営業日以降に問い合わせてください。
④一次選考(書類)	申請書類をもとに書類選考を行います。
⑤一次選考合格者発表	奨学金によっては面接を行いますので、一次選考合格者の発表とともに二次選考(面接)等について案内します。一次選考合格者発表と面接の案内の確認を怠ったことで面接欠席=失格とならないよう、十分注意してください。
⑥二次選考(面接)	面接が行われる場合は、⑤の一次選考合格者発表時の指示に従ってください。奨学金Web申請システム(☞ p.33~44)でも確認できます。面接を欠席した場合は失格となり、以後その奨学金に推薦されることはありません。また、他の奨学金の審査に影響することもあります。
⑦採用者発表	選考結果は奨学金Web申請システム、「K-Support」のメッセージ等で確認できます。なお、奨学金によっては別途書類を提出していただきますので、指示に従ってください。
⑧奨学金支給	学生本人名義の口座へ全額一括で振り込みます(振込み日は「K-Support」のメッセージ等で案内します)。
⑨採用後の注意事項	☞ p.47を申請前に確認してください。

異なる選考の流れとなる場合もあるので必ず「奨学金公募情報一覧」・大学から配信される情報等を確認してください。

学内の奨学金の概要

1 慶應義塾大学大学院奨学金

目 的	研究の意欲を持ち、経済的に修学困難で、学業成績・人物ともに優秀で健康である者を支援します。使途は学費とし、授業料に対する援助を目的とします。
支 給 額(年額)	研究科・課程により50万円もしくは60万円 詳細は募集要項で確認のこと。
対 象 者	修士課程、博士課程 ※法務研究科は対象とはなりません。 ■奨学金受給期間が通算で標準修業年限<修士2年、博士3年、博士4年(医学研究科、薬学研究科薬学専攻)>を超えない者(原級者・選考進級者も申請できますが、選考上考慮されます) ■申請時に前学期までの学費を納めている者
学 力 基 準	成績優秀であること
家 計 基 準	☑ p.3
給 付 期 間	1年(再申請可) 4月入学者は当該年度4月から翌年3月まで、9月入学者は当該年度10月から翌年9月まで
申請時期(予定)	4月入学者: 4~5月 9月入学者: 9~10月(研究科により異なる)
申 請 書 類	☑ p.24 ■課題作文の有無は各研究科の指示に従ってください。
選 考 方 法	書類審査のみ
支 給 方 法	学生本人名義の口座へ全額一括振込(春学期は7月、秋学期は12月予定)
2023年度採用実績	125名

2 慶應義塾大学修学支援奨学金

目 的	勉学の意欲を持ちながらも、急激な家計状況の変化、あるいは、継続的な困窮のため、経済的に修学が困難な者を支援します。
支 給 額(年額)	学費の範囲内の金額(参考:支給額平均は約30万円) 全研究科全学年(原級(留年)者も可)
対 象 者	以下の理由のいずれかにより、学費に充てる資金の確保が困難であり、学業の継続に支障をきたしている者 ■大学院入学後、かつ申請時期から遡っておおよそ1年以内に生計維持者の死亡・やむを得ない失職等で、家計が急変した ■政令で指定される激甚災害 ^(※) により、生計維持者(または学費負担者である学生本人)が被災した ■家計が困窮した状態が続き、解消される見込みがない (※)申請の対象となる「激甚災害」は募集開始時に募集要項にてお知らせします。また、公的機関が発行する罹災証明書などの提出が必要です。 東日本大震災における被災者は、「慶應義塾大学東日本大震災被災学生復興支援奨学金」に申請してください。 ☑ p.46
学 力 基 準	選考上考慮します。 原級(留年)者・選考進級者が申請する場合は、通常の申請書類に加え、修業に向けた「学習計画書」の提出が必要です。
家 計 基 準	☑ p.3
給 付 期 間	1年(再申請可)
申請時期(予定)	(春学期)5月下旬~6月 ・ (秋学期)11月
選 考 方 法	一次選考: 書類審査(課題作文あり) 二次選考: 面接(一次選考合格者のみ) ※激甚災害による被災を理由にして申請する場合は、原則書類選考のみ(公的機関が発行する罹災証明書などの提出が必要です)
支 給 方 法	学生本人名義の口座へ全額一括振込(春学期は7月、秋学期は翌年1月を予定)
2024年度採用予定人数	100名程度(学部含む)

3 指定寄付奨学金

目 的	指定寄付奨学金とは、卒業生の団体である三田会や、篤志家より受けた寄付金をもとに設置された奨学金です。
対 象 者	対象者・学力基準・家計基準は奨学金により異なります。指定寄付奨学金一覧(☑ p.9)を参照してください。
学 力 基 準	学力基準・家計基準については、各奨学金の募集要項を参照してください。
家 計 基 準	
支 給 額(年額)	10万円~学校納付金相当額。奨学金により異なります。指定寄付奨学金一覧(☑ p.9)を参照してください。
給 付 期 間	1年(再申請の可否は奨学金により異なる)
申請時期(予定)	4~5月
選 考 方 法	■春学期に申請する場合は、大学所定の申請書式(大学院版)©-2にある指定寄付奨学金専用の申請票で、希望する奨学金に○をしてください(上限は3団体です)。なお、「三田法曹会奨学金」「田中實記念奨学金」「森敬・L.R.ライン奨学金」および「ゴールドマン・サックス博士課程進学支援奨学金」は上限3団体には含みません。別途、指定なしの申請票を使って申請してください。 一次選考: 書類審査(申請する奨学金により課題作文があります。指定寄付奨学金一覧(☑ p.9)を参照してください。) 二次選考: 面接(一次選考合格者のみ)
支 給 方 法	学生本人名義の口座へ全額一括振込(7月を予定)
2024年度採用予定人数	指定寄付奨学金一覧(☑ p.9)を参照してください。
そ の 他	■2024年9月24日(火)に三田キャンパスで開催予定の奨学金授与証交付式および懇談会に必ず出席しなければなりません。 ■採用者は奨学金出資者宛に御礼状の提出が必要な場合があります。 ■採用者は奨学金出資者が主催する各種会合等に参加を求められる場合があります。

●指定寄付奨学金一覧

以下は2024年度に募集を行う予定の奨学金の一覧です。募集時に金額・申請資格等が変更される場合や、キャンパス独自(対象となる研究科が限定されているもの)の奨学金で個別に申請が必要な場合があります。必ず募集要項を確認してください。

申請する奨学金により、課題作文AもしくはBを提出していただきます(「三田法曹会奨学金」「田中實記念奨学基金」「森敬・L.R.クライン奨学金」および「ゴールドマン・サックス博士課程進学支援奨学金」は別途指定あり。募集要項参照)。AまたはBの指定は一覧を参照してください。なお、複数の指定寄付奨学金に申請する場合で課題作文が同じ場合は、一つの課題に対して一つの作文提出で構いません。

作文用紙の奨学金名称には「指定寄付奨学金」と記入してください。

課題作文A	タイトル「A.活動実績と今後の抱負」 1,600字以内
課題作文B	タイトル「B.指定寄付奨学金に志望する理由と今後の目標」 800字以内

奨学金名称	対象研究科	支給額 (年額)	奨学金の目的・受給資格など	課題 作文	採用予定人数 (※印は大学院生のみ。 他は学部生を含む)			
	出身地/地域等の条件							
名古屋三田会奨学基金	全研究科	10万円	人物・学業成績ともに優秀で、塾生の範となる活動を行っている者を支援します。	A	10			
	なし							
浜松三田会奨学金	全研究科				2			
	なし							
新宿三田会奨学金	全研究科				3			
	なし							
広島慶應倶楽部奨学金	全研究科				3			
	なし							
讃岐三田会奨学金	全研究科				2			
	香川県出身者優先							
岐阜県連合三田会奨学金	全研究科	1						
	岐阜県出身者優先							
仙台三田会奨学金	全研究科	2						
	宮城県出身者							
八千代三田会奨学金	全研究科 千葉県八千代市出身者 または現在同市に居住する者	10万円	正課、課外活動において有益な活動を行っている者、あるいは行おうとしている者を支援します。		1			
和歌山三田会奨学金	全研究科	10万円	家計の急変により経済的に困窮し、奨学金を必要とする者を支援します。		2			
	和歌山県出身者							
関西婦人三田会奨学金	全研究科				1			
	関西出身の女子学生							
奈良三田会奨学金	全研究科 奈良県出身者	10万円	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者を支援します。	B	1			
京都慶應倶楽部奨学金	全研究科				1			
	京都府出身者				1			
川越三田会奨学金	全研究科					埼玉県川越三田会地区出身者 ※詳細は募集要項を確認		
	全研究科						1	
城北三田会奨学金	全研究科 豊島区、北区、板橋区、練馬区に在住もしくは同4区の高等学校を卒業した者				1			
藤沢三田会奨学金	政策・メディア研究科、 健康マネジメント研究科				2			
	なし							
杉並三田会創立 30周年記念奨学金	全研究科				20万円			1
不動産三田会奨学金	全研究科				10万円			15
	なし							
三田法曹会奨学金	法務研究科	50万円		募集要項 参照	10*			
	なし							
田中實記念奨学基金	文学研究科、経済学研究科、法学研究科、 社会学研究科、商学研究科の博士課程 (研究生含む) ※詳細は募集要項を確認	30万円	優れた学問的業績を上げることが期待でき、かつ経済的に奨学金を必要とする者を支援します。	募集要項 参照	2*			
森敬・L.R.クライン 奨学金	全研究科 ※詳細は募集要項を確認	入学金・授業料等の 学校納付金相当分	人物・学業成績ともに優秀で、優れた研究能力を有する者を支援します。	募集要項 参照	2*			
	なし							
ゴールドマン・サックス 博士課程進学支援奨学金	修士課程(または前期博士課程) 第2学年 ※法務研究科は対象外	社会的制約によって博士課程への進学を断念することのないよう、進学前に予め受給権利を得られる予約奨学金です。 2025年度に本学博士課程に入学した場合、学費相当額の奨学金を受給できます。 (詳細は募集要項を参照)		募集要項 参照	募集要項参照			

注) キャンパス独自(対象となる研究科が限定されているもの)の奨学金制度、研究奨励金等は個別の申請方法をとるものがありますので、在籍キャンパスで確認してください。

4 研究のすゝめ奨学金

目 的	豊かな知性と社会性を兼ね備え、将来さまざまな研究分野を先導し、研究により国際貢献できる人材育成の基盤を強化するために、奨学金の給付により、優秀な学生の大学院進学ならびに大学院における研究の推進を奨励することを目的とします。
支給額(年額)	研究科により異なります。(参考:2023年度実績 30万円、50万円もしくは70万円)
対 象 者	研究科により異なります。 ※法務研究科は対象とはなりません。 ■高い研究意欲を有し、将来優れた研究業績が期待できる者 ■人物が優秀で、健康である者 ■在籍期間が標準修業年限内の者
給付期間	1年(再申請の可否は研究科により異なる)
申請時期	研究科により異なります。
選考方法	
支給方法	学生本人名義の口座へ全額一括振込(6月下旬予定)
2023年度採用実績	246名

5 研究科独自の奨学金

研究科によっては独自の給付奨学金を設置しています。概要は以下のとおりですが、申請時期・内容の詳細については、必ず在籍キャンパスの奨学金担当窓口で確認してください。

※医学研究科独自の奨学金については、募集要項を確認し、必要書類をすべて準備してください。

奨学金名称	対象研究科	支給額(年額)	奨学金の目的・受給資格など	採用予定人数 (※印は学部生を含む)
藤原奨学金 大学院奨学金	理工学研究科博士課程	100万円	学業成績・人物ともに優秀で将来優れた研究者たりうる資質ありと認められ、学位取得に向けた研究活動が国際的に高い評価を受ける可能性がある者の支援を目的としています。	11
田村淳記念大学院 特別奨学金	理工学研究科博士課程	65万円	学業成績・人物ともに優秀で将来優れた研究者たりうる資質ありと認められる者の支援を目的としています。	3
バキット奨学金	理工学研究科修士1年生	30万円	人物・学業ともに優秀な者に対する援助を目的としています。	3
メンター三田会理工 奨学金	理工学研究科修士課程	学費の範囲内	■勉学の意欲を持ち、成績、人物ともに優秀である者 ■経済的に修学が困難と認められる者 ■事業を開拓していく起業精神のある学生を優先とする ■詳細は募集要項を確認のこと	若干名
国際人材育成資金・基金	理工学研究科 修士課程・博士課程	上限 60万円	留学等の海外学習を支援することを目的としています。	約100*
医学研究科博士課程 奨学金	医学研究科博士課程在籍者	上限 100万円	医学研究科博士課程在籍者を経済的に支援します。	約200
医学研究科修士課程 奨学金	医学研究科修士2年生	上限 100万円	慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程へ進学する本学大学院医学研究科修士課程2年生で、人物、学業ともに優秀な者を経済的に支援します。	若干名
医学研究科 大塚普門・房子記念特別奨学金	医学研究科博士課程	上限 100万円	人物、学業ともに優れ、経済支援を行うことにより、将来の日本の医学を牽引する人材を育成することを目的としています。	約8
潮田猪一郎記念慶應義塾大学 大学院医学研究科奨学金	医学研究科博士課程	36万円	医学研究科における研究者の養成を目的としています。	若干名
ヤングリーダー奨学金	政策・メディア研究科 博士課程	100万円	ヤングリーダー奨学金の理念を充分理解し、学業が優秀であることはもとより、将来を担うリーダーとしての資質がある者を支援します。	若干名
青田与志子記念慶應義塾大学 看護医療学部教育研究奨励基金	健康マネジメント研究科 看護学専攻	10万円～ 50万円	外国での学習・研究活動を奨励します。	10～20*
総合医学教育奨励基金 (健康マネジメント研究科)	健康マネジメント研究科 修士2年生	上限 30万円	総合医療の学習に意欲があり、人物、学業・成績ともに優れた者を支援します。	若干名
健康マネジメント研究科 桜井祐二助産学研究奨励金	健康マネジメント研究科	上限 20万円	助産学研究に意欲があり、助産学分野に寄与する研究者・教育者の育成を目的としています。	2
薬学部奨学金	薬学研究科 修士課程	40万円(予定)	勉学の意欲を持ち、成績・人物ともに優秀でありながら、経済的に修学困難であると認められる学生を支援します。	10～20
	薬学研究科 博士課程	上限70万円		
総合医学教育奨励基金 (薬学研究科)	薬学研究科 修士課程	40万円(予定)	人物、学業・成績ともに優れ、かつ経済的支援を必要とする者に奨学金を給付し、薬学を通じ社会に貢献しうる優秀な人材を育成することを目的としています。	10～20
	薬学研究科 博士課程	上限70万円		
エンデパー・ユナイテッド・ ホールディングス奨学金	経営管理研究科	108万円	大学院に学び、投資ビジネスまたは企業価値の向上等に興味を持つ学生の育英を推進することを目的としています。	1

研究者を目指す方へ(参考)

奨学金名称	対象研究科	支給額	資格など	採用予定人数
小泉信三記念大学院 特別奨学金	大学院に在学する研究科 学生(法務研究科を除く)	3万円/月	在籍キャンパス学事担当窓口(矢上・信濃町は学生課学生生活担当、湘南藤沢は事務室学生生活担当、芝共立は学生課奨学金担当)に問い合わせてください。	48

研究推進・支援 <https://www.research.keio.ac.jp>

注) この他にも各キャンパス独自の奨学金制度がありますので、在籍キャンパスの奨学金担当窓口にお問い合わせください。

【参考】学費・授業料等延納申請

■ 学費 ■

奨学金の募集要項で“学費の範囲内”とある場合の“学費”とは、「在籍基本料(在籍料)」「授業料」「施設設備費」「実験実習費」の合計額を指します。また、学費の全額が支給されるわけではありません。

在学生納付金の詳細については、下記のWebサイトを参照してください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/fees/graduate-fees.html>

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/fees/law-school-fees.html>

■ 授業料等延納申請 ■

やむを得ない事情で学費を期日までに納入できない場合は、「授業料等延納申請書」を、学生本人が在籍キャンパスの奨学金担当窓口に提出してください。申請フォーマットは以下のWebサイトからダウンロードできます。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/tuition/extension.html>

審査のうえ、その理由が適当と認められた者に対して延納が認められます。

※延納を希望する学期の前学期までの学費に未納がある者は、申請できません。

※2024年度より授業料等延納申請の手続きについて一部変更が予定されています。詳細は、別途関連する案内等をご確認ください。

2024年度(予定)

	延納申請書の提出期限	手続き後の最長納入期限
春学期	2024年5月15日(水)	2024年7月31日(水)
秋学期	2024年11月15日(金)	2024年12月24日(火)

2. 日本学生支援機構奨学金(貸与)

日本学生支援機構奨学金について

「日本学生支援機構奨学金」は国の奨学制度で、主として政府からの借入金と卒業生からの返還金によって運用されている貸与奨学金です。「第一種奨学金」(無利子)と「第二種奨学金」(有利子)があり、採用されると原則標準修業年限まで貸与を受けることができます。ただし、申請者全員が希望どおり採用されるとは限りません。

- 申込資格・選考基準を満たし、経済的な理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます(=併用貸与)。
- 奨学金を必要とする場合は、第一種奨学金の単願ではなく、第二種奨学金も併願することをお勧めします。



日本学生支援機構奨学金の申請にあたっては、必ず日本学生支援機構作成の冊子『貸与奨学金案内』に目を通してください。

昨年度見本

申し込みの種類

日本学生支援機構奨学金には以下のような申し込みの種類があります。

1. 定期採用 (□ p.13~14)
2. 緊急採用(第一種)・応急採用(第二種) (□ p.15)
3. 第二種奨学金(海外) (□ p.15)

「[在学]」による返還期限猶予手続き — 以前、日本学生支援機構奨学金を利用していた場合 —

以前に日本学生支援機構奨学金を受けていた者・標準年限を超えて在学する者・在学途中で奨学金を辞退した者が在学中の返還期限猶予を受けるためには、「在学猶予願」(在学届)の提出が必要です。

未提出の場合は、本学に在学中であっても貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目から返還が開始されます。詳細については、在籍キャンパスの奨学金担当窓口で確認してください。

対象者	以前に日本学生支援機構奨学金を受けていた者、または貸与終了後も本学に在学する者
提出書類	「在学猶予願」(在学届)
提出方法	スカラネット・パーソナルから申請または在学届を在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ提出
提出期限	2024年4月末頃 ※詳細は在籍キャンパスで確認すること

❗ 申請にあたってよく考えてください

近年、延滞額および延滞人数が増加しています。日本学生支援機構では、本人・連帯保証人・保証人に対して以下のとおり督促を強化しています。

①電話による督促 ②文書による督促 ③本人勤務先への電話による督促 ④民事訴訟法に基づく法的措置

修了した後は自分自身に返還の義務が生じます。このことをきちんと自覚したうえで申請してください。

日本学生支援機構奨学金のWebサイトでは、奨学金の貸与額および返還額等を試算することができますので、ぜひ参考にしてください。

・進学資金シミュレーター

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

・奨学金貸与・返還シミュレーション

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

概要

	第一種奨学金(無利子)		第二種奨学金(有利子)	
目 的	経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資の貸与を行うことで、教育の機会均等に寄与します。			
対象者	修士1・2年生 博士1～4年生 法務研究科			
貸与月額	修士 1・2年生	50,000円、88,000円の いずれかを選択	修士 1・2年生 博士 1～4年生	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から自由に選択
	博士 1～4年生	80,000円、122,000円の いずれかを選択		
	法務研究科	50,000円、88,000円の いずれかを選択	法務研究科	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から自由に選択 (法務研究科法曹養成専攻は19万円、22万円の選択可。19万円 および22万円は、基本月額15万円を選択した場合の4万円お よび7万円の増額貸与)
※入学時特別増額貸与奨学金 2024年度新入生のうち、条件を満たす者に対して、一時金(10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択)を有利子で貸与します。 📄 p.15「入学時特別増額貸与について」				
対象者	大学院生 ただし、以下に該当する者は申請資格がありません。 ■ 原級(留年)の者は申請できません(休学・留学終了後の原級者は除く)。 ■ 休学中の者は申請できません。 ■ 標準修業年限(修士2年、博士3年(医学研究科・薬学研究科薬学専攻は博士4年)、法務研究科は当該コース年数)を超えて在籍している者(ただし、休学期間・留学期間は含めません) ■ 過去に大学院において、修業年限分の貸与を受けた課程で再度貸与を受けたい場合は、日本学生支援機構のウェブサイトにて要件を確認してください。 <奨学金の貸与をもう一度受けたい皆さんへ> https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/saitaiyo.html ■ 日本学術振興会特別研究員に採用されている者 【注意】 定職または週21時間以上のアルバイトもしくは研究にかかわる助手の業務に従事している者は、研究科委員長等が研究に支障がないと認める場合、申請資格を認めます。			
家計基準	📄 p.3			
学力基準	修士課程 法務研究科	成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること	修士課程 法務研究科	次のいずれかに該当する者。①成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること
	博士課程	成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること	博士課程	次のいずれかに該当する者。①成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。②学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること
利 率	なし			①在学期間は無利子、修了後は年3%を上限とする利子が付きます。 ②利率固定型か利率見直し型を選択します。 ※増額貸与および入学時特別増額貸与奨学金の利率は、原則として基本月額に係る利率に0.2%を上乗せした利率です(財投の利率が3.1%を超える場合は、財投の利率が適用されます)。
保証形態	奨学金の貸与を受けるためには、連帯保証人および保証人を選任し、人的保証を受けるか、機関保証制度に加入し、一定の保証料を支払うことで保証機関による保証(機関保証)を受けることが必要です。 ※機関保証を選択した場合、人的保証へ変更することはできません。 人的保証を選択される場合は、連帯保証人・保証人の同意を得たうえで申請してください。また、連帯保証人・保証人の選任の条件は冊子「貸与奨学金案内」で確認してください。 なお、併願・併用申込者が、第一種奨学金で「定額返還方式」を選択した場合、第一種奨学金と第二種奨学金とは別々の保証制度を選択することはできません。			
貸与期間* ※4月募集の場合	2024年4月から当該課程の標準修業年限まで(法務研究科は当該コース標準修業年限)		2024年4月～7月の間で本人が希望する月から当該課程の標準修業年限まで(法務研究科は当該コース標準修業年限)(採用決定後は変更不可)	
	■ 原級(留年)・休学・留学期間中は奨学金の貸与を休止します(留学は条件により異なる)。 📄 p.47「採用後の注意事項」			
振込日* ※4月募集の場合	初回振込日: 2024年7月11日(木)(予定) ※4月～7月をまとめて振込 初回振込以降は、原則毎月11日に振込。 ※詳細は「奨学生のしおり」を参照のこと。			
募集時期*	4月上旬・10月上旬 ※10月募集の申請期間は後日奨学金公募情報一覧に掲載します。			
推薦について	日本学生支援機構の推薦基準に基づき大学が推薦し、採否は日本学生支援機構が決定します。			
返還方法	修了後、指定口座から毎月自動引き落としで返還します(貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目に返還開始)。貸与総額により返還回数は異なりますが、最長20年以内です。			
2023年度 採用実績	第一種奨学金 286名 第二種奨学金 38名	📄 p.48「奨学金 申請・採用者数」 ※定期採用のみの人数です。追加採用・緊急・応急採用・臨時採用の人数は含んでいません。		

* 定期採用の場合。緊急採用(第一種)・応急採用(第二種)、第二種奨学金(海外)、第二種奨学金(短期留学)は、奨学金担当窓口まで問い合わせてください。

定期採用

申請

大学が指定する必要書類(p.25)をそろえて、申請期間内に在籍キャンパスの奨学金担当窓口または所定の申請場所へ申請します。書類に不備がなければ、大学からユーザIDとパスワードが交付されます。ユーザIDとパスワードの交付後、所定の期間内にスカラネット※に必要事項を入力してください。[大学への書類提出]と日本学生支援機構奨学金の「スカラネット入力」の両方を完了しないと、申請したことにはなりません。

※スカラネット・・・日本学生支援機構が運用している奨学金申込のためのインターネットサイト

申請から採用、返還までの流れ【定期採用】 ※4月募集の例

4月	①募集	在籍キャンパスの塾生サイト「奨学金公募情報一覧」にて募集案内が公開されます。キャンパスによっては掲示板にも掲示しています。
	②学内選考	書類選考を行います。
7月中旬 予定	③採用者発表 奨学金振込	在籍キャンパスにて案内します。初回振込は7月11日(木)を予定しています。 ※採用者発表と奨学金振込は前後することがあります。
7月下旬 予定	④採用手続き書類受け取り	「奨学生証」「返還誓約書」「マイナンバー提出書」を配付します。受け取り方法は在籍キャンパスの指示に従ってください(キャンパスによっては採用説明会で配付する予定です)。
	⑤採用手続き	採用手続き時に返還誓約書およびマイナンバーの提出が必要となります。詳細は p.16「返還誓約書の作成および「マイナンバー提出書」の送付」を参照してください。 期日までに返還誓約書およびマイナンバーを提出しない場合は採用取消になります。
	異動	留学、休学、退学、住所変更等が生じた場合は、奨学金担当窓口へ申し出てください。
毎年 12月	※当該年度貸与終了予定者を除く ⑥継続手続き	毎年12月(塾生サイト、掲示、「K-Support」や「keio.jp」のメールアドレス宛のメール等で通知します)にスカラネット・パーソナル p.16)を通じて奨学金継続手続きを必ず行ってください(貸与満期予定者を除く)。 継続手続きを怠ると、奨学金が廃止(資格喪失)となります。
最終 学年	返還説明会	貸与満期予定者を対象に返還手続きについて説明会を行う予定です。在籍キャンパスの奨学金担当窓口の指示に従い、返還の準備をしてください。
	⑦返還手続き	返還は金融機関の口座から自動引き落としにより行います。原則、スカラネット・パーソナルから手続きを行ってください。
	⑧修了後 返還	貸与終了の翌月から起算して7ヶ月目から返還が始まります。3月修了(貸与終了)の場合、その年の10月から引き落としが開始されます。

●採用後の注意事項 p.47

9月入学者

申請希望者は、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。

入学時特別増額貸与について

2024年度に入学し、4月を始期として奨学金の貸与を受ける者で以下①・②の条件のいずれかを満たす者は、希望により入学時特別増額貸与(10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の中から自由に選択)を受けることができます。

- ①収入金額が120万円以下の者
- ②収入金額が120万円を超える者で必要書類を提出した者
 - a. 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書
 - b. 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー
 - c. 入学時特別増額貸与奨学金に係る貸与総額増額願(第二種奨学金及び併用貸与申込者のみ必要)

※詳細は冊子「貸与奨学金案内」で確認してください。

留学時特別増額貸与について

2023年度まで実施されていた「第一種奨学金(海外協定派遣対象)」及び「第二種奨学金(短期留学)」は2024年度以降の募集は行いません。代わりとして2024年度以降は国内貸与奨学金である第一種奨学金及び第二種奨学金の貸与を受けている学生を対象として、留学開始時に「留学時特別増額貸与奨学金」の申請を受け付けます。手続きの詳細については、在籍キャンパスの奨学金担当窓口で確認してください。

地方創生枠推薦者の方へ

第一種奨学金(無利子)の2024年度日本学生支援機構地方創生枠推薦者は、以下に従い、必ず定期採用で申込をしてください。なお、基金設置団体が特別枠(地方創生枠)の対象者として決定した者であっても、第一種奨学金の申込時点において貸与基準を満たしていなければ、大学から日本学生支援機構に推薦することはできません。

対象者	2024年度日本学生支援機構地方創生枠推薦者
提出書類	①本奨学金案内p.25にある書類一式 ②2024年度日本学生支援機構地方創生枠推薦者決定通知〔進学先提出用〕
提出先	在籍キャンパスの奨学金担当窓口
申請期間	在籍キャンパスの定期採用申請期間に同じ

※上記以外の諸条件(学力基準、貸与開始月、振込日等)は定期採用に準じます。

緊急採用(第一種)・応急採用(第二種)

本人および配偶者、または主たる家計支持者等の失職・退職・破産・事故・病気・死亡、震災・風水害・火災その他の災害等により家計が急変し、日本学生支援機構奨学金を緊急に必要とする場合に申請できます。申請する場合は、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ相談してください。申請可能な学生に申請書類一式を配付します。

- 家計急変の事由が生じた月から12ヶ月以内に申請しなければなりません。
- 大学で事情を把握したうえで日本学生支援機構に推薦しますが、審査の結果、必ずしも採用されるとは限りません。

第二種奨学金(海外)

修了後、学位取得を目的として海外の大学院(上位課程)へ進学を希望する学生に対して、第二種奨学金(海外)(有利子)を貸与する制度です。進学をする前にあらかじめ申し込む「予約制度」となっています。募集は、在籍キャンパスの塾生サイト「奨学金公募情報一覧」にてお知らせします。

採用後の手続き

■ p.47「採用後の注意事項」

以下は、日本学生支援機構奨学金の主な手続きです。その他の採用後の手続きについては、■ p.47「採用後の注意事項」および冊子『貸与奨学金案内』を確認してください。各種手続き方法については在籍キャンパスごとに異なりますので、在籍キャンパスの指示に従ってください。

● 返還誓約書の作成および「マイナンバー提出書」の送付【採用後直ちに】

採用と同時に、返還誓約書の作成・提出の義務が生じます。選択する保証制度により提出すべき書類は異なります。また、返還誓約書提出と併せて、申請者本人および配偶者のマイナンバーを「マイナンバー提出書」を用いて提出してください。定められた期限までに返還誓約書の提出および「マイナンバー提出書」の送付がない場合は、採用取消となります。

● 「スカラネット・パーソナル(スカラネットPS)」の登録【採用後直ちに】

日本学生支援機構が運営する「スカラネット・パーソナル」(略称:スカラネットPS)では、奨学金貸与・返還情報を提供するとともに、年1回の継続手続きを本サイトでを行います。PC用サイトとモバイルサイトの2つがあります。採用後、必ず登録手続きをしてください。

提出・申請可能なもの

貸与中の場合	奨学金継続願、メールアドレスの変更*、第二種の月額変更(減額)
貸与終了の場合	転居・改姓・勤務先(変更)の届出、繰上返還の申込、奨学金返還期限猶予願、リレー口座の登録変更申込

※日本学生支援機構で管理しているデータしか修正されません。在籍キャンパスの奨学金担当窓口にて別途届け出をしてください。

閲覧可能な情報(抜粋)

貸与中の場合	奨学生番号、貸与期間、貸与月額、貸与総額(予定)、貸与明細(貸与終了までの予定や休停止などの履歴)、金融機関情報、保証情報
返還中の場合	奨学生番号、返還総額(元金)、返還残回数、返還残額(元金)、現在請求額、金融機関情報、保証情報、申請用紙ダウンロード

● 継続手続き【毎年12月※最終学年を除く】

日本学生支援機構奨学金は、原則として貸与始期から修了するまでの標準修業年限の間貸与されます。しかし、次年度以降も継続して奨学金を受けるためには、毎年12月に配付する継続手続き書類を受領後、所定の期間内にスカラネットPSで入力しなければなりません。また、スカラネットPS入力で継続手続き後、学期末の成績判定により大学が適格認定を行います。原級(留年)の場合や学校処分を受けた場合は、奨学金の「廃止(資格喪失)」「停止」の処置がとられます。なお、「停止」の場合、停止事由が解消された学期から奨学金を復活できることもありますので、継続手続きの時点で来年度の休学・留学・原級(留年)がわかっている場合でも手続きを放棄しないでください。なお、最終学年でも次年度9月卒業の場合は手続きが必要です。また、次年度以降の貸与を希望しない(辞退する)場合も、手続きが必要です。

● 返還手続き【貸与終了年度の秋頃(9月入学者は6月～7月頃)】

貸与終了時には、貸与終了予定者全員がリレー口座(奨学金を返還する預貯金口座)に加入して、返還を始める準備をします。貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目に、口座から自動引き落としによる返還が始まります。

● 「在学」による返還期限猶予手続き

在学途中で奨学金の貸与を辞退した者については、「在学猶予願」(在学届)を提出することによって在学中の返還期限猶予が受けられます。未提出の場合は、本学に在学中であっても貸与終了の翌月から数えて7ヶ月目から返還が開始されます。希望する場合は、スカラネット・パーソナルから申請または在学届を在籍キャンパスの奨学金担当窓口にて提出してください。

● 貸与月額変更の手続き【随時】※第二種の減額のみスカラネットPSで手続き可能です。

貸与月額の変更を希望する場合は、早めに在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで申し出てください。変更願の提出時期により、対応できる振込月が変わってきます。なお、返還誓約書が未提出の段階では、貸与月額変更の手続きはできません。

【増額変更】原則「月額変更願」を大学に提出した月以降で本人が希望する月から増額できます。

【減額変更】原則「月額変更願」を大学へ提出した月の属する年度の4月(当該年度採用者で貸与開始月が5月以降の場合は、貸与開始月)以降で本人が希望する月から減額できます。なお、差額は今後振り込まれる予定の奨学金から相殺されますが、同一年度内で調整できることが条件です。

● 地方自治体による奨学金返還支援について

地方自治体が指定する産業に従事する等の条件を満たした者について、奨学金返還支援を受けられる場合があります。詳細は各地方自治体の担当窓口へ確認してください。

【特に優れた業績による返還免除制度】

第一種奨学金の貸与を受け、在学中に特に優れた業績を挙げた者は、貸与期間終了時に奨学金の全額または一部の返還が免除されます。詳細は、貸与終了(予定)年度の12月(予定)に在籍キャンパスの塾生サイト等への掲出等でお知らせします。

3.民間団体・地方公共団体の奨学金(給付・貸与)

《特徴》

財団法人・公益法人・民間企業・都道府県や市区町村の自治体など、多くの奨学団体が奨学生を募集しています。多くの奨学金は、一度採用されると修了時まで継続的に給付または貸与されます。

民間団体・地方公共団体の奨学金は、「大学推薦(学内選考あり)」「適格者全員推薦(学内選考なし)」「個人出願」「自由応募」の奨学金の4種類に分かれます。

- 1. 大学推薦の奨学金:** 大学で募集について案内し申請を受け付け、学内で書類選考・面接選考を行います。申請者のうち、学内選考に合格し推薦が決定した学生のみを、慶應義塾大学の代表として大学経由で奨学団体に推薦します。推薦が決定した場合、辞退することはできません。
- 2. 適格者全員推薦の奨学金:** 大学で募集について案内し申請を受け付けますが、学内での選考は行いません。申請資格を満たしている学生全員を大学経由で奨学団体に推薦します。
- 3. 個人出願の奨学金:** 大学で募集について案内しますが、大学を通さず各自で直接奨学団体に申請してください。
- 4. 自由応募の奨学金:** 地方自治体を中心に大学を通さず直接募集を行っている奨学金を「自由応募」の奨学金といいます。各自で出身都道府県・市区町村役所(教育委員会など)に直接問い合わせてください。申請し採用された場合は、奨学金の概要について、在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで報告してください。

《注意事項》

- 大学推薦決定後はいかなる理由があっても辞退できません。
- 奨学団体の趣旨、奨学生としての条件をよく理解したうえで申請してください。
- 奨学団体が主催する奨学金授与式・講演会・懇親会・合宿等各種会合には必ず出席してください。
- 奨学団体によって募集時期・申請締切日等が異なります。また、奨学金の種類によって募集方法や申請時に必要な書類が異なります。必ずそれぞれの奨学金の募集要項を確認してください。
- 学内選考の経過および決定の理由は公表しません。
- 大学で推薦を受けても、各奨学団体で選考の結果不採用となることがあります。
- 大学推薦の奨学金と、学内選考を行わない奨学金(適格者全員推薦の奨学金・個人出願の奨学金(☞p.21~22)・自由応募の奨学金)を併願して両方に合格し、両者の併給が認められない場合は、金額の多寡、結果連絡の時期にかかわらず、必ず大学推薦の奨学金を優先して受給してください。
- 採用されたことにより、卒業後の本人の進路がその奨学団体に拘束されることはありません。
- 奨学団体の財政事情により、奨学金が途中で打ち切られる場合があります。
- 虚偽の申請をした場合には採用が取り消されます。
- 個人出願・自由応募の奨学金で、提出書類として推薦所見が必要な場合は、あなたのことをよく知る学内の研究室等の教員に依頼をしてください。また学長印が必要な場合は、奨学金の募集要項・記入済みの提出書類を持参のうえ、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。なお学長印交付までは面接を経たうえで7日(土・日・祝日を除く)程度かかります。
- 個人出願・自由応募の奨学金で、大学が推薦書等を発行したものについては、その採否結果を必ず在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで報告してください。

募集から採用、返済(貸与奨学金の場合)までの流れ ※大学推薦の奨学金の場合

①募集	在籍キャンパスの塾生サイト「奨学金公募情報一覧」にて募集要項が公開されます(慶應IDの認証が必要)。この時点で、申請締切日だけでなく他の奨学金との併給の可否、一次選考合格者発表日や面接予定日、奨学団体での面接日、会合日等についても確認してください。
②申請書類提出	在籍キャンパスが設定した各奨学団体の申請締切日までに、奨学金Web申請システム(☞p.33~44)で必要事項を入力し、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ、それぞれの奨学金の募集要項で指定された書類一式を提出してください。 ※大学推薦の奨学金と、適格者全員推薦の奨学金では必要な提出書類が異なります。募集要項の指示に従ってください。
③学内選考 (大学推薦の奨学金のみ)	■ 一次選考(書類選考)・一次選考結果発表 申請書類をもとに一次選考(書類選考)を行います。一次選考の合格者発表は「K-Support」や「keio.jp」のメールアドレス宛のメール等で案内します。奨学金Web申請システム(☞p.33~44)でも確認できます。一次選考合格者の発表とともに二次選考(面接選考)の案内をします。一次選考合格者発表日は原則として「奨学金公募情報一覧」に記載されています。一次選考合格者発表から、二次選考まで日程に余裕がないことがありますので、常に奨学金Web申請システムやK-Supportのメッセージ等に注意を払い、確認を怠らないよう十分注意してください。 ■ 二次選考(面接選考)・学内推薦者発表 一次選考合格者発表の指示に従ってください。面接を欠席した場合は失格となり、以後その奨学金に推薦されることはありません。また、他の奨学金の審査に影響することがあります。二次選考の合格者発表は奨学金Web申請システム(☞p.33~44)でも確認できます。学内選考が決定すると、正式願書等、奨学団体へ提出する書類の作成が必要になります。
④奨学団体にて選考	独自に面接試験等を実施する奨学団体があります。その奨学団体の設立趣旨・目的等を十分理解しておいてください。面接試験時には、大学の代表としての自覚を持ち、面接に相応しい服装(スーツ等)で臨んでください。面接時間に遅れた場合や面接を欠席した場合は失格となることもあります。
⑤採否結果発表・採用手続き・奨学金受給	奨学団体によっては別途採用手続き書類の提出が必要になりますので、指示に従ってください。奨学金支給の時期・方法等は奨学団体によって異なります。また、採用後に奨学金受領確認の報告や各種会合への出席等が義務付けられている場合があります。指示に従ってください。
⑥修了後 返済 (貸与奨学金のみ)	貸与奨学金については、貸与終了後に借用証書等を作成のうえ、所定の期間内に所定の方法で返済します。返済の方法等は奨学団体により異なります。

民間団体の奨学金採用後の注意事項 ☞p.47「採用後の注意事項」

- 奨学団体によっては、年度末に各奨学団体へ在学証明書・学業成績証明書・修了証明書等を提出しなければなりません。奨学団体から大学を通して提出依頼があった場合には、奨学生が証明書発行手続きをし、大学経由で提出します。
- 奨学団体によっては、年度末に生活状況報告書等の提出が求められます。指示に従い、遅滞なく提出してください。

Ⅰ 民間団体・地方公共団体の奨学金募集方法について

民間団体・地方公共団体の奨学金は大きくわけて4つの募集方法があります。

募集方法	募集要項	申請先	学内選考	財団選考結果	併願し、併給不可の奨学金に採用された場合の優先度
大 学 推 薦	大学公開	大学	有	大学(奨学団体)から個人	1
適格者全員推薦	大学公開	大学	無	大学(奨学団体)から個人	2
個 人 出 願	大学公開	奨学団体	無	奨学団体から個人	3
自 由 応 募	個人検索	奨学団体	無	奨学団体から個人	4

採用が決まるまでは複数の奨学金に併願が可能です。ただし、民間奨学金には他の奨学金との併給を認めていないケースがあります。

例えば、学内選考を行う大学推薦の奨学金と、学内選考を行わない奨学金(適格者全員推薦の奨学金・個人出願の奨学金・自由応募の奨学金)の両方に採用され、他の奨学金の併給が認められない場合は、金額の多寡にかかわらず必ず大学推薦の奨学金を受給することになります。併願する時はこのことを念頭に申請してください。

下記に併給不可の奨学金に併願し、両方とも採用された場合、どちらの奨学金を受給することになるか事例を紹介します。

●事例1:AとBの奨学金に併願

A 大学推薦奨学金：民間奨学金との併給不可

B 適格者全員推薦奨学金：民間奨学金との併給可

→両方採用となった場合、Aの奨学金を受給することになります。(Bは辞退となります。)

●事例2:CとDの奨学金に併願

C 適格者全員推薦奨学金：民間奨学金との併給可

D 個人出願奨学金：民間奨学金(給付)との併給不可、民間奨学金(貸与)との併給可

→両方採用となった場合、Cが給付型の場合はCのみ受給することになります。(Dは辞退となります。)

Cが貸与型であればCとDの両方を受給することができます。

●事例3:EとFとGの奨学金に併願

E 大学推薦奨学金：民間奨学金との併給不可、学内奨学金との併給可

F 個人出願奨学金：民間奨学金との併給可、学内奨学金との併給可

G 学内奨学金：民間奨学金との併給可

→3つすべて採用となった場合、EとGを受給することになります。(Fは辞退となります。)

また、下記について注意してください。  p.47「採用後の注意事項」

- 慶應義塾大学の代表として、その奨学団体が主催する奨学金授与式・講演会・懇親会・合宿等には必ず出席してください。
- 奨学団体によっては、年度末に各奨学団体へ在学証明書・学業成績証明書・卒業証明書等を提出しなければなりません。
奨学団体から大学を通して提出依頼があった場合には、奨学生が証明書発行手続きをし、大学経由で提出します。
- 奨学団体によっては、年度末に生活状況報告書等の提出が求められます。指示に従い、遅滞なく提出してください。
- 奨学団体へ受給情報の提供を行う場合があります。

学外の奨学金の概要

民間団体・地方公共団体の奨学金

■ 以下は2023年度に慶應義塾大学へ募集依頼があった奨学金の一覧です。2024年度については、金額・申請資格・申請時期・募集有無等が変更されるものもありますので、必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認のうえ申請してください。

一覧に関する注意事項

■ 採用人数には採用後の辞退者数を含みません。 ■ 「申請時期」は、2023年度の申請締切の時期です。 ■ ★は2023年度募集なし

【表中の略称】 文：文学研究科 経：経済学研究科 法：法学研究科 社：社会学研究科 商：商学研究科
医：医学研究科 理：理工学研究科 KBS：経営管理研究科 政メ：政策・メディア研究科 健マ：健康マネジメント研究科
SDM：システムデザイン・マネジメント研究科 KMD：メディアデザイン研究科 薬：薬学研究科 法務：法務研究科
修：修士課程 博：博士課程 OD：オーバードクター 未：未修者コース 既：既修者コース

給付型の奨学金

1. 大学推薦の奨学金（給付） 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期	2023年度実績		
					申請	推薦	採用
アイザワ記念育英財団	全研究科	45,000円/月	■ 人物・学業ともに優れ経済的理由により修学が困難である者 ■ 将来、産業・文化両面において社会に貢献しようとする者 ■ 年に数回のレポート等の提出を期日どおりに行うことができる者	4月上旬	5	1	0
旭硝子財団	法務を除く 修・博 1年生	修 100,000円/月 博 120,000円/月	■ 品行方正、学術に優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者 ■ 持続可能な社会の実現に向けて高い志を有する者 ■ 財団主催の行事に出席できる者	4月上旬	52	3	2
安達峰一郎記念財団	法務・法研・政メ 全学年	60,000円/月	■ 国際法を勉学する大学院生（法科大学院生及び公共政策大学院生を含む）またはこれに準ずる者 ■ 研究テーマは、教養の国際公法に限定されず、国際経済法、国際取引法等に関する主題も対象とする。但し、専ら外国法、比較法に関する主題は対象外	2月 月上旬～下旬	0	0	0
安藤スポーツ・ 食文化振興財団	全研究科 全学年	1,000,000円/年	■ 食科学に関連する研究を行う者 ■ 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている者 ■ 就業及び生活状況で財団に毎月報告、年度末に財団指定の書類提出ができる者 ■ 留学予定の者は応募不可	4月上旬	2	1	1
磯野育英奨学会	全研究科 修・博 1年生	35,000円/月	■ 高い志を持ち、品行が正しく、かつ健康で将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者	4月上旬	38	2	1
岩井久雄記念 東京奨学育英基金	理 修・博 1年生	120,000円/月	■ 将来は日本の指導者の一人として国の発展のために尽くそうとの志を持つ者 ■ 学業、人物ともに優秀、心身健全で学資の支弁が困難と認められる者	4月上旬	21	4	2
エフテック奨学財団	医・薬（薬学専攻）を除く 修・博 1年生 法務 未 1年生 既 2年生	30,000円/月 （1年間）	■ 将来社会に貢献できる有用な活動を目指し、奨学金を自身の将来の成長のために有効に活用できる者 ■ 年1回の奨学生交流会に必ず出席できる者	4月上旬	16	1	1
オーディオテクニカ 奨学会	理 修	20,000円/月	■ 学業・人物ともに優秀、心身健全で学費の支弁が困難と認められる者 ■ 財団主催の行事に出席できる者	4月上旬	1	1	1
大阪造船所奨学会	理 修	30,000円/月	■ 理工系の学科を専攻する者 ■ 学業優秀者で、経済的理由により修学が困難な者	4月上旬	4	2	2
大森昌三記念財団	医・法務・薬（薬学専攻）を除く 修 1～2年生、 博 1～3年生	30,000円/月	■ もの作りに携わり、技術の向上およびもの作りに関する研究を行う者 ■ 学費の支弁が困難と認められる者 ■ 健康で、学業成績、人柄ともに優れている者	6月上旬	4	2	0
花王芸術・科学財団	理 修 1年生	50,000円/月	■ 科学技術分野（化学・物理学分野）での勉学に励む者 ■ 収入要件あり ■ 財団主催の行事に出席できる者	4月上旬	2	1	1
川村育英会	理 修 1年生	60,000円/月	■ 学業優秀にして身体健康、かつ、経済的理由により修学が困難と思われる者 ■ 家族の年間の収入が500万円以下で学業成績に占めるA以上の割合が50%以上の者	4月上旬	3	0	0
北野生涯教育振興会 ライフシフト奨学金	修 1年生	60,000円/月	■ 社会人として就労経験が3年以上（通算）あること ■ 年1回の奨学生交流会に出席できる者	4月上旬	9	1	1
慶応工学会育英奨学生	理 博	700,000円/年	■ 研究意欲が旺盛で、優れた研究業績を上げ得ると認められる者 ■ 人物が優秀で健康である者	1月上旬*	3	3	3
慶応工学会給費奨学生	理・政メ・薬	360,000円/年	■ 勉学意欲の意欲を持ち、経済的に修学が困難な者 ■ 学業、成績、人物ともに優秀で健康である者	4月下旬	51	8	8
国土育英会	全研究科	18,000円/月	■ 学術優秀、品行方正、身体健康で、経済的理由により修学が困難な者 ■ 収入要件・成績要件あり ■ 財団の交流会へ出席できる者	4月上旬	8	0	0
COSINA奨学会	理 修 1年生	30,000円/月	■ 品行方正、健康で学業成績が優秀であること ■ 長野県内の高等学校を卒業した者	5月中旬	1	1	1
近藤記念財団	法務を除く 修 1年生	60,000円/月	■ 学業・人物ともに優秀で、学資の支弁が困難であると認められる者	8月上旬～ 9月上旬	1	0	0
佐藤奨学会★	全研究科	30,500円/月	■ 学業・人物ともに優秀、心身健全で、学費の支弁が困難である者	4月上旬	募集なし		
JEES・MHI みらい奨学金	理 修 1年生	120,000円/月	■ 修士課程1年次に正規生として在籍する女子学生 ■ 化学、電気・電子、機械、原子力を専攻する者 ■ 修了後、日本企業への就職を希望し、かつ理工系のエンジニアとしてグローバルに活躍する意欲のある者 ■ 財団主催の行事に出席できる者	4月上旬	6	1	0
JEES・三菱商事科学技術 学生奨学金	理 博	100,000円/月	■ 2021年4月に博士後期課程に正規生として在籍する者 ■ 理系分野を専攻する者（医学部・薬学部は除く） ■ 成績が優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な能力を備え、活動できると認められること	11月下旬～ 12月上旬	4	2	1
JPC奨学財団	理 修 1年生	20,000円/月	■ 学業、人物ともに優秀であり、健康である者	4月上旬	25	2	0
尚志社	修・博 1年生	学費（100万円を限度に支給）・入学金 （30万円を上乗せする実費）に加え、 修 自宅外 40,000円/月 博 自宅外 60,000円/月 自宅 50,000円/月 自宅外 70,000円/月	■ 所属する研究科における成績が上位10%以内である者 ■ 経済的理由により修学が困難な者 ■ 財団の懇談会に出席でき、機関紙に寄稿できる者	4月上旬	3	1	1

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。（次ページへ続く）

(前ページの続き)

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期	2023年度実績		
					申請	推薦	採用
新日本奨学会	医・理・政メ・健マ・SDM・KMD・薬修 1年生	58,000円/月	■学業成績、人物ともに優秀でかつ健康な者 ■学業の継続において学費の支弁が困難な者	4月上旬	8	4	4
G-7 奨学財団	全研究科 全学年	100,000円/月 上限 (1年間)	■学業優秀で、心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者 ■成績要件あり ■財団主催の行事に参加できる者	4月上旬	13	3	1
末延財団	法務 未 3年生 既 3年生	1,200,000円/年	■研究論文(リサーチペーパー等の名称のものをふくむ)を作成する科目を登録し、または登録する予定の者 ■研究論文で、英米法・比較法に関連するテーマを扱う予定であること	4月上旬	0	0	0
Sky大浦ICT奨学財団	医・健マ・薬・法務を除く 修・博 全学年	1,000,000円/年	■ICT技術の分野に就業することを志す者 ■学業・人物ともに優秀であると認められる者 ■経済的な理由により修学が困難であると認められる者(成績要件あり)	6月上旬	3	1	1
住友電工グループ社会貢献基金	理 修 1年生	30,000円/月	■学業・人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者	4月上旬	1	1	1
ソフトバンクAI人材育成奨学金	全研究科 翌年度4月時点で修1年生	80,000円/月 一時金40,000円	■応募時点で人工知能(AI)分野の学修・研究に取り組んでいる者 ■社会人学生(休職中含む)でない者	11月下旬*	3	2	2
大学女性協会 (一般奨学生)	全研究科 修 2年生・博	200,000円/年 (1年間)	■大学院に在籍1年以上の女子学生で、学業人物ともに優れた者	6月	3	1	0
大学女性協会 (社会福祉学生)	全研究科 修 2年生・博	200,000円/年 (1年間)	■大学院に在籍1年以上の女子学生で身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた者	6月	0	0	0
大学女性協会 (安井医学奨学生)	医・薬 修 2年生・博	300,000円/年 (1年間)	■大学院に在籍1年以上の女子学生で医学、薬学を専攻し、かつ学業・人物ともに優れた者	6月	0	0	0
同盟育成会(古野奨学生)	文・経・法・社・商・政メ 修 1年生	60,000円/月	■ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる者 ■成績要件・収入要件あり	4月上旬	1	0	0
戸部眞紀財団	法務を除く全研究科	50,000円/月 ただし給付型の奨学金供給者は 半額になる場合あり	■化学・食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学の分野で修業している者 ■財団の交流会に出席できる者	4月上旬	8	0	0
中部(なかべ)奨学会	全研究科	60,000円/月	■学業・人物ともに優秀、心身健全で学費の支弁が困難であると認められる者	4月上旬	37	3	1
中村積善会	全研究科	50,000円/月	■優秀な資質を有し、経済的に不遇にして奨学金返還困難と認められる者	4月上旬	46	1	1
日揮・実古奨学会	医・理・政メ・SDM・KMD・薬	300,000円/年 (1年間)	■人物・学力ともに優れ、かつ健康であって経済的に奨学金の給付が必要であると認められる者 ■採用後、財団との面談に出席できる者	4月上旬	48	5	5
日鉄鉱業奨学会	理 修 1年生	30,000円/月 (最大2年間)	■学費負担者の年間所得が1,000万円以下の者	4月上旬	5	1	1
日本証券奨学財団	修・博 1年生 法務 未 1年生 既 2年生	修 自宅 40,000円/月 自宅外 50,000円/月 博 自宅 45,000円/月 自宅外 55,000円/月	■学費の援助をすることが必要であると認められ将来社会的に有益な活動を目指す者 ■財団主催の行事に必ず出席できる者	4月上旬	3	1	1
日本法制学会	法務	360,000円/年 (1年間)	■学業・人物ともに優秀かつ健康であって、学費の支弁が困難と認められる者 ■財政学、金融学、金融法学、その他人文・社会科学に関する学術研究の促進を図ることを目的とする基金の趣旨に則り、将来社会に寄与する志を有する者	4月上旬	1	1	1
野間文化財団	修 1年生 法務 未 1年生 既 2年生	30,000円/月	■健康で学業に熱意がありながら、研究費不足の者	4月中旬	11	3	3
林レオロジー記念財団	理・政メ・SDM 翌年度4月に修1年生もしくは 修2年生に進級	50,000円/月	■自動製造システムに関する学問・食品産業に関する学問の習得または学術研究を志す理学部・工学部系の者	9月*	0	0	0
フジシール財団	理・政メ・KMD 修 1年生	60,000円/月	■応用化学・機械工学・電気電子工学・高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部生に学ぶ者 ■バックグランドに興味・関心のある者	2月*	0	0	0
ホシザキ新星財団	理 修 1年生 博 1~2年生	120,000円/月	■ものづくりを学ぶ強い意志がある者 ■経済的に修学が困難と認められる者 ■勉学の意欲を持ち、成績・人物ともに優秀である者	4月上旬	29	15	15
升本学術育英会	法(法学・法律学専攻)・法務	30,000円/月 特に学費の支弁や生活の維持に 窮する者は増額給付として 80,000円/月	■法律を修める目的意識を明確に持つ者 ■将来法律分野で活躍していくことを志す者 ■財団の交流会・研修会等に必ず出席できる者	4月上旬	6	4	4
松尾金蔵記念奨学基金	文・社 修・博 1年生	1,000,000円/年	■品行方正、健康で学業成績が優秀な者 ■修士は家計支持者の収入が800万円以下の者、博士は本人の収入が250万円以下の者	4月上旬	0	0	0
萬谷記念かながわ 奨学基金	理・政メ・SDM・KMD 修・博 1年生	修 800,000円/年 博 1,200,000円/年	■勉学していくうえで奨学金の援助を必要とする独身者 ■品行方正、健康で学業成績が優秀な者 ■家計支持者の収入が原則700万円以下の者	4月上旬	2	1	1
三菱UFJ信託奨学財団	経・法・社・商・理・KBS・政メ・SDM・KMD・法務	55,000円/月	■将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し、社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術的研究を志す者 ■父母の年収合計800万円未満(就学者3人以上の場合は1,000万円未満)の者 ■財団主催行事への出席を優先できる者	4月上旬	33	2	2
森記念製造技術研究財団	理 修 1年生	月額200,000円 および研究諸掛として 月額1,000,000円まで実費精算	■学業優秀、品行方正で礼儀・礼節・身なり・言葉遣いが奨学生として相応しい者 ■博士課程の目的を達成できる者 ■工学系分野を専攻している者 ■支給開始は博士課程に進学後	1月上旬*	2	1	0
山岡育英会	理 修 1年生	60,000円/月	■機械工学系を専攻している者 ■将来社会に何らかの貢献が期待できる優れた人格と資質を持っている者	4月上旬	1	1	1
山田満育英会	医・理・政メ・健マ・SDM・KMD 修 1年生	20,000円/月	■学業・人物ともに優秀で、経済的な理由により修学が困難であると認められる者 ■収入要件あり	4月下旬	1	1	0
山根奨学基金★	全研究科	300,000円/年 (1年間)	■国際的に活躍することを希望し、国際問題に関心を持つと同時に将来、世界人類の平和と幸福に貢献するため、国際社会において活躍する意思と情熱を持つ女子学生	4月上旬	募集なし		
吉田育英会 ドクター 2 1	医・理・KBS・政メ・健マ・KMD・薬 申請年9月あるいは 翌年度4月に博1年生に入学	200,000円/月 および学校給付金2,500,000円以内、 海外研究活動支援金として 合計1,000,000円以内の実費	■自然科学分野を専攻する者 ■博士課程の目的を達成できる者 ■成果の社会還元を志し影響力を期待できる者 ■世界水準の研究者を目指す者、国際的に活躍することを志す者	3月上旬*	3	1	1

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。

2. 適格者全員推薦の奨学金(給付) 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期	2023年度実績		
					申請	推薦	採用
アドヴァン山形育英会	全研究科 全学年	30,000円/月	■学業優秀、品行方正、心身ともに健康で、経済的支援を必要とする者	3月上旬	3	3	1
MID財団	経・法・商 修・博 全学年 法務 既・未 全学年	250,000円/年	■東京都内の大学院に在学する者で租税法を専攻する者 ■学業優秀、品行方正であること	8月上旬～ 中旬	0	0	0
清水育英会★	理・政メ・SDM・KMD 修	50,000円/月	■建築、土木または都市計画等を専攻する者 ■成績要件・収入要件あり	4月上旬	募集なし		
TAKEUCHI育英奨学会	理 修 1年生	60,000円/月 (2年間)	■長野県出身者 ■機械工学・電気工学・制御工学等の理工系の学生で品行方正・志操堅固・健康で学業成績が優秀かつ学資が豊かでない者	4月上旬	1	1	1
原・フルタイムシステム 科学技術振興財団	理 修 1年生	40,000円/月 (2年間)	■経済的な理由により学費の支分が困難である者	4月下旬	3	3	0
守谷(もりたに)育英会	全研究科	120,000円/月	■学業、人物ともに優秀であって学資の支分が困難な者	4月上旬	15	15	2

3. 個人出願の奨学金(給付) 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期
渥美国際交流財団	全研究科 博 3年 (ODも申請可)	250,000円/月	■博士(後期)課程に在籍し、2024年3月(秋入学は2024年9月)までに博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、或いは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する者も含む ■日本人は外国語能力が高いことが望ましい ■国際理解と親善に関心を持ち、財団の交流活動に積極的に参加する意志のある者	9月
天野工業技術研究所	理 博 1年生	1,500,000円/年	■全国の理工学系大学院の後期博士課程1年次に在籍する者	11月
池田育英会トラスト	全研究科	17,000円/月	■愛媛県の高校を卒業しているか、保護者が愛媛県内に居住している者	4月～ 5月上旬
いやさか財団	理 修 1年生	480,000円/年	■経済的な理由により学費の支分が困難である者 ■就学状況及び生活状況について適時報告できる者	5月
KIRII財団	理・政メ 修 1年生	50,000円/月	■建築学を専攻し、学業、人物ともに優秀であり、勉学に意欲がある者 ■奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者	4月～ 5月下旬
クマ財団	全研究科	100,000円/月 (1年間)	■クリエイターを目指し創作活動をしており、ものづくりに対して情熱がある者 ■選考のため自作の作品を提出可能な者	12月～4月*
公益推進協会 タクト奨学金	全研究科 全学年	200,000円/年	■税理士資格または公認会計士資格の取得に専念し向学心に燃えているが、経済上の理由のため資格取得の勉強継続が困難であり、奨学支援を希望する者 ■収入要件あり	9月下旬
公正取引委員会 MMS 奨学金	法 博 2年生	100,000円/月	■独占禁止法及び関連法令ならびに競争政策の研究者を志す大学院生	12月上旬
佐々木泰樹育英会	全研究科	1,000,000円/年	■建築、建築写真を専攻する者 ■デザインまたは工芸美術の専攻分野で優れた感性と知識がある者 ■医療の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ■東京都を拠点とする医療機関にて前期臨床研究を開始する者 ■口語による詩・アフォリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者	2月～3月*
さばうと21 (即井一郎・仁子学生支援 プログラム)	全研究科	600,000円/年～ 1,000,000円/年	■日本在住の外国籍・元外国籍学生	9月～10月
サントリー生命科学財団 SUNBOR SCHOLARSHIP	医・理・薬 申請年9月あるいは 翌年度4月に博1年生に入学	60,000円/月	■理学、農学、工学、薬学ならびに医学などの研究科で、将来、大学、研究機関等のアカデミアにおける研究職・教育職を志す人材	1月*
未延財団	法 修・博 1年生 OD 法務 3年生	法 修 650,000円/年 博 1,200,000円/年 OD 100,000円/年以内 法務 650,000円/年	■英米法を専攻する者 ■研究論文で英米法、比較法に関連するテーマを扱う者	4月上旬
青峰奨学財団	全研究科	70,000円/月	■韓国籍を有する者	4月
ダイオーズ記念財団	全研究科	10,000円/月	■将来の夢を実現させるために挑戦する意欲を持った者、もしくは様々な能力を伸ばそうという意欲のある者 ■成績要件・収入要件あり	4月上旬
高久国際奨学財団	全研究科 全学年	70,000円/月	■国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する者	7月下旬
鷹野学術振興財団	理・政メ・健マ 修 1年生	600,000円/年 (1年間)	■「科学技術関係」を専攻している者で、卒業・修了後に製造業に就職を希望する者	4月～5月
竹中育英会(博士課程)	全研究科 修 2年生	100,000円/月	■翌年度4月に博士課程に進学する者 ■創造力、行動力に富む英才で、将来、社会のそれぞれの分野でリーダーとして活躍することが期待される者 ■財団の行事に出席できる者 ■成績要件あり	4月
東亜留学生育友会	全研究科 全学年	30,000円/月	■アジア諸国・地域の出身である者 ■月例会に毎月出席可能であること	2月
戸部眞紀財団	法務以外の 全研究科	50,000円/月 ただし給付型の奨学金併給者は 半額になる場合あり	■化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学の分野で修業している者 ■財団の交流会に出席できる者	4月
富山文化財団	全研究科 全学年	300,000円/年	■「楽しく豊かな遊び文化」「子供の遊育と健やかな成長」「日本のものづくり」のいずれかに関わる事項について目標をもって学業に取り組んでいること	7月上旬～中旬
中谷医工計測技術振興財団	医・理・健マ・薬 申請年9月あるいは 翌年度4月に修 または博1年生に入学	修 100,000円/月 博 150,000円/月	■医工計測技術および関連分野において博士号の取得を目指す者	4月～6月
中辻創智社	法務 全学年	30,000円/月	■日本の法科大学院に在籍者で次のいずれかに該当する者 ・理系分野の大学学部を卒業した者 ・理系分野の大学院修士課程もしくは博士課程を修了または中退した者	4月～5月
日本免疫学会	医・薬 博	3,000,000円/年	■博士課程後期1年次に在学する予定の者 ■後期3年の課程のみの博士課程第1年次に在学する予定の者 ■医学、薬学系の4年制の博士課程第2年次に在学する予定の者 ■免疫学領域全般を専攻している者	9月*
FASID奨学金プログラム	全研究科	2,000,000円/年(上限1年間) ①修学期間に納める入学金・ 授業料・納付金 ②研究費(月額定額50,000円)	■地球規模の課題を含む国際開発分野で、「博士」の学位取得を目的とする者 ■博士号取得後は、国際開発関連分野の実務者として働く意思のある者	1月*
村井順記念奨学財団	理・政メ 修 1年生	30,000円/月	■大学院の工業系の課程にまなび、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難な者(新大学院1年生)	7月～8月
山田長満奨学会	全研究科	120,000円/月 (1年間)	■日本国内に居住する者 ■毎月の交流会に出席し、指定の給付日(第2金曜日)に直接奨学金を受け取りに来られる者	11月～12月*
ヨネックススポーツ振興財団	全研究科	60,000円/月以内	■専攻するスポーツ種目において、自他ともに認める力量を有している者 ■青少年スポーツ振興のための指導者を目指している者	10月～12月*
米濱・リンガーハット財団	全研究科	20,000円/月	■鳥取・長崎県内の高等学校等を卒業した者 ■成績要件・収入要件あり	4月上旬
ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞	理 博	1,000,000円/年 (一括)	■生命科学、物質科学の分野において在籍あるいは進学予定の40歳未満の女性	12月

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。

貸与型の奨学金

1. 大学推薦の奨学金（貸与） 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期	2023年度実績		
					申請	推薦	採用
浦上奨学金	翌年度4月に 修または博に入学	50,000円／月、60,000円／月、 70,000円／月、80,000円／月 から選択	■ 広島県出身者	9月下旬*	0	0	0
千賀法曹育英会	法務 2～3年生	給付 30,000円／月 計100,000円／月 貸与 70,000円／月	■ 学業、人物ともに優秀であって、経済的理由により修学困難な者 ■ 財団主催の行事に出席できる者	4月上旬	3	1	1
中部（なかべ）奨学会	修	60,000円／月	■ 学業・人物ともに優秀、心身健全で学費の支弁が困難と認められる者	4月中旬	1	0	0
中村積善会（給付・貸与併用）	全研究科	給付 30,000円／月 計80,000円／月 貸与 50,000円／月	■ 学業・人物ともに優秀、心身健全で学費の支弁が困難と認められる者	4月上旬	募集なし		
日本薬学会 長井記念薬学奨励支援事業	薬 博	50,000円／月	■ 博士の学位を有する薬剤師・薬学研究者を目指す者 ■ 公益社団法人 日本薬学会の会員であること ■ 常勤職についている者は対象としない ■ 返還免除制度あり	9月中旬*	0	0	0
みずほ育英会	全研究科	60,000円／月	■ 学業優秀で経済的理由により学費の援助を必要とする者 ■ 保護者の年収は900万円以下が目安	4月上旬	8	1	1
山口育英奨学会	修	50,000円／月	■ 学業人物ともに優秀、心身健全で学費の支弁が困難と認められる者 ■ 財団の奨学生集会に参加できる者 ■ 返還免除制度あり	4月上旬	0	0	0

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。

2. 適格者全員推薦の奨学金（貸与） 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期	2023年度実績		
					申請	推薦	採用
味の素奨学会	理・薬	自宅 40,000円／月 自宅外 45,000円／月	■ 化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する学生のうち、成績抜群にして身体強健、志操堅固な者	4月上旬	0	0	0
大堀秀夫記念育英財団	全研究科 修1年生	40,000円／月	■ 福井県出身者	4月中旬	0	0	0
帝人奨学会	医・理・政メ・SDM・KMD・薬 申請年9月あるいは 翌年度4月に博1年生に入学	100,000円／月	■ 医学・薬学・バイオ・理工・工学・情報学系に在籍している者	8月下旬*	0	0	0

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。

3. 個人出願の奨学金（貸与） 以下は2023年度の実績です。2024年度の募集情報については必ず塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認すること。

奨学団体名称	対象研究科 学年	支給金額	資格・対象など	申請時期
芸備協会	全研究科	20,000円／月	■ 広島県の高等学校を卒業した者	4月～5月
交通遺児育英会	全研究科	50,000円／月、 80,000円／月、 100,000円／月 から選択	■ 保護者が交通事故で死亡したり、著しい後遺症で働けず、経済的に修学が困難な者 ■ 収入要件あり	4月～10月
上越学生寮奨学生	全研究科	100,000円／月	■ 上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかに3年以上住所を有した人で、かつ学業に優れた学生	4月上旬
東京弁護士会育英財団	全研究科	自宅 35,000円／月 自宅外 50,000円／月 法務は自宅 50,000円／月 自宅外 70,000円／月	■ 学術優秀かつ品行方正でありながら経済的事由により修学が困難な者	7月～8月
東ソー奨学金	理 修	50,000円／月	■ 品行方正、学術優秀、身体強健な者	2月上旬*
新潟市教育委員会	全研究科	400,000円／年	■ 保護者が新潟市内に住所を有する者 ■ 成績要件・収入要件あり	6月～7月
福井県ものづくり 人材育成修学資金	理・政メ・SDM・KMD・薬	60,000円／月	■ 福井県内のものづくり企業に勤務して研究開発業務に従事することを希望する者	4月上旬
松山市教育委員会	全研究科 全学年	300,000円～1,100,000円 （一括、修学に必要な 費用に応じて決定）	■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、アルバイト収入や家庭からの援助が半減し、経済的理由により学業の継続が困難な者	10月下旬

※「申請時期」欄に※印がある奨学金の支給開始は募集があった年度の翌年度からです。

Ⅲ．申請に必要な書類

申請にあたっては、大学所定の申請書類(大学院版)や成績関係書類、収入についての書類等、さまざまな書類が必要です。p.24～44をよく読み、指定された書類を準備してください。

書類について不明な点があれば、必ず申請締切日より前に在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで問い合わせてください。

※書類の取り寄せに要する時間等を考慮し、早めに書類の準備をしてください。

※4月・5月の奨学金担当窓口は申請受付および申請相談で大変混み合いますので、電話による質問等は受けられない場合があります。

▲ 記入にあたっての注意事項

- 書類はすべてA4サイズで準備してください。
- 書類・作文はすべて、黒ペンまたは黒ボールペンで記入してください。消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンは使用できません。
- 押印する際は、朱肉を使わないと押印できない印鑑を用いてください。シャチハタ等のスタンプ印やゴム印は使用しないでください。
- 修正テープ・修正液の使用は認めません。間違えた場合は、修正箇所に二重線を引いて訂正印を押し、余白に書き直してください。
- 入力漏れおよび入力ミス、記入漏れおよび記入ミス等の不備がある場合は、選考から外れることがあります。
- 記入内容が事実と相違している場合は、採用後でも採用取消となります。
- 申請書類に記入するメールアドレスはkeio.jpのメールアドレスを記入してください。奨学金に関する連絡はすべて「K-Support」やkeio.jpのメールアドレス宛に連絡します。
- 民間団体・地方公共団体の奨学金に推薦が決まり、推薦書の作成が必要になった場合は、学内の教員に作成を依頼してください。

申請に必要な書類

- 学内の奨学金
- 民間団体・地方公共団体の奨学金

! 日本学生支援機構奨学金も申請する場合、別途p.25にある書類一式を提出する必要があります。

「学内の奨学金」および「民間団体・地方公共団体の奨学金」については、いずれか一つの奨学金に申請した時点で、あなたの奨学金情報が大学に登録されます（年度内に限り有効）。年度内2回目以降の申請では、初回申請時の情報に基づいて選考が行われます。

年度内で初めて申請するとき ・一部の研究科独自の奨学金や民間団体・地方公共団体の奨学金の中には、下記とは異なる書類を提出いただくものもあります。募集要項で確認してください。

書類名		参 照
申請票 大学所定の申請書式(大学院版) ㉔-1、㉔-2 * 春学期募集の指定寄付奨学金に申請する場合は、指定寄付専用の申請票(㉔-2)を使ってください。		p.26 ①
学内の奨学金 および 民間団体・地方公共団体の奨学金チェックリスト		p.26 ②
2024年度 大学院奨学金申請書(奨学金Web申請システムで入力後、印刷したもの)		p.26 ③
大学院奨学生選考シート(奨学金Web申請システムで入力後、印刷したもの)		p.26 ④
最新 の 所得 証明 書 * 市区町村で発行される公的証明書 * マイナンバーが記載されていないものを提出してください。	提出対象者	
	■ 父母両方(母子・父子世帯*の場合は母または父の分。父母ともにいない場合には、父母に代わって家計を支えている者) ■ 独立生計者として申請する場合は、申請者本人と配偶者	
収入・世帯事情に 関する必要書類 * 源泉徴収票や確定申告書(控)等		p.30 ①-1
		p.31 ②～ p.33 ⑰
成績関係書類	1年生(修士・博士・法務研) 法務研 既修 2年生	前課程までの、Web学業成績表(塾内進学者のみ)、または学業成績証明書 * 入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院修士・博士学業成績証明書も併せて提出
	2年生(修士・博士・法務研)以上	現課程と、それ以前の課程の、Web学業成績表(塾内進学者のみ)、または学業成績証明書
p.26 ⑤		
学生本人名義の通帳見開きページのコピーまたはWeb通帳の印刷		p.26 ⑥
作文・学習計画書等 * 指定の有無を募集要項で必ず確認すること * 作文については特に指定のない限り、大学所定の申請書式(大学院版) ㉔の作文用紙を使用すること		p.27 ⑩
独立生計者として申請する場合に必要な書類 ・ 独立生計申立書 大学所定の申請書式(大学院版) ㉔ ・ 父母等(配偶者を除く)の扶養親族ではないことが分かる書類 ・ 本人(および配偶者)の父母等と別居していることが分かる書類		p.27 ⑮
研究科により申請に必要な書類 <理工学研究科および政策・メディア研究科のみ> 「研究業績書」 <健康マネジメント研究科> 奨学金により「研究計画書」等 <薬学研究科> 奨学金により「研究報告書」等		p.27 ⑯

* 母子・父子世帯は、父母以外についても書類の提出が必要な場合があります(▶ p.33)。
・ 選考の過程において、上記に記載されたもの以外の書類を求めることがあります。
・ 民間団体・地方公共団体の奨学金で学内推薦者となった場合、収入に関する書類や健康診断書・住民票等が別途必要になる場合があります。特に、申請している奨学金の願書に健康診断証明書が含まれている場合は、早期に学生定期健康診断を受診し、受診当日に証明書発行の手続きを行うようにしてください。早期の受診でも発行まで時間がかかる場合があります。

年度内2回目以降の申請をするとき ・初回申請が、上記「年度内で初めて申請するとき」の一式と異なる書類を求められる奨学金や国際センターが募集する奨学金の場合は、2回目であっても上記の書類一式を提出してください。
・ 研究科独自の奨学金など以下の取扱いとは異なる場合があります。募集要項を確認してください。

書類名		参 照
申請票		p.26 ①
作文・学習計画書等 * 指定の有無を募集要項で必ず確認すること * 作文については特に指定のない限り、大学所定の申請書式(大学院版) ㉔の作文用紙を使用すること		p.27 ⑩
春学期に申請した学生が秋学期にも申請する場合は、秋学期の初回に提出(9月入学生が春学期に申請する場合は、春学期の初回のみ前秋学期の成績を提出)		
当該年度春学期のWeb学業成績表または学業成績証明書 * 春学期(もしくは秋学期)中に2回目以降の申請をするときは提出不要		p.26 ⑤
秋の「慶應義塾大学修学支援奨学金」に申請する場合 ・ 父母両方(母子・父子世帯の場合は母または父の分・父母ともにいない場合には、父母に代わって家計を支えている者) ・ 独立生計者として申請する場合は、申請者本人と配偶者 * 募集要項で指定された年度の所得証明書で未提出のもの		p.26 ⑦

● 日本学生支援機構奨学金



学内の奨学金、民間団体・地方公共団体の奨学金も申請する場合、別途p.24にある書類一式を提出する必要があります。

書類名		参 照
日本学生支援機構奨学金チェックリスト		p.26 ②
別冊『貸与奨学金案内(大学院)』に挟み込み スカラネット入力下書き用紙		p.27 ⑪
記入済みのスカラネット入力下書き用紙のコピー		p.27 ⑫
別冊『貸与奨学金案内(大学院)』に挟み込み 収入計算書	申請者本人	p.26 ⑧ p.30 ①-2
収入・世帯事情に関する必要書類 *源泉徴収票や確定申告書(控)等、収入・世帯事情に関する必要書類を添付してください。 *所得証明書を提出する必要はありません。 *マイナンバーが記載されていないものを提出してください。 採用後にマイナンバーの提出が必要になります。	申請者本人	p.31 ②～ p.32 ⑪
	配偶者	
成績関係書類	1年生(修士・博士・法務研) 法務研 既修 2年生	前課程の、Web学業成績表(塾内進学者のみ)、 または学業成績証明書 *入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院 修士・博士学業成績証明書も併せて提出
	2年生(修士・博士・法務研)以上	現課程の、Web学業成績表または学業成績 証明書
[該当者のみ] 在留資格および在留期間が明記されている証明書		p.27 ⑭
別冊『貸与奨学金案内』に綴じ込み 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書		p.27 ⑬
学生本人名義の通帳見開きページのコピーまたはWeb通帳の印刷		p.26 ⑥
研究科により申請に必要な書類 <理工学研究科のみ>「研究業績書」		p.27 ⑯

・選考の過程において、上記に記載されたもの以外の書類を求めることがあります。

重要 複数の奨学金に申請する場合

- 申請書類は、「日本学生支援機構奨学金」で一式、それ以外の奨学金(「学内の奨学金」および「民間団体・地方公共団体の奨学金」)で一式が必要になります。

重複する書類もそれぞれ提出してください。その際、原本での提出が求められている場合は、それぞれ原本が必要となります。
※民間団体・地方公共団体の奨学金のうち、学内選考のない奨学金(適格者全員推薦)、個人出願等一部奨学金については、奨学団体の指定する書類を別途提出する必要があります。

申請書類の提出方法と注意事項<すべての奨学金共通>

- 必ず学生本人が提出してください。保証人や友人等の代理提出は受理しません。
- 郵送必着日以降・受付期間外・受付時間外、在籍キャンパス以外での申請は一切受け付けません。
- 一度提出した書類の貸出および返却は一切しません。あらかじめ控えをとっておいてください。
- 申請書類に不備や誤りがある場合、書類を受理できなかったり、選考から外れることがあります。
- 特に受付最終日や昼休み、休み時間は窓口が大変混雑するため、書類受付までにかなりの時間を要します。
授業時間等を考慮して、余裕をもって早めに申請してください。
- 申請書類の記載事項について確認・質問等をしたうえで受け付けます。申請時に家計状況についてきちんと答えられるようにしておいてください。
- その他、詳細については在籍キャンパスの指示に従ってください。

■申請に必要な書類の詳細

①申請票[大学所定の申請書式(大学院版)©-1、©-2]

- 奨学団体・奨学金名称を記入して使用してください(一部奨学金を除く)。
- 申請票が不足した場合は、塾生サイトからダウンロードしてください。
- 春学期募集の指定寄付奨学金に申請する場合は、指定寄付専用の申請票©-2を使ってください。ただし、「三田法書会奨学金」「田中實記念奨学金」「森敬・L.R.クライン奨学金」および「ゴールドマン・サックス博士課程進学支援奨学金」は指定なしの申請票©-1を使用してください。

②チェックリスト[大学所定の申請書式(大学院版)A、B]

- 「学内の奨学金」および「民間団体・地方公共団体の奨学金」に申請する場合は、初回申請時のみ大学所定の申請書式(大学院版)A「学内の奨学金および民間団体・地方公共団体の奨学金チェックリスト」を提出してください。
- 「日本学生支援機構奨学金」に申請する場合は、大学所定の申請書式(大学院版)B「日本学生支援機構奨学金チェックリスト」を使用してください。
- いずれの奨学金の場合も、提出前にはチェックリストを利用して書類に不備がないか確認をしてください。また、チェックリストに記載のある順番どおりに書類をととのえて提出してください。

③2024年度 大学院奨学金申請書[Web入力]

- p.33~44の入力例および入力上の注意事項をよく読み、間違いのないように入力してください。
- Web入力後、A4白黒片面印刷で提出してください。「本人氏名」欄は、学生本人が自署してください。

④大学院奨学生選考シート[Web入力]

- それぞれの項目について具体的に入力してください。特に奨学金を希望する理由欄については、選考において重視されます。
- p.33~p.44の入力上の注意事項も参照してください。
- Web入力後、A4白黒片面印刷で提出してください。「本人氏名」欄は、学生本人が自署してください。

⑤成績関係書類

- 在籍する課程、学年により以下の証明書(原本)を提出してください。塾内進学者の場合は、Web学業成績表も可とします。

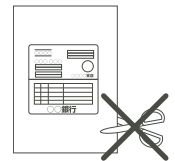
研究科	課程・コース	学 年	証 明 書
理工学研究科・ 法務研究科以外	修士	1年	大学学部学業成績証明書 (入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院修士学業成績証明書*も併せて提出)
		2年	大学学部、大学院修士学業成績証明書*
	博士	1年	大学学部、大学院修士学業成績証明書 (入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院博士学業成績証明書*も併せて提出)
		2~4年	大学学部、大学院修士、大学院博士学業成績証明書*
理工学研究科	修士	1年	大学学部学業成績証明書 (入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院修士学業成績証明書*も併せて提出)
		2年	大学学部学業成績証明書および大学院修士学業成績証明書
	博士	1~3年	大学学部学業成績証明書および大学院修士学業成績証明書。研究科目以外の科目を履修している場合は、その分の大学院博士学業成績証明書(Web学業成績表も可)。
法務研究科	法学既修者	2年	大学学部学業成績証明書(入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院修士学業成績証明書*も併せて提出)
		3年	大学学部、大学院法務研究科学業成績証明書*
	法学未修者	1年	大学学部学業成績証明書(入学から2学期目に申請する場合は、1学期目の大学院修士学業成績証明書*も併せて提出)
		2・3年	大学学部、大学院法務研究科学業成績証明書*

- 塾内進学者の学部・大学院の学業成績証明書、および修士2年生、博士2~4年生、法務研究科法学既修者コース3年生、法務研究科法学未修者コース2・3年生の前年度までの学業成績証明書またはWeb学業成績表でも構いません。学業成績証明書は証明書自動発行機・コンビニエンスストアで発行しています(1通300円)。
 - 複数の大学、大学院に在籍していた場合は、それぞれの学業成績証明書および成績評価体系が記載された資料を提出してください。日本語または英語以外の学業成績証明書の場合は日本語訳を添付してください(本人訳可)。なお、学業成績証明書に「G」「認定」等と表記されている場合でも、提出してください。ただし、卒業・修了に至っていない課程の学業成績証明書・留学中の成績証明書は原則不要です。
 - 編入学および修士入学をしている場合は、それ以前の学業成績証明書も提出してください。
 - 研究生、科目等履修生等の期間についても在籍証明書を提出してください。
 - 春学期に申請し秋学期も新たに申請する場合(9月入学生は秋学期に申請し春学期にも申請する場合)には、最新の学業成績証明書*、またはWeb学業成績表を提出してください。
 - 日本学生支援機構奨学金に申請する場合は、直近の学業成績証明書のみ(入学から1学期目に申請する場合のみ、直近の卒業、修了課程のWeb学業成績表(塾内進学者のみ)または学業成績証明書)を提出してください。
- [※注意]医学研究科・法務研究科(グローバル法務専攻を除く)については、秋学期に発行する学業成績証明書に当年度春学期分の成績が記載されていません。秋学期に申請する場合、この2つの研究科については必ず前学期分のWeb学業成績表を提出してください。

⑥学生本人名義の通帳見開きページのコピーまたはWeb通帳の印刷

- 「2024年度 大学院奨学金申請書」の振込口座欄に記入するものと同一のものを用意してください。
- 学生本人名義の普通預金口座(総合口座を含む)、通常貯金口座(ゆうちょ銀行)に限ります。貯蓄預金口座は取り扱いできません。
- 日本学生支援機構については、信託銀行、信用組合の一部、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等への振り込みはできません。また、上記以外の金融機関においても、インターネット支店は不可です。
- 通帳は見開きページの支店名・店番号・口座名義・口座番号が記載されている部分をコピーしてください。なお、学内の奨学金もしくは民間団体・地方公共団体の奨学金に申請する場合でゆうちょ銀行を指定する際は、他の金融機関から振り込むための「振込用の店名」「口座番号」が記載されていることを確認してください。万が一、見開きページに上記必要情報の記載がない場合は、通帳の表面のコピーも提出してください。
- 通帳を発行しない口座の場合は、金融機関名・支店名・店番号・口座名義・口座番号が記載されている画面を印刷し、提出してください。
- 銀行または支店の統廃合があった場合は、コピーに変更後の金融機関名・支店名・店番号・口座番号を記入してください。
- A4サイズの用紙に原寸でコピーしてください。なお、コピーした用紙は通帳のサイズに切り取らないでください。

A4サイズでコピー



⑦最新の所得証明書

- 市区町村の役所で発行される書類です。名称は自治体により異なります。(例:「市民税・県民税課税証明書」「特別区税・都民税課税(非課税)証明書」等)

⑧収入計算書(日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

- 日本学生支援機構奨学金では、採用時に最新の所得証明書に代わり本人および配偶者のマイナンバーの提出が必要です。申請時には収入計算書(「貸与奨学金案内(大学院)」に挟み込み)を提出してください。

⑨収入・世帯事情に関する必要書類 □ p.31②～p.33⑦

■日本学生支援機構奨学金の場合は収入計算書に添付してください。

⑩作文・学習計画書等

[作文]

■募集要項で指定がある場合は提出してください。

■特に指定のない限り、大学所定の申請書式(大学院版)①の作文用紙を各自印刷し、使用してください。塾生サイトからダウンロードできます。

[学習計画書]

■「慶應義塾大学修学支援奨学金」に原級(留年)者・選考進級者が申請する場合は、修業に向けた「学習計画書」をWebサイトからダウンロードのうえ提出してください。

⑪スカラネット入力下書き用紙[『貸与奨学金案内(大学院)』に挟み込み](日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

■別途配付するスカラネット入力上の注意事項を参照して、間違いのないように記入してください。

■下書き用紙本紙は、皆さんが入力した内容を確認するために大学が保管します。



⑫記入済みのスカラネット入力下書き用紙のコピー(日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

■記入済みの「⑪スカラネット入力下書き用紙」をA3サイズ見開きまたはA4サイズで両面コピーしてください。モノクロで結構です。

■こちらのコピーは、記入されている内容に問題がなければ返却します。このコピーを元にスカラネットで入力してください。

⑬確認書兼個人情報取扱いに関する同意書[『貸与奨学金案内(大学院)』に綴じ込み](日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

■用紙右上の日付欄の記入漏れに注意してください。

■住所は、住民票の住所ではなく現住所を記入してください。

⑭在留資格および在留期間が明記されている証明書

■申込者(学生)が外国籍の場合、受給可能な在留資格であることを示すために提出が必要です。

■在留カード(コピー可)、特別永住者証明書(コピー可)、住民票の写し(原本)等、在留資格、在留期間が明記されているものをいずれか1点提出する必要があります。

■「法定特別永住者」および「永住者」については、在留期間が記載された書類の提出は必要ありません。

■申込日時点で在留期限が経過している場合は上記書類に加え、延長申請中の書類(コピー)を提出してください。

⑮独立生計者として申請する場合に必要な書類

■学生本人が独立して生計を営んでいると認定されるには、以下の(1)～(4)(ただし、(1)はAもしくはBのいずれか)すべてに該当し、独立生計者であることを証明する書類を提出する必要があります。

ひとつでも該当しない項目がある場合や必要書類を提出できない場合は独立生計者として認定できません。

独立生計者としての認定条件

(1)	A 本人(配偶者を含む)に年間103万円を超える収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得証明書が発行される者 B 本人が本学への入学のために退職(休職)等し無収入となり、あるいは本人(配偶者を含む)の収入が年間103万円未満で、預貯金等により生活を行っている者
(2)	父母等(配偶者を除く)の扶養親族ではない者
(3)	本人(および配偶者)の父母等と別居している者
(4)	父母等(配偶者を除く)から一切の経済的援助を受けていない者

(1)の認定条件でAにあてはまる場合、以下の書類すべてを提出すること

必要書類	備考
独立生計申立書	大学所定の申請書式(大学院版)⑥
本人および配偶者の最新の所得証明書	□ p.30①-1
本人および配偶者の収入に関する必要書類 (前年の収入または今年度の収入の見込みが103万円を超えていることが分かる書類)	□ p.31②～p.33⑦
父母等の扶養親族ではないことが分かる書類	・健康保険被保険者証(父母の被扶養者ではなく有効期限内のもの。コピー) 国民健康保険の場合は次の書類も必要です。 ・父母の源泉徴収票または確定申告書第一表・第二表(コピー) 保険証をマイナンバーカードに切り替えている場合は、父母の源泉徴収票または確定申告書第一表・第二表(コピー)を提出してください。
本人の父母等と別居していることが分かる書類	世帯主の省略されていない世帯全員の住民票(3ヶ月以内に発行されたもの。原本)に加え、①、②いずれかを提出してください。 ①本人名義の賃貸契約書(コピー) ②公共料金の請求書等(当該年度の4月以降に発行されたものもしくは直近のもの。コピー)

(1)の認定条件でBにあてはまる場合、以下の書類すべてを提出すること

必要書類	備考
独立生計申立書	大学所定の申請書式(大学院版)⑥
本人および配偶者の最新の所得証明書	□ p.30①-1
本人および配偶者の収入に関する必要書類 本人の退職・休職証明書(本人が本学への入学のために退職・休職した場合)	□ p.31②～p.33⑦ □ p.32⑦
父母等の扶養親族ではないことが分かる書類	・健康保険被保険者証(父母の被扶養者ではなく有効期限内のもの。コピー) 国民健康保険の場合は次の書類も必要です。 ・父母の源泉徴収票または確定申告書第一表・第二表(コピー) 保険証をマイナンバーカードに切り替えている場合は、父母の源泉徴収票または確定申告書第一表・第二表(コピー)を提出してください。
本人の父母等と別居していることが分かる書類	世帯主の省略されていない世帯全員の住民票(3ヶ月以内に発行されたもの。原本)に加え、①、②いずれかを提出してください。 ①本人名義の賃貸契約書(コピー) ②公共料金の請求書等(当該年度の4月以降に発行されたものもしくは直近のもの。コピー)

※上記以外にも必要に応じて参考となる資料の提出を求めることがあります。

[注意事項]

・親の所有する住宅に住むなど、親族等から便宜供与を受けている場合は独立生計者として認定できません。

・二世帯住宅等では別居と認定できません。

・独立した生計を営むだけの収入の根拠がない者は、独立生計者として認定できません。

⑯研究科により申請に必要な書類

■理工学研究科および政策・メディア研究科の学生は、「研究業績書」の提出が必要です。下記サイトより所定の研究業績書をダウンロードしてください。
(理工学研究科) <https://www.st.keio.ac.jp/students/life/>
(政策・メディア研究科) <https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/index.html>

■健康マネジメント研究科の学生は、奨学金により「研究計画書」等の提出が必要な場合があります。下記サイトよりダウンロードしてください。
<https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/nmc-gshm.html>

■薬学研究科は、奨学金により「研究報告書」等の提出が必要な場合があります。

収入・世帯事情に関する必要書類の詳細

次の①～③のステップにより必要書類を準備してください。

① 自分が申請する奨学金について、「収入・世帯事情に関する必要書類」の提出対象者を確認してください。

学内の奨学金 民間団体・地方公共団体の奨学金	父母両方(母子・父子世帯の場合は母または父の分。父母ともいない場合には、父母に代わって家計を支えている者) * 独立生計者として申請する場合は、申請者本人と配偶者
日本学生支援機構奨学金	申請者本人および配偶者(「収入計算書」は申請者本人のみ)

② ①の提出対象者それぞれについて、下表の「収入に関する必要書類」および「世帯事情に関する必要書類」を参照し、提出しなければならない書類を確認してください。▶ p.29「収入に関する必要書類についてのフローチャート」も参照

●収入に関する必要書類

○=提出 ★=確定申告をしていない場合に提出 △=転職の場合に提出

必要な書類①～⑬についての詳細は、 p.30～32を参照												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
収入形態・世帯事情												所得証明書／収入計算書	源泉徴収票	年収見込証明書⑩	確定申告書	公的年金等の源泉徴収票	報酬料金支払調書	退職証明書	廃業証明書	雇用保険受給資格者証	アルバイト収入状況報告書①	開業後の収入状況書	生活状況報告書⑫	
給与収入（パート・アルバイトを含む）がある場合																								
2023年1月1日以降同じ勤務先で働いている場合												○	○											
2023年1月2日以降に就職・転職・減給（再雇用等）した場合												○	○	○					△					
専従者給与の場合*												○	○		○									
2ヶ所以上から給与収入がある場合												○	○		○									
給与以外にも収入（不動産所得・配当所得・雑所得等）がある場合												○	○		○									
2023年1月以降海外で勤務している（た）場合												➡ p.32 ⑬												
申請者本人について短期アルバイト等で収入証明書が出ない場合 （日本学生支援機構奨学金のみ）												○										○		
事業収入・その他の収入がある場合																								
自営業者												○			○									
農業所得者												○			○									
外交員報酬												○			○		○							
自由業者												○			○									
年金受給者												○			○	★								
2023年1月2日以降から営業・経営を始め現在に至る場合												○							△			○		
無収入／収入が少ない場合																								
2022年1月1日から現在までの間に収入が全くなかった場合												○											○	
2022年1月1日から現在までの間に給与所得の収入があった場合												○	○					○		○			○	
2022年1月1日から現在までの間に給与所得以外の収入があった場合												○			○				○				○	
2人親世帯…2022年1月1日から現在までの間の父と母の収入合計が210万円以下の場合												○			○								○	

生活状況報告書は、父母両方、もしくは本人と配偶者両方がいずれかの項目に該当する場合のみ、主たる生計維持者が作成・自署捺印のうえ提出(日本学生支援機構奨学金は不要)

※雇用主(例:父) … 確定申告書(特に、被雇用者(例:母)への専従者給与の支払いが分かる箇所)

被雇用者(例:母) … 源泉徴収票(雇用主(例:父)が発行したもの)

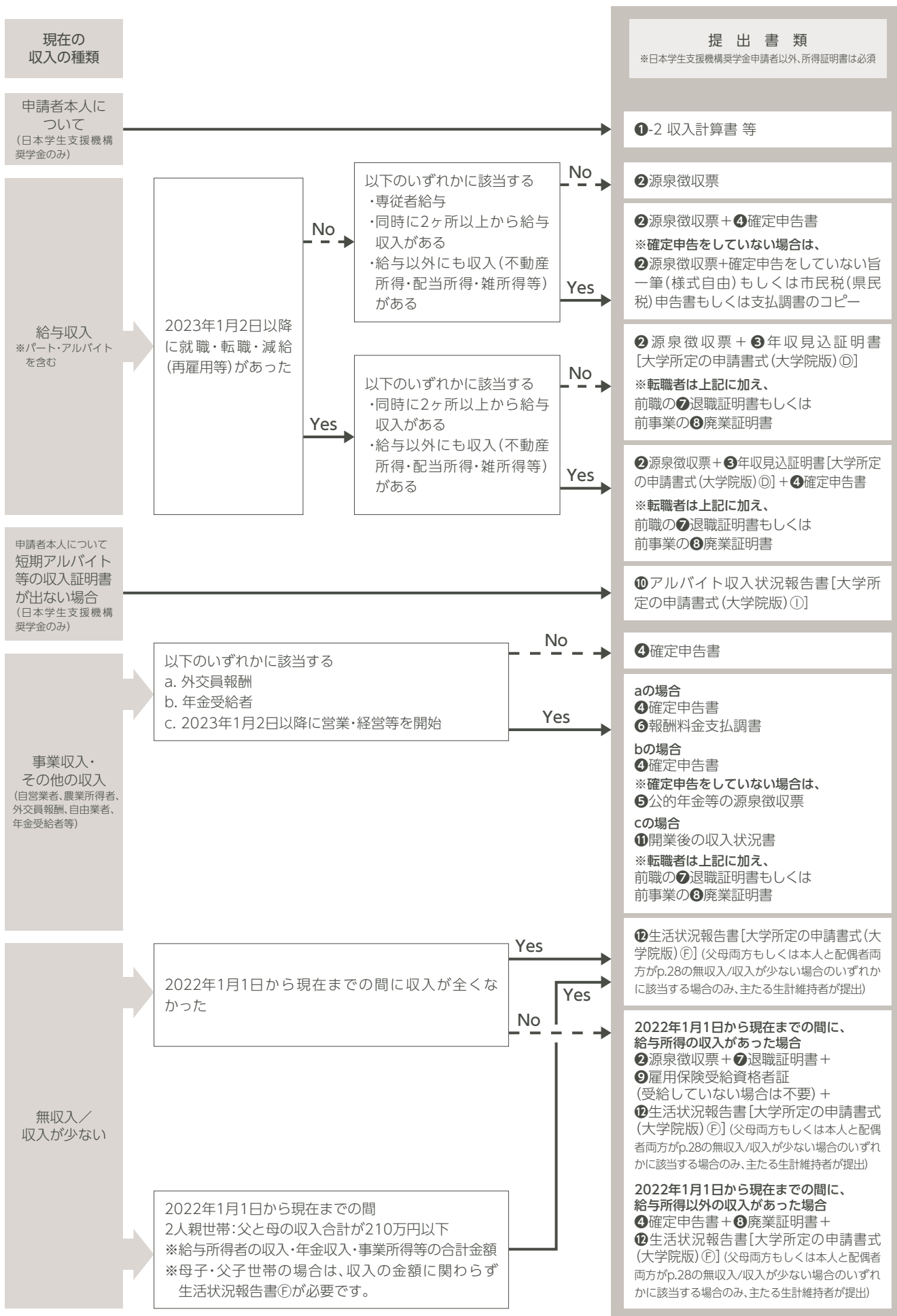
●世帯事情に関する必要書類(該当者のみ)

世帯事情			
⑫ 特別な事情がある場合(無収入・生活保護・母子父子世帯など)	▶ p.32	⑬ 母子・父子世帯の場合	▶ p.33
⑬ 昨年もしくは本年に海外勤務がある場合		⑭ 障害者がいる場合	
⑭ 生活保護を受けている場合			
⑮ 傷病手当金を受けている場合			

③ p.30～33で各書類の説明を熟読したうえで、該当の書類を提出してください。

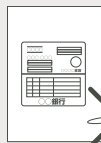
●収入に関する必要書類についてのフローチャート

下図の「現在の収入の種類」から、該当するものを選び、Yes・Noに従い矢印を進み、右端の「提出書類」に記載の書類を提出してください。収入の種類が複数ある場合は、それぞれに該当する必要書類をすべて提出してください。ただし、同一の提出書類が重複する場合には、1部のみの提出で結構です。各提出書類の説明はp.30～33を参照してください。



- 【注意】■書類にマイナンバーが記載されている場合は、その箇所を個人情報保護スタンプで消したうえで提出してください(黒塗りは不可)。**
- 証明書類をコピーして提出する場合は、
 - ・ A4サイズ用の紙に原寸で片面コピーしてください。また、そのコピーした用紙は切り取らないでください。
 - ・ 裏紙や「裏面に広告のある無料コピー」は利用しないでください。
 - 源泉徴収票などA4サイズ以外の証明書類の原本を提出する場合は、A4用紙に糊で貼り付けたうえで提出してください。

A4サイズで
片面コピー



● 収入に関する必要書類

①-1 最新の所得証明書

原本 [発行元] 市区町村役所

- 原本を提出してください。
- 2024年1月1日現在に世帯所在地のある市区町村役所で発行しています。税務署で発行される納税証明書では受け付けできません。
- 所得証明書の名称は市区町村により異なります。(例:「市民税・県民税課税証明書」「特別区税・都民税課税(非課税)証明書」等)
- 原則として令和6年度(令和5年分)の所得証明書を提出してください。ただし、当該の市区町村が令和5年度(令和4年分)が最新の場合には、これをもって代えます。一般的には6月から令和6年度のものが発行されます。
- 本資料は、所得・収入の種類・内訳と金額、配偶者や扶養者の人数・控除の種類を確認するために必要となります。市区町村役所には、これらの事項すべてが必ず明記されるように申請してください。収入・金額等が「***** (アスタリスク)」等で目隠しされているものは原則受け付けできません。再提出となります。
- 所得の有無にかかわらず必ず提出してください。収入が0円の場合でも、給与収入0円・総所得0円と記載されたものが必要となります。課税・非課税のみの証明となっているものは受け付けできません。また、パート勤務等で扶養控除の範囲内であっても、所得証明書は必要です。
- 母子・父子世帯では、同一生計内の祖父母や兄弟姉妹についても提出が必要になる場合があります。
- 父母が海外在住で住民票が日本になければ所得証明書は発行されませんので、この場合は大学所定の申請書式(大学院版)の「海外勤務および給与支払(見込)証明書」(▶ p.32⑥)を提出してください。海外現地法人に勤務している場合は、発行されない旨を父母が様式自由で一筆書くか、住民票(除票)を提出してください。

〈良い例〉

- 収入・所得の内訳と金額が記載されている
- 無収入の場合も、収入0と明記されている

【主な収入・所得の種類と提出書類】

給与収入…源泉徴収票 (▶ p.31②)

給与収入に金額の記載はあるが現在は無収入の場合…退職証明書等が必要 (▶ p.32⑦)

営業等
農業
不動産
雑

…確定申告書 (▶ p.31④)

※雑所得の場合、余白に所得の内容を記入してください。また、今年も入る所得でない場合はその旨明記してください。

公的年金収入…公的年金等の源泉徴収票 (▶ p.31⑤)

(令和6年度相当分) 市民税・県民税 所得証明書

住所 ○○県○○市○○町○丁目○番○号
氏名 ○○ ○○

令和5年中の合計所得金額等		課税額等		納税額等	
合計所得金額	¥ 4,672,800	住民税課税額合計	¥ 272,100	※ 以下余白 ※	
総所得金額等	¥ 4,672,800	(内) 市民税均等割	¥ 3,000		
所得控除額	¥ 1,909,845	(内) 県民税均等割	¥ 1,000		
課税標準額	¥ 2,762,955	(内) 市民税所得割	¥ 180,900		
※ 以下余白 ※		(内) 県民税所得割	¥ 107,200		
※ 以下余白 ※		※ 以下余白 ※			

所得の種類・金額		控除の種類・金額		課税標準額の種類・金額	
給与収入	¥ 6,518,410	社会保険料控除	¥ 764,845	課税総所得	¥ 2,762,955
給与所得	¥ 4,672,800	生命保険料控除	¥ 35,000	※ 以下余白 ※	
※ 以下余白 ※		配偶者控除	¥ 330,000		
		扶養控除	¥ 450,000		
		基礎控除	¥ 330,000		
		※ 以下余白 ※			

配偶者控除や扶養控除が記載されているか確認

控除対象配偶者		扶養人数		障害人数		本人該当		その他	
有	無	特定	老人	その他	特別	普通	障害	未成年	その他
一般	老人	内	内	内	内	内	内	内	内
※	—	1	0	0	0	0	—	—	—

上記のとおり相違ないことを証明します。
令和6年 6月 5日
○○市長
○○ ○○○

配偶者や扶養人数が記載されているか確認

摘要
・調整控除額(市: ¥1,500、県: ¥1,000)
※ 以下余白 ※

〈悪い例〉

収入・所得金額、控除の種類・金額等が「***** (アスタリスク)」等で目隠しされている

家族全員が1枚で証明されている

課税・非課税のみの証明

(令和6年度相当分) 市民税・県民税 所得証明書

住所 ○○県○○市○○町○丁目○番○号
氏名 ○○ ○○

令和5年中の合計所得金額等		課税額等		納税額等	
合計所得金額	*****	住民税課税額合計	*****	※ 以下余白 ※	
総所得金額等	*****	(内) 市民税均等割	*****		
所得控除額	*****	(内) 県民税均等割	*****		
課税標準額	*****	(内) 市民税所得割	*****		
※ 以下余白 ※		(内) 県民税所得割	*****		
※ 以下余白 ※		※ 以下余白 ※			

所得の種類・金額		控除の種類・金額		課税標準額の種類・金額	
給与収入	*****	社会保険料控除	*****	課税総所得	*****
給与所得	*****	生命保険料控除	*****	※ 以下余白 ※	
※ 以下余白 ※		配偶者控除	*****		
		扶養控除	*****		
		基礎控除	*****		
		※ 以下余白 ※			

上記のとおり相違ないことを証明します。
令和6年 4月 5日
○○市長
○○ ○○○

(令和6年度) 所得証明書

住所 ○○県○○市○○町○丁目○番○号
氏名 ○○ ○○

所得内訳		所得金額		控除内訳		控除金額		課税標準額	
給与収入	*****	給与所得	*****	社会保険料控除	*****	社会保険料控除	*****	課税総所得	*****
給与所得	*****	給与所得	*****	生命保険料控除	*****	生命保険料控除	*****	※ 以下余白 ※	
※ 以下余白 ※		※ 以下余白 ※		配偶者控除	*****	配偶者控除	*****		
		※ 以下余白 ※		扶養控除	*****	扶養控除	*****		
		※ 以下余白 ※		基礎控除	*****	基礎控除	*****		
		※ 以下余白 ※		※ 以下余白 ※		※ 以下余白 ※			

上記のとおり相違ないことを証明します。
令和6年 4月 5日
○○市長
○○ ○○○

非課税証明書

住所 ○○県○○市○○町○丁目○番○号
氏名 ○○ ○○

上記の者は、令和4年度の市県民税が非課税であることを証明します。

但し、○○ △△ の扶養である。

令和6年 4月 5日
○○市長
○○ ○○○

①-2 収入計算書 等(日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

原本 [『貸与奨学金案内』に挟み込み]

- 日本学生支援機構奨学金に申請する者は、本紙『奨学金案内』に記載されている提出書類の他に、「収入計算書」および『貸与奨学金案内(大学院)』に記載されている収入に関する証明書類を提出してください。
- 例) 奨学金受給額を証明する書類、生活費の出入れに使用している預貯金通帳のコピー(ネットバンキングの場合は明細画面を印刷したもの)等

② 源泉徴収票

コピー可 [発行元] 勤務先

- 2023年1月～12月分までの1年分の給与額が記載されているか確認してください。途中で就職した場合は、③「年収見込証明書」が必要です。すでに退職している場合は、退職した年の源泉徴収票(「中途就・退職」欄に退職年月日が記載されているもの)を提出してください。
- 紛失、使用済み等で手元にない場合は、勤務先に再発行を依頼してください。
- 同一人物で複数の源泉徴収票がある場合、「現在勤務中のもの」と「退職済みのもの」が判別しやすいよう、各源泉徴収票の右上に赤字で「勤務中」「退職済み」と記載してください。

【注意】市区町村で発行される「住民税課税決定通知書(特別徴収額の通知書)」では受け付けできません。

- 「中途就・退職」欄に年月日が記載されている場合(通常は空欄)、
- 中途就職の場合は「年収見込証明書」の提出が必要です。▶ 本頁③
- 中途就・退職ではなく社名変更等の場合は、余白にその事情を記入してください。

③ 年収見込証明書 [大学所定の申請書式(大学院版)⑨]

原本 [発行元] 勤務先

- 2023年1月2日以降に就職・転職・減給・再雇用等となり、源泉徴収票に丸1年分の給与額が記載されていない場合、1年間の収入見込額を把握するために必要です。
- 大学所定の申請書式(大学院版)⑨を使用して勤務先で証明を受けてください。正社員の場合は必ず年収見込証明書で提出してください。パート・アルバイトなど雇用形態により万が一勤務先で発行してもらえない場合は、直近3ヶ月分の給与明細書のコピーを提出してください。給与明細書には、「氏名」「支給月額」「支給年月」「勤務先名称」の記載が必要となります。また余白に「賞与の有無」「年間の賞与額は給与の何ヶ月分か」および「雇用形態(パート・アルバイト他)」を記入してください。

④ 令和5年分の確定申告書 第一表および第二表

コピー可 [発行元] 本人保管

- 「令和5年分所得税の確定申告書(控)」の第一表および第二表両方のコピーを提出してください。
- 給与と収入がある場合は、中途就・退職を確認するために2023年分の源泉徴収票も添付してください。
- 原則として、「第一表または第二表のどちらかに税務署の受領印(文書收受印)」があるものを提出してください。電子申告を行った場合は、「申告内容確認票の写し(受信通知または即時通知)」のコピーもしくは、電子申告受付後の受信通知のコピーを提出してください。いずれもない場合は、税務署で発行した「納税証明書(その2)」の原本を提出してください。
- 第二表の「所得の内訳」欄に「別紙の通り」等と記載されている場合は、必ず別紙も提出してください。
- 自営業や農業等の所得が少額のため確定申告をしていない場合は、「確定申告していない旨一筆(様式自由)」もしくは市区町村役所に提出した「令和6年度(令和5年分)市民税(県民税)申告書(控)」のコピーもしくは「令和4年度支払調書のコピー」を提出してください。
- 第二表に家族や親族の記載がある場合、個人番号は必ず個人情報保護スタンプで消して提出してください。

※第二表も提出が必要

⑤ 令和5年分の公的年金等の源泉徴収票

コピー可 [発行元] 日本年金機構など

- 受給している公的年金(国民年金(老齢年金・障害年金・遺族年金)・厚生年金・共済年金)について提出してください。
- 「公的年金等の源泉徴収票」は日本年金機構から年に一度郵送されます。
- 源泉徴収票が手元にない場合は、「年金振込通知書」または「年金額改定通知書」をコピーし、余白に1年間の振込回数を記入のうえ提出してください。「年金振込通知書」および「年金額改定通知書」は日本年金機構が発行しています。必ず受給者の氏名の記載があるものを提出してください。

※必ず受給者氏名の記載があるものをご提出ください。通知面に受給者氏名の記載がない場合、はがきの宛名面のコピーも一緒に提出してください。
 ※確定申告をしている場合は、確定申告書(控)の第一表および第二表のコピーを提出してください。確定申告書に公的年金機構の記載がある場合、公的年金等の源泉徴収票は提出不要です。

申請に必要な書類

6 令和5年分の報酬料金支払調書

コピー可 [発行元] 支払者

- 外交員や外務員等で報酬を受けている場合に支払者から発行されます。
- 2023年中に受けたすべての報酬について提出してください。
- ※確定申告書(控)の第一表および第二表のコピーも併せて提出してください。

7 退職証明書

コピー可 [発行元] 勤務先

- 退職年月日が記載されているものを提出してください。退職証明書を提出できない場合は、「退職日の記載がある源泉徴収票」「退職金支給証明書」「退職金の源泉徴収票」「雇用保険の離職票」のいずれかをもちて代えることができます。なお、現在無収入の場合は余白にその旨について記入してください。
- 出願時以降に退職を予定する場合は、勤務先から発行された「退職(予定)証明書」を提出してください。ただし、退職予定は6ヶ月以内のものとする。
- パートやアルバイト等で「退職証明書」や「源泉徴収票」等が発行されない場合は、該当者本人が「取得不可能な証明書に関する申告書④」を作成し、提出してください。現在無収入の場合はその旨についても記入してください。

8 廃業証明書

コピー可 [発行元] 関係官庁など

- 廃業・閉店・破産・倒産・営業停止になった場合は、関係官庁等に届け出た書類または関係官庁等による公的証明書(「破産宣告書」「銀行取引停止通知書」など)、または弁護士等による証明書を提出してください。
- 公的証明書がない場合は、該当者本人が説明書を作成し、提出してください。説明書には、「記入年月日」「業種名」「店舗名・会社名」「廃業年月日」「廃業理由」「作成者自署・捺印」を必ず含めてください(様式自由)。

9 雇用保険受給資格者証

コピー可 [発行元] ハローワーク

- 失業給付金(失業保険)を受給している、または過去1年間に受給していた場合に提出してください。ハローワークで発行しています。
- 「氏名」「離職年月日」「基本手当日額」「所定給付日数」が記入されていることを確認し、両面(表裏)をコピーしてください。

10 アルバイト収入状況報告書[大学所定の申請書式(大学院版)①](日本学生支援機構奨学金の申請者のみ)

- 日本学生支援機構奨学金の申請者で、申請者本人について短期アルバイト等で勤務先から支払証明書(源泉徴収票等)が出ない場合は、「アルバイト収入状況報告書」を作成してください。

11 開業後の収入状況書[様式自由]

原本

- 2023年1月2日以降に営業・経営等を始め現在に至る場合に提出してください。
- 所得を得ている者が、開業後1年間の収入状況がわかるように、「事業所の住所・電話番号」「営業開始日」「業種」「設備等規模」「売上」「経費」「所得金額」「記入年月日」を記載した書類を作成し、自署・捺印のうえ提出してください。

● 世帯事情に関する必要書類[該当者のみ](学内の奨学金および民間団体・地方公共団体の奨学金が提出対象)

以下⑫～⑮の世帯事情に該当する場合は、必ずそれぞれが指定する書類を提出してください。

⑫ 特別な事情がある場合(無収入の世帯、生活保護世帯、母子・父子世帯、2人親世帯で年収合計が210万円以下など)

原本

- 世帯の状況が以下に該当する場合は、生活状況報告書[大学所定の申請書式(大学院版)⑥]を生計維持者または保証人が作成、自署・捺印のうえ提出してください。

- (1) 無収入の世帯
- (2) 生活保護を受けている場合  本頁⑭も参照
- (3) 母子・父子世帯の場合  p.33⑯も参照
- (4) 家計が急変したことにより奨学金を申請する場合
- (5) 源泉徴収票および確定申告書等、収入状況を証明する公的書類が特別な事情で提出できない場合
- (6) 特別な家庭事情がある場合
- (7) その他、審査のために大学が必要とする場合
- (8) 収入が少ない場合(給与と所得者の収入・年金収入・事業所得等の合計金額:2人親世帯で父と母の収入合計が210万円以下)

- [生活状況報告書]は現在の家庭状況・生活状況を把握するために必要です。現在の状況に至るまでの経緯、現在の生活費や学費等の金銭の出所についての説明、養育費や支援の有無と金額について、できるだけ詳細に記入してください。

⑬ 昨年もしくは本年に海外勤務がある場合[大学所定の申請書式(大学院版)⑥]

原本 [発行元] 勤務先

- 勤務先の本社が日本にあり、2023年1月以降海外で勤務している(た)場合は、大学所定の申請書式(大学院版)⑥「海外勤務および給与支払(見込)証明書」を使い、2023年および2024年の現地給与と日本での給与および扶養の関係(扶養者全員分)を勤務先で証明してもらい提出してください。
- 2022年12月以前から現在にいたるまで海外現地法人に勤務している場合は、2023年中の総収入を証明する書類を提出してください(様式自由)。この場合、主要箇所の日本語訳も添付してください。
2023年1月以降に海外現地法人勤務となった場合は、海外勤務開始日を明記して、2023年中の総収入を証明する書類を提出してください(様式自由)。この場合、主要箇所の日本語訳も添付してください。
- 2022年1月時点で海外で勤務をしており、現在は国内に勤務している場合は、「勤務先が発行した海外勤務期間がわかる書類のコピー」および「直近3ヶ月分の給与明細書(コピー可)」を提出してください。(「2023年中の総収入を証明する書類」の提出は不要です。)

⑭ 生活保護を受けている場合

コピー可 [発行元] 福祉事務所

- ⑫の生活状況報告書[大学所定の申請書式(大学院版)⑥]に加え、「保護決定(変更)通知書」(受給金額が記載されたもの)のコピーを提出してください。「受給証明書」では認められません。

⑮ 傷病手当金を受けている場合

コピー可 [発行元] 全国健康保険協会など

- ⑫の生活状況報告書[大学所定の申請書式(大学院版)⑥]に加え、「傷病手当金通知書」のコピーを提出してください。

以下⑬、⑭の世帯事情に該当する場合は、所定の書類を提出することで特別控除(家計審査における考慮)を受けることができます。提出がない場合・提出ができない場合は控除対象外となります。

⑬ 母子・父子世帯の場合

- 母子・父子世帯の場合、生活状況報告書[大学所定の申請書式(大学院版)⑤] (▶ p.32⑫も参照)の提出が必須となります。さらに、母子・父子世帯の事由および同一生計の世帯構成に応じて以下の書類を追加で提出してください。

(1) 母子・父子世帯の事由により必要となる書類

母子・父子世帯の事由	提出書類
死別	遺族年金を受けている場合、「国民年金・厚生年金保険年金証書」「年金振込通知書」のコピー (受けていない場合は、「生活状況報告書」にその旨を記載)
生別(離婚)	児童扶養手当を受けている場合、「児童扶養手当認定通知書」のコピー (対象となる場合で受けていない場合は、「生活状況報告書」にその旨を記載)
生別(長期別居)	

(2) 母子・父子世帯の世帯構成に応じて必要となる書類(同一生計内に提出対象者がいなければ提出不要)

世帯構成	提出対象者	提出書類
父母いずれかがいる世帯	(同一生計内の)60歳以上の祖父母	最新の所得証明書 ▶ p.30①-1 収入に関する必要書類 ▶ p.31②～p.33⑦
父母ともに不在の世帯	(同一生計内の)60歳以上の祖父母・配偶者のいない兄弟姉妹*	

※兄弟姉妹が就学者および就学前の場合、最新の所得証明書および収入に関する必要書類は不要です。

就学者:小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・大学へ通学している者。専修学校(一般課程)、各種学校(予備校、職業訓練学校、語学学校等)へ通学している者は就学者の対象ではないので、提出書類を準備する必要があります。

上記に該当しない家族構成の場合、追加で確認や書類の提出を求める場合があります。

⑭ 障害者がいる場合

コピー可

- 同一生計内の家族に障害者がいる場合(学生本人も含む)、障害の種類に応じ、以下の書類を提出してください。

【提出が必要な書類】 要介護2～5級の介護認定者がある場合 ———— 介護保険被保険者証等、要介護認定書類のコピー

※要支援者と要介護1級は特別控除されません。

心身障害者がある場合 ———— 身体障害者手帳、療育手帳(愛の手帳・みどりの手帳等)、精神障害者保健福祉手帳のコピー

原爆被爆者がある場合 ———— 被爆者手帳のコピー

奨学金Web申請システム

利用対象者

- 正規生として在籍する学生
- 日本国籍を有する者。外国籍の場合は、法定特別永住者・永住者・定住者・日本人(永住者)の配偶者または子、家族滞在で単年度採用の学内奨学金に申請する者。

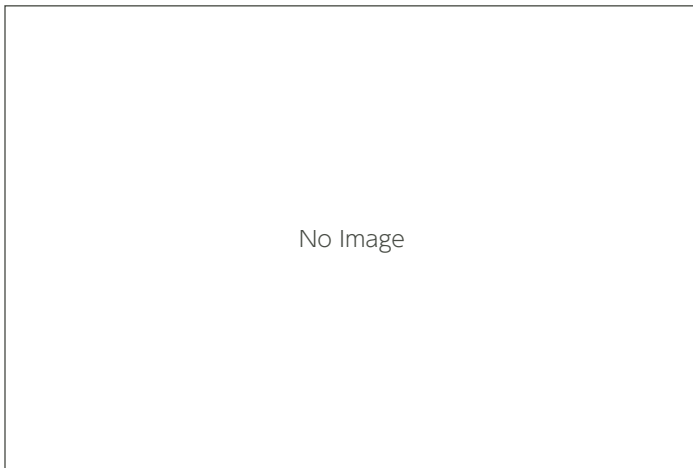
動作環境

- パソコンのブラウザ(Edge/Chrome/FireFox/Safari)をサポートしています。
- スマートフォン(Android、iOSのタブレット含む)での不具合は対応できない場合があります。

利用にあたっての注意事項

- 以下の時間はサービスを停止しますのでご注意ください。
 1. 毎日 AM3:00～AM7:00
 2. 年度末、学期末や臨時で行われるシステムメンテナンス期間※2. についての最新情報は、「K-Support」のNews(システム)を確認してください。
- 保存をせずに入力が続けた場合、30分経過すると接続が切れます。接続が切れた場合、前回の保存後以降に入力したデータが失われますので、こまめに保存するようにしてください。
- 確定後に入力間違いに気づいた場合や記入事項を訂正したい場合は、印刷した申請書・選考シートに修正内容を赤字で記入し提出してください。
- 新年度の入力は奨学金Web申請システムメニュー画面で入力可能日を表示します。それまでは入力しないでください。
(3月中旬頃にお知らせ予定)
- システムの入力は年度単位となります。9月進級者で春学期に奨学金を申請した学生は「申請書」および「選考シート」を印刷後、赤字で変更内容を記入してください。選考シートの内容を大幅に変更する際は在籍キャンパスの奨学金窓口にご相談してください。

(1) 奨学金Web申請システムへのログイン方法



「K-Support」にログインし、「Apps」メニューから「奨学金Web申請システム」を選択してください。

(2) 奨学金Web申請システム メニュー画面の見方



メニュー画面が開きます。該当する課程の「奨学金申請」ボタンを押下すると、申請情報の入力画面に遷移します。(▶ p.35)

「奨学金申請・受給状況確認」ボタンを押下すると、すでに申請・受給済の奨学金の選考状況や採用状況を確認できます。(▶ p.43)

画面上部タブ「書式ダウンロード」をクリックすると、大学所定の申請書式(大学院版)のダウンロードページに遷移します。

(3) 申請情報入力画面の見方

①入力画面は、「申請書」と「選考シート」に分かれています。タブを選択することで、入力画面を切り替えることができます。

②「保存」ボタンを押下すると、入力内容を一時保存します。一時保存したデータは再度編集することができます。「確定」ボタンを押下すると、申請書および選考シートの入力内容を確定し、以降の編集ができなくなります。「確定」を取り消すことはできませんので、確定前に入力内容を十分確認してください。

「プレビュー」ボタンを押下すると、入力内容のプレビューPDFが出力されます。(▶ p.42)

※入力内容に不備があると、「確定」ができません。画面に不備箇所が表示されますので、メッセージに従って入力内容を修正してください。

※申請書のみ、選考シートのみ「確定」はできません。必ず申請書・選考シートすべてを入力してから「確定」してください。

※ログインしてから30分が経過するとセッションタイムアウトとなります。「保存」はこまめに行ってください。

2024年度 大学院奨学金申請書・選考シート 入力上の注意と入力例

- 申請時点での状況を入力してください。
- 数字を入力する欄は、[0]の場合は空白にはせず必ず「0」と入力してください。
- 入力漏れ・入力ミス等の不備がある場合は、選考から外れることがあります。
- 入力内容が事実と相違している場合は、採用後でも採用取消となります。

Step1 「申請書」の入力

奨学金Web申請システム

メニュー 書式ダウンロード ログアウト

2024年度 大学院奨学金申請情報 [大学院生]

保存 確定 プレビュー

申請書 選考シート

基本情報

学籍番号: 82300000

学籍: 研究科: 文学研究科 課程: [] 専攻: 国語学・情報学専攻 2年

学籍: 90 [] [半角]

氏名: 栗原 太郎

生年月日: 西暦 1999年 5月 1日 (24歳)

入学・修了: 西暦 2023年 04月入学/西暦 2025年 3月修了予定

郵便番号: 2230051 [] [ハイフン不要]

住所: 横浜市港北区日吉4-1-1 慶應ハイムA-101

固定電話: 0455660000 [] [ハイフン不要]

携帯電話: 09000000000 [] [ハイフン不要]

研究室 内線番号: (医研・理工研のみ) []

keio.jp メールアドレス: taro.keio@keio.jp

提出前にチェックしてください 自動転送設定方法について

☒ 奨学金に関する連絡は「K-Support」(keio.jpメールアドレスを含む)を通して行うことを理解しました

☒ keio.jpメールアドレスに届くメールの個人アドレスへの自動転送を設定しました

保証人: 90 [] [半角]

保証人氏名: 栗原 隆吉

本人との続柄: 父

郵便番号: 6710000 [] [ハイフン不要]

住所: 大分県中津市1-1-1

T E L: 0987000000 [] [ハイフン不要]

1. 家族及び収入について

家族人数(申請者本人を含む同一生計内の全員) [] 人 ※家族人数は「確定」時に計算されます。

(1) 同一生計の(2)を除く家族について入力してください。予備校生はこの欄へ。(金額が0円の場合は「0」を入力してください。)

※独立生計者として申請する場合は、父母の氏名、年齢、職業を入力し、収入・所得欄は「0」を入力してください。

続柄	氏名	年齢	職業/就職年月	給与収入(税込)	事業収入(税込)	事業所得(税込)
父	栗原 隆吉	50歳	会社員 不動産収入 /西暦 年 月	510万円	195万円	35万円
母	栗原 知子	45歳	パート /西暦 年 月	90万円	万円	万円
祖父	栗原 大吉	80歳	厚生年金			
兄	栗原 一郎	25歳	会社員			

↓父母ともに不在かつ、父母に代わって家計を支えている方がいる場合に入力

☐ 独立生計者として申請する場合はチェックしてください 独立生計の生計

(2) 本人・就学者・就学前の弟妹を入力してください。予備校生は(1)欄へ。入力枠数より人数が多い場合は、入力できなかった者の情報を印刷後、余白に追記してください。

続柄	学校番号	在学学校	学年	通学区分	氏名	年齢
本人	42: 私立	慶應義塾大学大学院	修士2年	自宅外	栗原 太郎	24歳
妹	32: 高等学校	中津女子高等学校	1年	自宅	栗原 花子	16歳

- ① ■ 本人の基本情報は、大学に届け出ている内容が自動で入力されています。入力された情報を変更したい場合は、上書きして編集してください。法務研究科の学生のみ、コースを入力してください。
- ② ■ 登録しているkeio.jpのメールアドレスが自動で入力されています。奨学金に関する大学からの連絡は「K-Support」やkeio.jpのメールアドレス宛に行います。確認のうえ、チェックボックスにチェックを入れてください。keio.jpメールアドレスに届くメールの個人アドレスへの自動転送方法が分からない場合は、リンク「自動転送設定方法について」で確認し、設定を済ませてください。
- ③ ■ 保証人は父母のいずれか(父母ともにいない場合は父母に代わって家計を支えている者)としてください。
- 本人住所と同一であっても「同上」等は使用せず、省略しないで住所を入力してください。主たる生計維持者が単身赴任の場合は、赴任先ではなく家族の住所を入力してください。
- ④ ■ 同一生計の家族のうち、「本人・就学者・就学前の弟妹」を除く家族を入力してください。科目等履修生・別科生・聴講生・研究生・省庁大学校生・予備校生・専修学校生(一般課程)・各種学校生はこの欄に入力してください。本人・就学者・就学前の弟妹は「1.(2)」「③」の欄に入力してください。
- 死別・生別している父母については入力不要です。
- 独立生計者として申請する場合は、チェックボックスにチェックを入れたうえで本人、配偶者および父母の欄について入力してください。ただし、父母の収入欄は入力不要です。
- 「続柄」はプルダウンメニューから選択してください。
- 「職業」欄は空欄にせず、具体的に入力してください。例: 会社員、会社役員、国家公務員、中学校教諭、食料品小売業、会社経営、農業、パート、アルバイト、専業主婦・家事手伝い、無職など
- 就職年月は「職業」欄に入力した職業に就職した年月を入力してください。複数箇所に勤務している場合は、一番最後に就職した年月を入力してください。就学中でない場合は入力不要です。
- 公的年金(国民年金(老齢年金・障害年金・遺族年金)、厚生年金・共済年金)を受給している場合は、年金等の名称を「職業」欄に入力してください。

「同一生計」とは…

同居・別居を問わず、申請者本人と生計を一にする者を指します。必ずしも同じ屋根の下で暮らしているとは限りません。

・兄弟姉妹の場合

- <同居同一生計の例> ■ 就学者でない兄が同居しており、住居費や水道光熱費、食費等、生活費の全部または一部を父が負担している。
- <同居別生計の例> ■ 就学者でない姉が同居しているが、住居費や水道光熱費、食費等、生活費すべてを別管理し、姉の分はすべて姉が一人で負担している。
- <別居別生計の例> ■ 就職して、一人暮らし(社員寮暮らし)している姉がいる。

・祖父母の場合

- <別居同一生計の例> ■ 父の扶養家族となっている祖父が介護老人福祉施設に入居している。
- 別居中の祖母(年金生活)を父が扶養している。
- <別居別生計の例> ■ 祖父母が両親と同じ敷地内の別棟に居住し、祖父母二人だけで生計を立てている。
- 一人暮らしの祖母があり、祖母の生活費は父の兄弟姉妹共同で負担しており、父の扶養家族ではない。

・その他

- <同居同一生計の例> ■ 学生本人と同居しているが養子縁組をしていない父(母)の配偶者。

独立 生 計 者 と し て 申 請 す る 場 合 は 入 力 不 要	(3) 【父】現在の収入源について⇒ ※複数ある場合には全てチェック ※給与が定年退職後の再雇用先から支払われている場合は「再雇用」にチェック ※死別・生別(離婚・長期別居)の場合は入力不要	☒ 給与(☐ 再雇用) ☒ 自営業・農林水産業による所得 ☐ 公的年金(☐ 老齢(退職) ☐ 障害 ☐ 遺族) ☐ 企業年金 ☐ 不動産所得 ☐ 雑所得(内容) ☐ 生活保護 ☐ 児童扶養手当 ☐ 退職金(過去受給分も含む) ☐ その他() ☐ 無収入
	(4) 【母】現在の収入源について⇒ ※複数ある場合には全てチェック ※給与が定年退職後の再雇用先から支払われている場合は「再雇用」にチェック ※死別・生別(離婚・長期別居)の場合は入力不要	☒ 給与(☐ 再雇用) ☒ 自営業・農林水産業による所得 ☐ 公的年金(☐ 老齢(退職) ☐ 障害 ☐ 遺族) ☐ 企業年金 ☐ 不動産所得 ☐ 雑所得(内容) ☐ 生活保護 ☐ 児童扶養手当 ☐ 退職金(過去受給分も含む) ☐ その他() ☐ 無収入
	(5) 父または母が死別・生別(離婚・長期別居・未婚・その他)の場合に ☒ 該当しない ☐ 該当する	▼とは(西暦 年 月)に ▼ ・死別の場合、遺族年金は[▼ (ありの場合年額 万円)] 保険金は ▼ ・養育費等、別生計からの支援は[▼ (ありの場合年額 万円)]
	(6) 父または母が失職の場合に ※退職の場合、退職金の事由を選択 ☒ 該当しない ☐ 該当する	▼は(西暦 年 月)に失職 [事由: ▼] 失業給付金(失業保険)受給は [▼] (なしの場合西暦 年 月終了) 退職金は[▼] ・就業の見込みは[▼] (ありの場合西暦 年 月) ▼は(西暦 年 月)に失職 [事由: ▼] 失業給付金(失業保険)受給は [▼] (なしの場合西暦 年 月終了) 退職金は[▼] ・就業の見込みは[▼] (ありの場合西暦 年 月)
(7) 父または母が休職中の場合に ☒ 該当しない ☐ 該当する	▼は(西暦 年 月)から休職中 ・傷病手当金は[▼] (受給中の場合西暦 年 月 から) (申請中の場合西暦 年 月 申請)	

① ■ 父および母の、現在の継続的な収入源について、該当するものすべてにチェックを入れてください。死別・生別の場合は入力不要です。

⑧ ■ 父または母が死別・生別(離婚・長期別居・未婚・その他)の場合、それぞれ該当する欄に必要事項を入力してください。[該当しない]を選択すると、右側の詳細情報入力欄の内容は無効になりますので注意してください。

【死別の場合】

- 発生年月、遺族年金受給の有無・金額および保険金の有無を入力してください。
- ☒ p.33⑬に従い、「生活状況報告書」(☒ p.32⑫) および、遺族年金を受けている場合は「国民年金・厚生年金保険年金証書」または「年金振込通知書」のコピーを提出してください。

【生別(離婚・長期別居)の場合】

- 発生年月、養育費等別生計からの支援の有無・金額を入力してください。なお、養育費については、本人のみではなく兄弟姉妹全員分の世帯合計額を入力してください。
- ☒ p.33⑬に従い、「生活状況報告書」(☒ p.32⑫) および、児童扶養手当を受けている場合は「児童扶養手当認定通知書」のコピーを提出してください。

⑨ 父または母が失職の場合、それぞれ該当する欄に必要事項を入力してください。[該当しない]を選択すると、右側の詳細情報入力欄の内容は無効になりますので注意してください。

- 発生年月、事由、就業の見込み等を入力してください。
- 退職の場合は「退職証明書」(☒ p.32⑦)に加え、該当者が生計維持者の場合は「生活状況報告書」(☒ p.32⑫)も提出してください。また、失業給付金(失業保険)を受給している(していた)場合は、現在の状況を入力のうえ「雇用保険受給資格者証」(☒ p.32⑨)を提出してください。
- 廃業の場合は「廃業証明書」(☒ p.32⑧)に加え、該当者が生計維持者の場合は「生活状況報告書」(☒ p.32⑫)も提出してください。

⑩ ■ 父または母が休職中の場合、発生年月および傷病手当金受給状況を入力してください。受給している場合、「傷病手当金通知書」(☒ p.32⑮)に加え、該当者が生計維持者の場合は「生活状況報告書」(☒ p.32⑫)も提出してください。[該当しない]を選択すると、右側の詳細情報入力欄の内容は無効になりますので注意してください。

独立 生 計 者 と し て 申 請 す る 場 合 は 入 力 不 要	(8) 【本人】 現在の収入源について⇒	☒ 給与(☐ 再雇用) ☒ 自営業・農林水産業による所得 ☐ 公的年金(☐ 老齢(退職) ☐ 障害 ☐ 遺族) ☐ 企業年金 ☐ 不動産所得 ☐ 雑所得(内容) ☐ 生活保護 ☐ 児童扶養手当 ☐ 児童手当 ☐ 退職金(過去受給分も含む) ☐ その他() ☐ 無収入
	(9) 【配偶者】 現在の収入源について⇒	☒ 給与(☐ 再雇用) ☒ 自営業・農林水産業による所得 ☐ 公的年金(☐ 老齢(退職) ☐ 障害 ☐ 遺族) ☐ 企業年金 ☐ 不動産所得 ☐ 雑所得(内容) ☐ 生活保護 ☐ 児童扶養手当 ☐ 児童手当 ☐ 退職金(過去受給分も含む) ☐ その他() ☐ 無収入

⑪ ■ 本人および、小・中・高等学校・高等専門学校・専修学校(高等課程・専門課程)・大学(短期大学、通信制、専攻科を含む)・大学院の在学者(兄弟姉妹)、および就学前の弟妹を入力してください。上記以外の、科目等履修生・別科生・聴講生・研究生・省庁大学校生・予備校生・専修学校生(一般課程)・各種学校生は就学者に該当しません。[1.(1)](⑩)の欄に入力し、「職業」欄に各種学校名・予備校名を入力してください。

■ 「続柄」「学校番号」は、該当するものをプルダウンメニューから選択してください。

■ 「在学」欄は、××小学校、△△高等学校、○○大学等、正式名称を省略せずに入力してください。

■ 「1.(2)」「⑩」の欄「通学区分」の自宅通学とは、学生本人が生計維持者と同居している場合をいいます。

①～⑩は、独立生計者として申請する場合は入力不要です。⑩で「独立生計者として申請する」にチェックを入れている場合、①～⑩の入力欄は表示されません。

① 独立生計者として申請する場合は、⑩で「独立生計者として申請する」にチェックを入れたうえで、本人と配偶者の収入源について当てはまる項目を選択してください。⑩で「独立生計者として申請する」にチェックを入れていない場合、①の入力欄は表示されません。

⑫ 「給与収入(税込)」「事業収入(税込)」「事業所得(税込)」欄の入力について

- 2023年1月～12月の1年間の収入金額を基礎として算出します。
- 収入は、金額の多少や種類にかかわらずすべてが対象となり、源泉徴収票・確定申告書等を基礎資料とします。
- 金額は1万円未満を切り捨ててください。
- 2023年以降に退職・転職・就職(開業を含む)等により収入状態が変わった場合は、今後1年間の見込み金額を入力してください。またこの場合、給与収入の方は大学所定の申請書式(大学院版)⑩の「年収見込証明書」(☒ p.31③)を、事業収入の方は「開業後の収入状況書」(☒ p.32⑪)を提出してください。

「給与収入(年金等定期収入を含む)」と「事業収入」では入力方法が異なります。p.37～38の説明に従って入力してください。

給与収入(年金等定期収入を含む)の場合

金額は1万円未満を切り捨て

『給与・賞与・専従者給与、公的年金(国民年金(老齢年金・障害年金・遺族年金)・厚生年金・共済年金)、児童扶養手当、傷病手当金、生活保護法による扶助料、失業給付金等の定期的な収入』(以下、“給与収入”と表記)を、奨学金申請においては“給与収入”とみなします。給与収入について、源泉徴収票等を元に入力します。

令和5年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	大分県中津市1-1-1	氏名	ケイオウ トモコ												
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収額												
給料・賞与	909,128	259,128	387,920	0												
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	扶養親族の数	障害者の数	社会保険料等の金額												
有無	0	0	0	0												
(摘要) 住宅借入金等特別控除可能額	円	国民年金保険料等の金額	円	配偶者の合計所得												
居住開始年月日				0												
未成者	乙	本人が障害者	重	勤	専	現	災	外	中	受	給	着	生	年	月	日
成者	成者	特別	一	夫	労	住	害	国	途	給	大	昭	平	年	月	日
支払者	住所(居所)又は所在地	氏名又は名称	(電話)													

- 申請書の「給与収入(税込)」欄に、「源泉徴収票」「公的年金等の源泉徴収票」等の「支払金額」欄の金額を入力します。
- 同一人で給与・年金等の定期的な収入が複数ある場合は、支払金額を合算した後に1万円未満を切り捨てた金額を入力します。

「中途就・退職」欄に年月日が記載されている場合  p.31②

1. 家族及び収入について

家族人数(申請者本人を含む同一生計内の全員) 人 ※家族人数は「確定」時に計算されます。

(1) 同一生計の内(2)を除く家族について入力してください。予備校生はこの欄へ。
(金額が0円の場合は「0」を入力してください)
※独立生計者として申請する場合は、父母の氏名、年齢、職業を入力し、収入・所得欄は「0」を入力してください。

続柄	氏名	年齢	職業/就職年月	給与収入(税込)	事業収入(税込)	事業所得(税込)
父	慶應 諭吉	50歳	会社員、不動産収入 /西暦 年 月	510万円	195万円	35万円
母	慶應 知子	45歳	パート /西暦 年 月	90万円	万円	万円
祖父	慶應 大吉	80歳	厚生年金			
兄	慶應 一郎	25歳	会社員			
		歳				

事業収入の場合

金額は1万円未満を切り捨て

- 確定申告書を基に入力します。
- 収入に、給与・年金などの“給与収入”が含まれない場合はAを、含まれる場合はBを参照してください。

A 収入に、給与・年金などの“給与収入”が含まれない場合

収入の種類	収入金額等	所得金額等	税	金	の	算	そ
事業収入	6605500						
配当	1200000						
給与							
公的年金							
業務							
その他							
総合所得	1503210						
不動産	1100000						
利子							
配当							
給与							
公的年金							
業務							
その他							
総合所得	1403210						
社会保険料控除							

Step1

- ・ 申請書の「事業収入(税込)」欄に、確定申告書「収入金額等」欄の〔A 営業等～①配当、④業務、⑦その他〕の合計金額を入力します。

Step2

- ・ 申請書の「事業所得(税込)」欄に、確定申告書「所得金額等」欄の〔①営業等～⑤配当、⑧業務、⑨その他〕の合計金額を入力します。ただし、金額がマイナスの項目(△で表示)は0円として扱います。マイナス金額を他の項目の所得金額と相殺させることはできません。

続柄	氏名	年齢	職業/就職年月	給与収入(税込)	事業収入(税込)	事業所得(税込)
父			不働収入 西暦 年 月	780万円	150万円	
母			西暦 年 月			

B 収入に、給与・年金などの“給与収入”が含まれる場合

収入の種類	収入金額等	所得金額等	税	金	の	算	そ
事業収入	6605500						
配当	1200000						
給与	1146887						
公的年金	2028000						
業務	1000000						
その他							
総合所得	1503210						
不動産	1100000						
利子							
配当							
給与	496887						
公的年金							
業務	800000						
その他	1607028						
総合所得	1900097						
社会保険料控除							

Step2

- ・ 申請書の「事業収入(税込)」欄に、確定申告書「収入金額等」欄の〔A 営業等～①配当、④業務、⑦その他〕の合計金額を入力します。

Step1

- ・ 申請書の「給与収入(税込)」欄に、確定申告書「収入金額等」欄の〔B 給与、⑥公的年金等〕の合計金額を入力します。

Step3

- ・ 申請書の「事業所得(税込)」欄に、確定申告書「所得金額等」欄の〔①営業等～⑤配当、⑧業務、⑨その他〕の合計金額を入力します。ただし、金額がマイナスの項目(△で表示)は0円として扱います。マイナス金額を他の項目の所得金額と相殺させることはできません。また、〔雑⑦⑧⑨〕のうち年金は金額にかかわらず0円として扱いますので、〔雑⑦⑧⑨〕は〔④業務、⑦その他〕に対応する所得金額をみてください。確定申告書第二表の「総合課税の譲渡所得、一時所得に関する事項」欄の「収入金額」から「必要経費等」を引いた金額が該当します。

続柄	氏名	年齢	職業/就職年月	給与収入(税込)	事業収入(税込)	事業所得(税込)
父			会社員、不働収入 西暦 年 月	317万円	790万円	319万円
母			西暦 年 月			

2. 特別控除について [ページ先読へ](#)

(10) あなたの家庭は母子または父子世帯ですか? ☐ いいえ ☐ はい

(11) 同一生計の家族の中に障害のある方、常に就床を要する介護の必要方はいませんか? ☐ いいえ ☐ はい(はいの場合氏名: 慶應 大吉)

3. 本人の履歴 [ページ先読へ](#)

大学卒業後の履歴(職歴・自己研修・家事従事等を含む)を空白期間がないように入力。

西暦()年()月()日 大学卒業

西暦()年()月～西暦()年()月()日

西暦()年()月～西暦()年()月()日

西暦()年()月～西暦()年()月()日

西暦()年()月～西暦()年()月()日

西暦()年()月 慶應義塾大学大学院入学

西暦()年()月 修了予定

※今後、3ヶ月以上の海外留学の予定がある場合は入力してください。

西暦()年()月～西暦()年()月 留学予定(国名: 留学種別:)

4. 奨学金振込口座について [ページ先読へ](#)

学生本人名義の振込口座を入力してください。

金融機関名 コード

☐ 手入力 漢字

支店・出張所名 店番号

☐ 手入力 カナ

口座名義 カナ

預金種別 普通(総合)

口座番号

4. 留学 [ページ先読へ](#)

金融機関選択

金融機関名	金融機関コード	選択
0000	三井住友	選択
0001	みずほ	選択
0005	三菱UFJ	選択
0009	三井住友	選択
0010	りそな	選択
0016	みずほ・ネット	選択
0017	りそな	選択
0033	シブシブネット	選択
0034	セブン	選択
0035	シニー	選択
0036	あさ	選択
0037	りそな	選択
0038	りそな・ネット	選択
0039	りそな	選択
0040	りそな	選択
0116	りそな	選択

5. 日本 [ページ先読へ](#)

支店選択

支店名	支店番号	選択
0001	本店	選択
0002	丸の内	選択
0003	五反田	選択
0004	新橋	選択
0005	大塚東部	選択
0006	池袋東部	選択
0007	玉川	選択
0010	池袋東部	選択
0011	大塚	選択
0012	伊勢	選択
0013	神奈川	選択
0014	横浜	選択
0015	横浜東部	選択
0016	横浜	選択
0017	横浜	選択
0018	横浜東部	選択

5. 日本学生支援機構・個人出願奨学金貸与・受給状況について [ページ先読へ](#)

「日本学生支援機構奨学金」および個人出願(大学を経由せず学生本人が直接出願するもの)の奨学金について、当該課程において現在貸与・受給中、申請中、今後申請予定の奨学金があればすべて入力してください。

日本学生支援機構 貸与・受給(予定)期間 種類 貸与・受給(予定)額

第一種 (西暦) 年()月～(西暦) 年()月 貸 月額 円

第二種 (西暦) 年()月～(西暦) 年()月 貸 月額 円

個人出願奨学金 貸与・受給(予定)期間 種類 貸与・受給(予定)額

(西暦) 年()月～(西暦) 年()月 貸 月額 円

(西暦) 年()月～(西暦) 年()月 貸 月額 円

※「申請予定」とは、今後申請しようと考えているものことです。

6. 貸与の奨学金について [ページ先読へ](#)

貸与の奨学金(日本学生支援機構奨学金など)を受給しておらず、今年度は申請する予定がない者は、申請しない理由を具体的に記入してください。

7. 日本学術振興会 特別研究員について(博士課程のみ入力) [ページ先読へ](#)

該当するものを選択してください。

☐ 本年度(申請年度)採用されていない ☐ 本年度(申請年度)採用されている(期間: 年()月～ 年()月)

8. JST博士後期課程学生支援プロジェクトについて(博士課程のみ入力) [ページ先読へ](#)

該当するものを選択してください。

☐ 本年度(申請年度)採用されていない

☐ 本年度(申請年度)申請予定もしくは申請中

☐ 本年度(申請年度)採用されている(期間: 西暦 年()月～ 年()月)

①母子・父子世帯の場合、もしくは障害者がいる場合は、その事実を証明する書類を提出することにより特別控除(家計審査における考慮)をします。提出がない場合・提出ができない場合は控除対象外となります。提出が必要な書類についてはp.33⑬⑭を参照してください。

⑤■大学卒業後の履歴(休学・転学・編入・退学・予備校(自宅での入学準備)・職歴等を含む)を空白期間のないように入力してください。大学等卒業後、大学院に進学し、その後再び大学等に入学(編入学)した場合は、最初の大学等卒業時から入力してください。

■3ヶ月以上の海外留学の予定がある場合は入力してください(「留学種別」交換・私費・その他のいずれかを選択)。

⑥■学生本人名義の振込口座を入力してください。普通預金口座(総合口座を含む)、通常貯金口座(ゆうちょ銀行)に限ります。貯蓄預金口座は取り扱いません。

■金融機関名「選択」をクリックすると、金融機関選択画面に推移します。該当する金融機関を選択してください。選択した金融機関コードおよび金融機関名が入力欄に自動で反映されます。入力したい金融機関が一覧にない場合は、金融機関選択画面を閉じて「手入力」チェックボックスにチェックを入れ、入力欄に金融機関コード・金融機関名を入力してください。

■支店・出張所名「選択」をクリックすると、支店選択画面に推移します。該当する支店名・出張所名を選択してください。選択した支店番号および支店名が入力欄に自動で反映されます。入力したい支店が一覧にない場合は、支店選択画面を閉じて「手入力」チェックボックスにチェックを入れ、入力欄に支店の情報を入力してください。

⑦「日本学生支援機構奨学金」および個人出願・自由応募の奨学金について、当該課程において現在貸与・受給中・申請中、もしくは今後申請を予定している奨学金があればすべて入力してください。

⑧貸与の奨学金(「日本学生支援機構奨学金」など)を現在受給中もしくは今年度申請する(した)者以外全員、貸与の奨学金を申請しない理由を具体的に記入してください。

⑨博士課程の学生は、日本学術振興会特別研究員およびJST博士後期課程学生支援プロジェクトの採用状況について入力してください。

Step2 「選考シート」の入力

- ① ■ 研究題目が決定していない場合は、研究予定の専門分野を大別してその概要を入力してください。ただし、法務研究科は入力不要です。
 ■ 指導教員がいない場合、指導教員氏名は入力不要です。また、法務研究科は入力不要です。
 ■ 指導教員氏名には大学に届け出ている指導教員の氏名を入力してください。

- ② ■ 進学のための、将来教育・研究の職、高度の専門性を要する職業に従事する意思などについて入力してください。
 ■ 修士課程、医学研究科博士課程1年生、法務研究科で、研究題目が決まっていない場合は、研究計画、決定時期等を入力してください。

- ③ ■ 卒業・学位論文について入力してください。公表したものは、掲載書誌名を併記してください。なお提出論文がない場合は、これまでの研究内容を詳しく入力してください。
 ■ 修士課程、医学研究科博士課程1年生、法務研究科は入力不要です。ただし理工学研究科修士課程は入力してください。

- ④ 自己評価等について入力してください。

- ⑤ 2024年度の健康診断受診状況について、該当するものを選択してください。

※②～④の記載はプレビュー画面で枠に収まる範囲内にすること。

奨学金Web申請システム		メニュー	書式ダウンロード	ログオフ
2024年度 大学院奨学金申請情報 [大学院生]		保存	確定	プレビュー
①	申請書 選考シート 研究題目 (※2) 指導教員氏名 (※2) (※2)法務研究科は入力不要			
②	(1) 大学院進学のための目的と研究計画および修了後の進路予定・将来の目標を入力			
③	(2) これまでの研究内容(提出論文、紀要、学術雑誌等の発表論文等)について主なものを入力 修士課程・医学研究科博士課程1年生・法務研究科は入力不要。ただし理工学研究科修士課程は入力すること。			
④	自己評価等(性格(長所・短所)・趣味・資格等について)			
⑤	健康状況 いずれかを選択してください。⇒健康診断を ● 受診した ● 受診していない ● 受診予定(受診予定の場合) 月 日 【注意】 毎年、大学保健管理センターで行う定期健康診断を受診していることが奨学金申請の条件です。			

⑥学費とアルバイト等就労状況について入力してください。アルバイトを現在していない場合、今後する予定があればどのくらい勤務をする見込みか、今後する予定がなければその理由を具体的に入力してください。

⑦1ヶ月あたりの平均的な収支について入力してください。「合計」欄は確定時に自動で計算されます。

※学費の入力漏れに注意してください。

※収入と支出は概ね同額となるように入力してください。

①～⑧奨学金選考にあたって重要な資料となりますので、すべての項目について詳細かつ具体的に入力してください。記載内容が不十分な場合は選考において不利になることがあります。

※塾内の助教(有期)や研究員、社会人ドクターとして一定の収入がある場合は、必ず⑥「アルバイト等就労状況」欄に就労の状況を入力してください。

また、⑦本人の1ヶ月あたりの平均的な収支欄は、それらの収入を含めた収支額を入力すること。

JTS博士後期課程学生支援プロジェクトに採用され、生活費を受給している場合は、⑦「収入」欄の「現在受給中(採用済み)の奨学金」にその金額を計上して入力してください。

(3) 申請者の生活状況について入力(独立生計者として申請する場合は入力不要)

ページ先頭へ

6

学費について

納入状況

(西暦) 年度 (春 秋) 学期分 まで納入済

出所

☐ 家族・☐ 奨学金・☐ 本人アルバイト(定職・事業収入を含む)・☐ 本人預貯金・☐ その他()

職種

勤務時間

週 時間

平均月収

円

「アルバイトをする予定だが、まだ決まっていない」場合はどの程度勤務する予定か(週に何時間で行く位収入を得る予定か)を入力してください。また、アルバイトをする予定がない場合はその理由について入力してください。

アルバイト等就労状況

7

申請時点の本人の1ヶ月あたりの平均的な収支について

※書籍代、交通費などはすべて1ヶ月あたりの平均的な収支額を入力すること

金額が0円の場合は「0」を入力してください。

収入		支出	
現在受給中(採用済み)の奨学金	円	学費(※)	円
アルバイト(定職・事業収入を含む)	円	食費	円
小遣い	円	書籍代	円
仕送り(自宅外学生のみ)	円	通学交通費	円
その他()(※)	円	通信費(携帯電話料金等)	円
		交際費(サークル活動等)	円
		預貯金	円
		家賃(自宅外学生のみ)	円
		光熱費(自宅外学生のみ)	円
		その他()(※)	円
合計	円	合計	円

※学費は、年間にかかる分を12ヶ月で割った金額を入力すること。保証人等が学費を支払っている場合は収入欄の「その他」に金額を入力すること。

※その他は金額が1円以上の場合、その内容を記入すること。

※収入と支出の合計額は「確定」時に計算されます。

8

(4) 奨学金を希望する理由について、家計状況や自身の状況等を含めて詳しく入力

ページ先頭へ

なお、家計急変など特筆すべき状況にある場合は、期間、状況なども具体的に入力してください。

※家計急変の場合

事由発生時期 西暦 年 月

(5) 奨学金の使途について入力

ページ先頭へ

41

Step3

入力内容を確定し、入力内容をPDFで出力

奨学金Web申請システム

メニュー 書式ダウンロード ログアウト

2024年度 大学院奨学金申請情報 [大学院生]

保存 確定 プレビュー

申請書 選考シート

基本情報

学籍番号: 823000000

学籍: 研究科: 文学研究科 課程: 修士 2年

コース: 専攻: 図書館・情報学専攻

フリガナ: 奥藤 太郎

氏名: 奥藤 太郎

「申請書」および「選考シート」をすべて入力したら、「プレビュー」ボタンを押下してください。申請書および選考シート入力内容のプレビューPDFが出力されますので、入力内容が所定の枠に収まっていることを確認してください。

(プレビューPDFは「確定」前のため、プレビューPDFを提出して申請することはできません。)

入力内容が正しく表示されていることが確認できたら、「確定」ボタンを押下し、入力内容を確定させてください。「確定」すると、それ以降はページの編集ができなくなります。「確定」を取り消すことはできませんので注意してください。

※入力の不備があると、「確定」を行うことができません。画面上部に入力不備の箇所が表示されますので、メッセージに従って入力内容を修正してください。不備のある部分は、該当箇所が赤色で表示されます。

奨学金Web申請システム

メニュー 書式ダウンロード ログアウト

2024年度 大学院奨学金申請情報 [大学院生]

保存 確定 プレビュー

- 申請書: 家族及び収入について: 2行目の就学者、就学前弟妹情報に未入力項目があります。
- 選考シート: 生活状態について: アレバイト状況: 職種は必須入力です。

申請書 選考シート

基本情報

学籍番号: 823000000

学籍: 研究科: 文学研究科 課程: 修士 2年

コース: 専攻: 図書館・情報学専攻

フリガナ: 奥藤 太郎

氏名: 奥藤 太郎

奨学金Web申請システム

メニュー 書式ダウンロード ログアウト

2024年度 大学

gakushogaku.adst.keio.ac.jp の内容
確定されました。

OK 印刷

基本情報

学籍番号: 823000000

学籍: 研究科: 文学研究科 課程: 修士 2年

コース: 専攻: 図書館・情報学専攻

フリガナ: 奥藤 太郎

氏名: 奥藤 太郎

生年月日: 西暦 1999年 05月 01日 (24歳)

「確定」ボタンを押下すると、入力項目がグレースアウトし、「保存」「確定」「プレビュー」のボタンは選択できなくなります。

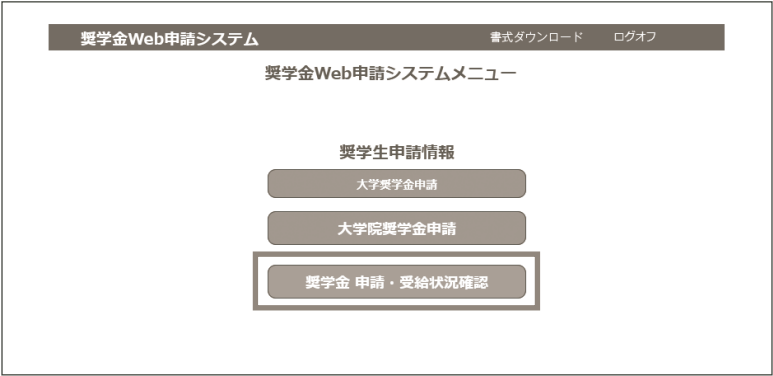
「印刷」ボタンを押下すると、入力内容をPDFで出力します。印刷画面を表示し、ブラウザの印刷機能で印刷(A4白黒片面)してください。印刷された申請書・選考シートの「本人氏名」「保証人氏名」欄が空欄になっているので、それぞれ自署してください。

※画面のスクリーンショットではなく、必ず「印刷」ボタンからブラウザの印刷機能を使用して印刷してください。

※「確定」前のプレビューPDFでは申請を受け付けることができません。必ず入力内容の「確定」を行ってください。

※A4白黒片面印刷で出力されます。用紙サイズや倍率など、印刷設定は一切変更しないでください。書式が異なるものは受理できない場合があります。

奨学金申請・受給状況確認



「奨学金申請・受給状況確認」ボタンを押下すると、すでに申請・受給済の奨学金の選考状況や採用状況を確認できます。



- 当該年度に申請した奨学金(次年度以降受給予定のものを含む)の申請状況・選考状況を確認できます。ただし、日本学生支援機構については表示されません。
- 奨学金別に連絡事項がある場合、この画面に表示されます。ただし、学内書類選考通過の結果については表示されません。塾生サイト「奨学金公募情報一覧」に結果発表方法について記載されていますので、そちらで確認ください。
- 過去の年度については、採用が決定した奨学金のみ表示されます。
- 採用が決定している奨学金については、給付確認通知を出力することができます。

- 「全項目表示」：研究科、学籍番号、氏名、生年月日、奨学金名、奨学金額が表示されます。
- 「一部表示A」：研究科、氏名、奨学金名、奨学金額が表示されます。
- 「一部表示B」：研究科、学籍番号、氏名、奨学金名、奨学金額が表示されます。

※この画面からは公印の入った奨学金の受給を証明する書類を発行することはできません。公印入りの受給証明書が必要な場合は、在籍キャンパスの奨学金担当に申し出てください。ただし、NHK受信料免除申請で利用する場合は、この画面から発行したもので基本的には対応可能です。

個別連絡・メッセージ表示



提出書類に不備や確認事項がある場合、奨学金Web申請システムにメッセージが表示されます。奨学金申請後は奨学金Web申請システムをこまめに確認してください。

[illegible]

(7)父または母が専業主婦の場合に ●該当しない○該当する	○父 ○母 ○両方から世帯中 専業主婦を○無し。○受給者(○申請者、○申請者の配偶者又は子) (受給者の場合のみ)に○持ち出し (申請者の場合のみ)に○持ち出し ○預けし又は借入れ、贈与・返還関係がある。その他○有る。		
独立生活者として申請する場合	○未婚 (○既婚者) ○自営業、農林水産業による所得 ○非営利所得 ○自動車 (運転)、○障害者、○遺族者 ○学生等 ○上場会社役員 ○職内所得 (○給与所得 (1) しは非所得、○課税所得を含む) ○年金等 ○退職金 (退職金を支給する)、○宅内所得 (1) 無収入 ○上場会社 (○高所得) ○収益業、農林水産業による所得 ○非営利所得 ○自動車 (運転)、○障害者、○遺族者 ○失業手当 ○退職所得 ○雑所得 (1) しは非所得 ○児童扶養手当 ○児童手当 ○相続金 (遺言交付あり含む) ○その他 (1) 無収入		
(8)【本人】現在の収入額について○			
(9)【親属等】現在の収入額について○			
2. 特別控除について			
(3)おなじみの家庭には母子または父子世帯ですか? →はいと答えた場合、児童福祉法人や学童、青少年施設に1泊以上の滞在をするか。 (1)同一世帯の家族構成と人数等のある点、同じ世帯を定住する必要がある方(いすきずか) →はいと答えた場合、確認のためお問い合わせください。	●はい及 ○はい ※大企業入組 母子父子世帯 ○あり ○なし		
3. 本人の属性について			
大学卒業後の履歴 (職業、自己研修、家事従事者を含む)			
2022年03月 慶應義塾大学卒業			
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			
年 月 ～ 年 月			
2023年04月 慶應義塾大学大学院入学			
2025年03月 修了予定			
大学所属研究機関：「天は人の上に人を造らず人の下の人に人を造らず」 監督教員：三田 二郎 活動研究概要			
※年々、月以上の海外滞在 (予定) について			
2024年06月 ～ 2025年03月 国名 ドイツ 交換			
4. 留学主動性口書について			
主働情報氏 文芸、出版系名	□匿名鑑人		
三菱UFJ 日付欄数	〒447-807		
金融機関コード	口座番号		
0005	0999000		
5. 日本学生支援機構、個人出願型奨学金、奨学金控除について			
「日本学生支援機構奨学金」とおなじ個人奨励 (大学を専攻して留学生本人が自ら申請できるもの) の奨学金で、 当該奨学金において振込先・受給者・申請者、今後当該奨学金の受取先となる。			
当該奨学金の種類	貸与・奨給 (予定) 期間	種別	貸与・奨給 (予定) 額
第一種	2023年04月 ～ 2025年03月	●貸与中 ○申請中、予定	貸 月額 30000円
第二種	2023年04月 ～ 2025年03月	●貸与中 ○申請中、予定	貸 月額 56000円
個人出願型奨学金	貸与・奨給 (予定) 期間	種別	貸与・奨給 (予定) 額
aic奨学金	2023年04月 ～ 2025年03月	●貸与・給付中 ○申請中、予定	●給付 月額 35000円 ○給 ○給
年 月 ～ 年 月	○貸与・給付中 ○申請中、予定	○給 ○給	円
※申請中は、今後申請しようとして考えているものでない。			
6. 奨育の奨学金について			
奨育の奨学金 (日本学生支援機構奨学金など) を現在支給を受けておらず、今年度は申請する予定がない場合は、市県しない理由			
7. 日本学術振興会 特別研究員について			
○本年度 (申請年度) 採用されていない ●本年度 (申請年度) 採用されている	2023年03月 ～ 2024年03月		
6230000			

		受付番号	
奨学生選考シート<大学院>			
Applicant Information Sheet			
2024年度		出力日：2024年01月31日	
文学研究科		学籍番号	82300000
修士課程		フリガナ	ケイオウ タロウ
図書館・情報学専攻		氏名(自署)	慶應 太郎
2年			
研究題目 「天の土の上に人を造らす人の下に人を造らす」			
指導教員氏名		三田 二郎	
大学院進学目的と研究計画および修了後の進路予定・将来の目標について			
「天の土の上に人を造らす人の下に人を造らす」と言える。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の盡たる身と心との働きをもって天地の間にあるよする物を養ひ、もって衣冠住居を造し、自由自便、互いに人の助けをなさすしてそのおの安楽にこの世を渡らしめ給ふの意なり。されども今、広くこの人間世界を見渡し、にがしき人あり、あつかる人あり、貧しき人もあり、富める人もあり、貴人もあり、下人もあり。その有様と竟との相違するに似たるはたぞや。その次第なりたは明らかなり。「実語教」に、「人、字ばざりば智なし、智なき者は愚人なり」とあり。されば賢人と愚との別は字をば字ばざることによりてできるものなり。また世の中にむすしかし仕事もあり、やすす仕事もあり。そのむすしかし仕事をする者を身分軽き人と名づけ、やすす仕事をする者を身分軽き人といふ。すべて心を用い、心配する仕事はむすかしてして、手足を用うる力役はやすし。ゆゑに医者、学者、政府の役人、またはなる格宛をする町人、あまたの奉公人を召し抱へ大官などは、身分重くして貴き者と言ふべし。身分重くして貴ければそのすからその家も富んで、下の者より見れば及ぶやうになるうなどとも。その本を尋めればただその人に字学の力あるなきことによりてその相違もできたものにて、天より定めた約束にあらず。遂にいく、「天は諸貴を人に与へてして、これをその人の働きに与るものなり」と。されば前にいふ言えんことあり、人は生まれながらにして貴賤・貴賤の別なり。ただ字學を勤めて物事をよく知る者は貴人となり貴人なり、無学なる者は賤人となり下人となるなり。			
これまでの研究内容（主な提出論文、総説、学術指導等の発表論文等）について			
修士課程「文学研究科博士課程1年」法学研究科博士課程1年「天の土の上に人を造らす」修士課程「文学研究科博士課程1年」法学研究科博士課程1年「天の土の上に人を造らす」			
大学院進学目的と研究計画および修了後の進路予定・将来の目標について			
「天の土の上に人を造らす人の下に人を造らす」と言える。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の盡たる身と心との働きをもって天地の間にあるよする物を養ひ、もって衣冠住居を造し、自由自便、互いに人の助けをなさすしてそのおの安楽にこの世を渡らしめ給ふの意なり。されども今、広くこの人間世界を見渡し、にがしき人あり、あつかる人あり、貧しき人もあり、富める人もあり、貴人もあり、下人もあり。その有様と竟との相違するに似たるはたぞや。その次第なりたは明らかなり。「実語教」に、「人、字ばざりば智なし、智なき者は愚人なり」とあり。されば賢人と愚との別は字をば字ばざることによりてできるものなり。また世の中にむすしかし仕事もあり、やすす仕事もあり。そのむすしかし仕事をする者を身分軽き人と名づけ、やすす仕事をする者を身分軽き人といふ。すべて心を用い、心配する仕事はむすかしてして、手足を用うる力役はやすし。ゆゑに医者、学者、政府の役人、またはなる格宛をする町人、あまたの奉公人を召し抱へ大官などは、身分重くして貴き者と言ふべし。身分重くして貴ければそのすからその家も富んで、下の者より見れば及ぶやうになるうなどとも。その本を尋めればただその人に字学の力あるなきことによりてその相違もできたものにて、天より定めた約束にあらず。遂にいく、「天は諸貴を人に与へてして、これをその人の働きに与るものなり」と。されば前にいふ言えんことあり、人は生まれながらにして貴賤・貴賤の別なり。ただ字學を勤めて物事をよく知る者は貴人となり貴人なり、無学なる者は賤人となり下人となるなり。			
自己評価等 性格(風所・知所)・施設・資格等について			
「天の土の上に人を造らす人の下に人を造らす」と言える。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の盡たる身と心との働きをもって天地の間にあるよする物を養ひ、もって衣冠住居を造し、自由自便、互いに人の助けをなさすしてそのおの安楽にこの世を渡らしめ給ふの意なり。			
健康診断結果状況について			
※検診したところの受診していないもの(受診予定(受診予定の場合)： 月 日)			
[注意] 毎季、本学保健センターで行う法定健康診断を受診していると、同窓会連合会の条件です。			

-印刷用-紙<

申請書の生活状況について（随生計書者として申請する場合は不要）

学費について	納入状況 出所	2023年度 〇春 ●秋学期分まで納入済			
		■国家費 ■奨学金 ■本人アルバイト □本人検定費 □その他（ ）			
アルバイト状況					
職種		勤務時間			平均月収
飲食		昼	7時間		49960円

「アルバイトをする予定だが、まだ決まていない」・働けどもの程度勤務する予定（収入に例程度いくら収入を得る予定か）について。また、アルバイトをする予定がない場合はその理由について。

世帯総収入（本人1ヶ月あたり月の平均的な収入について ※費控除、交際費などはすべて1ヶ月あたりの平均的な支出額					
収入				支出	
現在授業中（奨学金等）の学費	59000円	学費（※）			85900円
アルバイト	49000円	食費			39000円
小遣い	85000円	0円			19000円
仕送り（自外学生のみ）		0円			0円
その他（学費）※		0円			0円
	85000円	雑費（携帯電話料金等）			0円
		交通費（スクールバス等）			19000円
		学費（自外学生のみ）			0円
		生活費（自外学生のみ）			60000円
		その他（※）			8000円
		0円			0円
合 計	235000円	合 計			212000円

※学費は毎月の納入分を12ヶ月で割った金額。保証人等の学費を支払っている場合は収入とすることの由に任す。

奨学金を希望する理由について、家族状況や自身の状況等について
なお要計集金など特記すべき状況にある場合は、期満、状況なども記載あり

※家族世帯の集金：事由発生時期 2020年 11月

「人は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」と言えり。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の盡たる者と心との動きをもつて天地の間にあるあらずの物を費り、もつて衣食住の用を達し、自由自在、互いに人の助けをなすすておのおの安楽にこの世を渡らしめ給うの趣意なり。されども、広くこの人間世界を見通すに、かしくき人あり、おろかなる人あり、鈍しき人あり、愚る人あり、貧人もあり、下人もあり。その有様態を忍ぶと相違あるに似たるはなんぞや。その次は賢人と愚人ははた明かしくなり、『実語教』に、「人學ばざるは智なし、智なき者は愚人なり」とあり。されば賢人と愚人とを別は學ぶが學ばざるによりてできるものなり。また世の中にむかしき仕事もあり、やすき仕事もあり。そのむかしき仕事をする者を身分重き人となすけ、やすき仕事をする者を身分軽き人という。すべて心を用ひ、心配する仕事はむかしくして、手足を用うる力役はやすし。ゆえに医者、學者、政府の役人、または大なる飛売をする町人、あまたの奉公人を召し入れる大店などは、身分重くして貴き者と云へし。その身分重くして貴ければおのずからの家も富んで、下の者より見れば及ぶが及ぶらざるゆえにも、その身を尊ぶればたにその人に子孫の力あることなによりてその相違も知るのみにて、天より定めたる約束にあらず。

奨学金の使途について

「人は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」と言えり。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の盡たる者と心との動きをもつて天地の間にあるあらずの物を費り、もつて衣食住の用を達し、自由自在、互いに人の助けをなすすておのおの安楽にこの世を渡らしめ給うの趣意なり。

82330000

Ⅳ. 奨学金以外の経済支援制度について

1. 慶應義塾大学教育ローン制度

本学には在学学生を対象とした、金融機関と提携の「慶應義塾大学教育ローン制度」があります。本制度を利用して、提携金融機関から学生納付金（授業料等の学費およびその他の経費）を借り入れることができます。すでに何かしらの奨学金を受けている学生や、申請条件に合わず奨学金を受給できずにいる学生もこの制度を利用することができます。ただし、金融機関の審査により融資を受けられない場合があります。融資条件等は金融機関によって異なりますので、申し込みの前に各金融機関に確認してください。本制度の詳細については、塾生サイト (<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/support/>) を参照してください。

提携金融機関問い合わせ先

金融機関	取り扱い店	統括店	電話番号
みずほ銀行	国内全店	浜松町支店	03-3437-6800
スルガ銀行	横浜日吉支店・湘南台支店	横浜日吉支店	045-562-1191
オリエントコーポレーション	Webにて申し込み(上記塾生サイト参照)		0120-517-325
楽天銀行			0120-61-6910
SMBCファイナンスサービス			050-3827-0375

留意点

- 申し込みは直接提携金融機関で行ってください。金融機関には、まず「慶應義塾大学教育ローンについて」と申し出てください。
- 申し込みから審査・契約・融資実行まで時間がかかることがあります。大学での学費納入期限に間に合うようゆとりをもって申し込み手続きを行ってください。融資実行日が学費納入期限に間に合わない場合は、在籍キャンパスの奨学金担当窓口で授業料等延納申請手続きを行ってください。教育ローンの手続きに授業料等延納申請の承認通知が必要な場合もありますので、延納申請も忘れずに行ってください。▶ p.11
- 前学期までの学費が未納の場合は当制度を利用することができないことがあります。
- 金融機関での審査により融資を受けられない場合がありますので注意してください。
- 在学中に支払った利息を大学が奨学金として年1回一括給付する「奨学給付制度」は、2016年度以降の学生納付金を対象とした融資、および2016年4月1日以降に実行する融資に対しては適用されません。

2. 国の教育ローン(日本政策金融公庫)

学生納付金(入学金・授業料・施設設備費等)等を保護者に融資する公的な制度です。日本学生支援機構奨学金と重複して利用できます。

国の教育ローンの概要は、日本政策金融公庫Webサイトを参照してください。また、詳細は教育ローンコールセンターへお問い合わせください。インターネットからも申し込むことができます。

- 日本政策金融公庫 国の教育ローンWebサイト
<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

- 教育ローンコールセンター
0570-008656(ナビダイヤル)
(月～金曜日:9:00～19:00、土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。)

※加入している電話で利用できない場合は、03-5321-8656にかけてください。

3. 生活福祉資金 教育支援資金(全国社会福祉協議会)

「生活福祉資金貸付制度」では、低所得世帯(市町村民税非課税程度)に対して、大学に就学するにあたり必要な経費の貸付を行っています。

本貸付制度は、都道府県社会福祉協議会が実施する公的な貸付金制度で、市区町村の社会福祉協議会が窓口となって実施しています。詳細については、お住まいの市区町村の社会福祉協議会または都道府県社会福祉協議会へお問い合わせください。

- 全国社会福祉協議会Webサイト
<https://www.shakyo.or.jp>

V. 特別な事情の場合に申請できる奨学金・経済支援制度

1. 家計が急変した際に申請できる奨学金

原則、慶應義塾大学へ入学後に、主たる家計支持者の死亡・失職・退職・疾病または火災・風水害等による家計急変のため、学業の継続が著しく困難になった場合、以下の奨学金に申請ができます。

種別	奨学金名称	対象	申請時期	参照
給付	慶應義塾大学修学支援奨学金	修士課程・博士課程・法務研究科	5月下旬～6月・11月	p.8
貸与	日本学生支援機構奨学金 「緊急採用(第一種)」 「応急採用(第二種)」	修士課程・博士課程・法務研究科	随時 (事由発生から1年以内)	p.15

※申請にあたっては条件・審査等があり、必ずしも申請者全員が給付・貸与を受けられるわけではありません。

2. 原級(留年)中に申請できる奨学金・経済支援制度

奨学金は、原則進級していないと申請できませんが(休学による原級・留学終了後の原級および博士課程の在学期間延長は除く)、以下の奨学金および経済支援制度は原級(留年)中でも申請することができます。また、外部団体の制度である、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」(▶ p.45)も申請できます。

種別	奨学金名称	対象	申請時期	参照
給付	慶應義塾大学大学院奨学金	修士課程・博士課程	4月入学者:4～5月 9月入学者:9～10月 (研究科により異なる)	p.8
給付	慶應義塾大学修学支援奨学金	修士課程・博士課程・法務研究科	5月下旬～6月・11月	p.8
給付	慶應義塾大学東日本大震災被災学生復興支援奨学金	東日本大震災被災者	在籍キャンパスの塾生サイト 「奨学金公募情報一覧」にて 確認すること	本頁3.
貸与	慶應義塾大学教育ローン制度	修士課程・博士課程・法務研究科	金融機関により異なる	p.45

3. 大規模自然災害(激甚災害)により被災した塾生を対象とする奨学金

東日本大震災等の各種大規模自然災害により被災し、経済的に学業の継続が困難になった塾生に対する給付奨学金です。

種別	奨学金名称	対象	申請時期	支給額(2024年度予定)
学内	慶應義塾大学修学支援奨学金	大規模自然災害被災者 ※東日本大震災は除く	5月下旬～6月・11月	学費の範囲内
学内	慶應義塾大学東日本大震災被災学生復興支援奨学金	東日本大震災被災者	在籍キャンパスの 塾生サイト「奨学金 公募情報一覧」にて 確認すること	学費の範囲内
学外	日本学生支援機構 JASSO災害支援金	学生本人が居住する住宅に半壊以上の被害を受けた場合等	発生月の翌月から 起算して6ヶ月以内	100,000円

※詳細については在籍キャンパスの塾生サイト「奨学金公募情報一覧」で確認してください。

上記に加えて、塾生サイトに特別な事情の場合に申請できる奨学金・経済支援制度の情報を載せています。確認してください。

4. 留学の際に利用できる奨学金・留学を支援するための制度

留学支援を目的とした奨学金には以下の奨学金があります。

種別	奨学金名称	対象	申請時期	参照
貸与	日本学生支援機構奨学金「留学時特別増額」	全学年	留学後3ヶ月以内(予定)	p.15
貸与	日本学生支援機構奨学金「第二種奨学金(海外)」	2025年3月末に修士課程・博士課程を修了(または、大学を卒業)する者、もしくは、申込時において修士課程・博士課程修了(または大学卒業)後3年以内の者	在籍キャンパスの塾生サイト 「奨学金公募情報一覧」にて 確認すること	p.15

上記に加えて、「慶應義塾大学交換留学生(派遣)奨学金」や日本学生支援機構の給付奨学金、留学先大学・国・外国政府などが募集する奨学金など、留学を支援するさまざまな奨学金があります。詳しくは国際センターのWebサイトもしくは、国際センターで配付している冊子『留学のてびき』を参照してください。

●国際センターWebサイト

https://www.ic.keio.ac.jp/keio_student/scholarship/

また、日本学生支援機構のWebサイトにも、海外留学のための奨学金について詳しい案内がありますので、参考にしてください。

●日本学生支援機構

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

なお、現在すでに利用している奨学金がある場合、留学に関わる手続きは奨学金により異なります。p.47「採用後の注意事項」の「留学」欄を確認してください。

Ⅵ. 採用後の注意事項

- 奨学生として採用された場合、奨学生である資格確認をするために、進級・原級(留年)・修了・退学・休学・留学・停学等の在籍情報および学業成績に関する情報(修得単位数・成績評語)を奨学団体に提供することがあります。
- 学則によって停学等の処分を受けた場合は処分開始日以降の期間相当分の金額を返金していただきます。また、不正受給、虚偽申告が明らかになった場合は、入学時に遡り在籍中に受給した金額を返金していただきます。その他特別な事情により、大学が奨学生として相応しくないと判断した場合は、受給中の奨学金や経済支援制度の規程に従い、給付・貸与が停止したり、給付・貸与額の全額または一部返戻、受給権利の喪失などの措置が取られます。

学籍異動(休学・留学・原級・停学・退学)に関わる手続き

採用後に休学・留学・原級(留年)・停学・退学となった場合、奨学金によっては給付・貸与が停止したり、給付・貸与額の全額または一部を返戻しなくてはなりません。すみやかに在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出たうえで、手続きを行ってください。

●休学

奨学金の種類	措置	休学時の手続き	
学内の奨学金	休学する学期は奨学金を受給できません。休学する学期に給付期間の対象にした奨学金をすでに受給している場合は、休学する学期に相当する奨学金の返金が必要です。	休学することが決まった時点で、必ず在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。	返金が必要な場合は大学から通知します。
日本学生支援機構奨学金	学籍上の休学開始日の翌月(日付が1日の場合はその月)から休止します。復学後は「異動願(届)」を提出することで休止していた奨学金を復活することができます。		「異動願(届)」を提出してください。
民間団体・地方公共団体の奨学金	奨学団体により異なります。奨学生としての資格を失う場合や、奨学金が停止となる場合、すでに受給済の奨学金の返金が必要な場合があります。		大学から奨学団体に確認します。

●留学

海外の教育機関に留学する場合の学籍の取り扱い(「留学」か「休学」か)については、所属研究科の「履修案内」でよく確認してください。

奨学金の種類	措置	留学時の手続き	
学内の奨学金	学籍上「留学」という扱いで留学する場合は、留学中も奨学金を継続できる場合があります。ただし、所定の手続きが必要です。詳細は奨学金担当窓口まで問い合わせてください。		—
日本学生支援機構奨学金	留学期間中も奨学金の継続を希望する場合: 「留学奨学金継続願」(所定の用紙)を在学している学校を通じて提出することにより、留学中も奨学金を継続できます。ただし、留学経費の出所によって「留学奨学金継続願」の提出の要否が異なります。詳細は奨学金担当窓口まで問い合わせてください。 留学期間中は奨学金の休止を希望する場合: 「異動願(届)」を提出して、留学期間中の奨学金を休止してください。帰国後はすみやかに「異動願(届)」を提出し奨学金を復活してください。	留学することが決まった時点で、必ず在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。	「異動願(届)」を提出してください。
民間団体・地方公共団体の奨学金	留学期間中も奨学金を継続できるか、期間中は給付・貸与が停止するかは奨学団体により異なります。所定の手続きが必要な場合があります。		大学から奨学団体に確認します。

●原級(留年)

奨学金の種類	措置	原級(留年)時の手続き	
学内の奨学金	給付生としての資格を失います。この場合、支給された金額の全額またはその一部を返金しなければならないことがあります。	返金が必要な場合は大学から通知します。	
日本学生支援機構奨学金	原級(留年)中は停止します。ただし、進級し、所定の手続きを行うことにより、復活できることもあります。	停止・復活いずれの場合も、進級判定後に大学から通知します。	
民間団体・地方公共団体の奨学金	奨学団体により異なります。奨学生としての資格を失う場合や、奨学金が停止となる場合があります。	大学より奨学団体に確認します。	

●停学

奨学金の支給が停止したり、廃止となることがあります。また、奨学金によっては返金が必要となることもあります。手続きに関しては在籍キャンパスの奨学金担当より連絡します。

●退学

奨学金の種類	措置	退学時の手続き	
学内の奨学金	自主退学(在籍期間延長後の期間短縮を含む)の場合: 離籍日以降は奨学金を受給できません。離籍日以降の期間を対象にした奨学金をすでに受給している場合は、月割りにより奨学金の返金が必要です。 処分退学の場合: 退学日が属する学期の受給資格を取り消します。取り消した学期以降を対象にした奨学金をすでに受給している場合は、奨学金の返金が必要です。	退学することが決まった時点で、必ず在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。	返金が必要な場合は大学から通知します。
日本学生支援機構奨学金	学籍上の退学日の翌月(日付が1日の場合はその月)から受給資格を失います。		「異動願(届)」を提出してください。
民間団体・地方公共団体の奨学金	奨学団体により異なります。奨学生としての資格を失う場合や、すでに受給済の奨学金の返金が必要な場合があります。		大学から奨学団体に確認します。

住所変更(本人および保証人)・保証人変更・改姓・振込口座変更に関わる手続き

住所変更(本人および保証人)・保証人変更・改姓の場合は、すみやかに在籍キャンパスの奨学金担当窓口および学事担当窓口(本人の住所変更のみ「K-Support」の「各種変更」「住所確認・変更」から)で手続きを行ってください。また、日本学生支援機構奨学金をはじめ継続して受けている奨学金については、振込口座が変更になった場合についても、在籍キャンパスの奨学金担当窓口まで申し出てください。

■ 奨学金 申請・採用者数(のべ数・2023年度実績) ■

奨学金の種類			申請者	採用者
学内	慶應義塾大学大学院奨学金		331	125
	慶應義塾大学修学支援奨学金		40	29
	指定寄付奨学金		173	25
	学内奨学金合計※1		544	179
学外	日本学生支援機構奨学金※2	第一種	298	286
		第二種		38
	民間団体・地方公共団体の奨学金		584	86

※1 研究のすゝめ奨学金および研究科独自の奨学金の人数は含んでいません。

※2 定期採用のみの人数です。緊急・応急採用・臨時採用の人数は含んでいません。

日本学生支援機構奨学金第一種・第二種の採用者数には併用者数を含みます。

大学所定の申請書式(大学院版)

* 塾生サイトからダウンロードすることができます。

- ④ 学内の奨学金 および 民間団体・地方公共団体の奨学金チェックリスト
- ⑤ 日本学生支援機構奨学金チェックリスト
- ⑥-1 2024年度 奨学金申請票＜大学院生＞
- ⑥-2 2024年度(春) 指定寄付奨学金一斉募集申請票＜大学院生＞
- ⑦ 年収見込証明書
- ⑧ 海外勤務および給与支払(見込)証明書
- ⑨ 生活状況報告書
- ⑩ 独立生計申立書
- ⑪ 取得不可能な証明書に関する申告書
- ⑫ アルバイト収入状況報告書 [日本学生支援機構奨学金のみ提出]
- ⑬ 作文用紙

学内の奨学金 および 民間団体・地方公共団体の奨学金 チェックリスト

Checklist for Internal Scholarships, Private Organizations and Local Government Scholarships

研究科 (修士・博士) 課 程 (既修・未修・LLM) コース	専攻	年	学籍番号									
			フリガナ									
			氏 名									

【注意】書類にマイナンバーが記載されている場合は、その箇所を個人情報保護スタンプで消したうえで提出してください(黒塗りは不可)。

以下の項目について確認を行い、提出するものについて「本人チェック」欄にチェックしてください。

提出書類は、下記①～⑫の順番でととのえ、本チェックリストと一緒に提出してください。

並び順	書類	参照	確認事項	本人 チェック	大学 チェック	備考
①	◎申請票	p.26①	☐ 奨学団体・奨学金名称は合っていますか？ ☐ 春学期募集の指定寄付奨学金の場合、希望する奨学金数は上限の3つを超えていませんか？	☐	☐	
②	△チェックリスト(本紙)	p.26②		☐	☐	
③	2024年度 大学院奨学金申請書	p.26③	☐ 必要事項を全て入力しましたか？ ☐ A4白黒片面印刷で印刷しましたか？ ☐ 本人、保証人の自署はありますか？	☐	☐	
④	大学院奨学生選考シート	p.26④	☐ 必要事項を全て入力しましたか？ ☐ A4白黒片面印刷で印刷しましたか？ ☐ 本人の自署はありますか？	☐	☐	
⑤	最新の所得証明書 ・父母両方[父母ともにいない場合には父母に代わって家計を支えている者] ・独立生計者として申請する場合、本人と配偶者	p.30 ①・1	☐ 市区町村の役所で発行した最新の証明書ですか？ ☐ 父・母それぞれ用意しましたか？(無収入の場合も要提出) ☐ 独立生計者として申請する場合、本人・配偶者それぞれ用意しましたか？ ☐ 所得・収入の種類・内訳と金額、配偶者や扶養者の人数・控除の種類は記載されていますか？ 収入・金額が*****(アスタリスク)等で目隠しされていませんか？	☐	☐	
⑥	収入・世帯事情に関する必要書類 ・父母両方[父母ともにいない場合には父母に代わって家計を支えている者] ・独立生計者として申請する場合、本人と配偶者		☐ 父・母それぞれ用意しましたか？ ☐ 独立生計者として申請する場合、本人・配偶者それぞれ用意しましたか？ ☐ 不足書類のないようp.26～33をよく確認しましたか？ 【注意】 書類はA4サイズに揃えてください。 ☐ 提出する書類にマイナンバーが記載されていませんか？記載がある場合は、その箇所を個人情報保護スタンプで消したうえで提出してください(黒塗りは不可)。 ☐ 収入金額(2人親世帯は210万円以下)によっては「生活状況報告書」を提出する必要があります。	☐	☐	
⑦	収入・世帯事情により特別控除がある場合の必要書類 (以下該当する特別控除に☑) ☐ 母子・父子世帯 ☐ 障害者	p.31② ～ p.33⑯	☐ p.32⑫の事情に該当する場合、「生活状況報告書」[⑥]は用意しましたか？ (以下は控除の内容により異なる) ☐ 母子・父子世帯で同一生計内に働いている兄弟姉妹はいないが60歳以上の祖父母がいる場合もしくは父母不在で同一生計に配偶者のいない兄姉(就学者でない)がいる場合、最新の所得証明書および収入・世帯事情に関する必要書類は用意しましたか？ ☐ p.33⑯ ☐ 母子・父子世帯(死別)で遺族年金を受けている場合、「国民年金・厚生年金保険年金証書」「年金振込通知書」等のコピーは用意しましたか？ ☐ p.33⑯ ☐ 母子・父子世帯で児童扶養手当を受けている場合、「児童扶養手当認定通知書」のコピーは用意しましたか？ ☐ p.33⑯ ☐ 障害者がある場合、身体障害者手帳や要介護認定書類のコピー等は用意しましたか？ ☐ p.33⑯	☐	☐	
⑧	成績関係書類	p.26⑤	☐ 1年生は前課程までのWeb学業成績表(塾内進学者のみ)または学業成績証明書、2年生以上は現課程と、それ以前の課程のWeb学業成績表(塾内進学者のみ)または学業成績証明書を用意しましたか？ 【注意】 ・学業成績証明書は、原本を用意してください。 ・秋学期(9月入学生は春学期)に申請する場合 ☐ p.26⑤	☐	☐	
⑨	学生本人名義の通帳見開きページのコピーまたはWeb通帳の印刷(A4サイズ)	p.26⑥	☐ 学生本人名義ですか？ ☐ 振込ができない銀行を指定していませんか？ ☐ p.26⑥ ☐ 支店名・店番号・口座番号に変更はありませんか？ 【注意】 コピーした用紙を通帳のサイズに切り取らないでください。	☐	☐	
⑩	作文・学習計画書・罹災証明書等 ※指定がある奨学金のみ	p.27⑩	☐ 黒ペンまたは黒ボールペンで記入しましたか？ ☐ 「慶應義塾大学修学支援奨学金」に原級(留年)・選考進級中の者が申請する場合、「学習計画書」をダウンロードのうえ記入しましたか？ ☐ 大規模自然災害により被災した塾生を対象とする奨学金に申請する場合、罹災証明書は用意しましたか？	☐	☐	
⑪	独立生計者として申請する場合に必要な書類	p.27⑮	☐ p.27⑮の事情に該当する場合、「独立生計申立書」[⑩]は用意しましたか？ ☐ 父母等の扶養親族ではないことが分かる書類は用意しましたか？ ☐ 父母等と別居していることが分かる書類は用意しましたか？	☐	☐	
⑫	研究科により申請に必要な書類	p.27⑯	【注意】 ・理工学研究科、政策・メディア研究科の学生は、「研究業績書」の提出が必要です。 ☐ p.27⑯ ・健康マネジメント研究科の学生は、奨学金により「研究計画書」等の提出が必要です。 ・薬学研究科は、奨学金により「研究報告書」等の提出が必要です。	☐	☐	

※郵送申請の場合、在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ発送報告をしてください。

受付印

日本学生支援機構奨学金チェックリスト

Checklist for JASSO's Scholarship Loans

研究科 (修士・博士) 課 程 (既修・未修・LLM) コース	専攻	年	学籍番号							
			フリガナ							
			氏 名							

【注意】書類にマイナンバーが記載されている場合は、その箇所を個人情報保護スタンプで消したうえで提出してください(黒塗りは不可)。

以下の項目について確認を行い、提出するものについて「本人チェック」欄にチェックしてください。

📄 提出書類は、下記①～⑪の順番でととのえ、本チェックリストと一緒に提出してください。

並び順	書類	参照	確認事項	本人 チェック	大学 チェック	備考
①	⑧チェックリスト(本紙)	p.26②		☐	☐	
②	スカラネット入力下書き用紙	p.27⑪	☐ 必要項目をすべて記入しましたか？ ※緊急・応急採用に申請する場合は、緊急・応急採用情報の欄も記入のこと。	☐	☐	
③	記入済みのスカラネット入力下書き用紙のコピー	p.27⑫	☐ 仕上がりの体裁が原本と同じになるように、それぞれの用紙をA3サイズまたはA4サイズで両面コピーしましたか？	☐	☐	
④	収入計算書と 収入・世帯事情に関する必要書類 (申請者本人)	p.26⑧ p.30①-2 p.31②～ p.32⑪	☐ 収入計算書 — 前年用および本年見込用にそれぞれ記入しましたか？ 【注意】各計算書裏面の証明書貼付欄には何も貼付しないでください。	☐	☐	
⑤	収入・世帯事情に関する必要書類 (配偶者)		☐ 不足書類のないようp.26, p.28～33をよく確認しましたか？ ☐ 申請時点ではマイナンバーの提出は不要です。採用手続の際に提出となります。 ☐ 書類はA4サイズで揃えましたか？ ☐ 提出する書類にマイナンバーが記載されていませんか？記載がある場合は、その箇所を個人情報保護スタンプで消したうえで提出してください(黒塗りは不可)。	☐	☐	
⑥	成績関係書類	p.26⑤	☐ 入学して1学期目の者は前課程のWeb学業成績表(塾内進学者のみ)または学業成績証明書、入学後2学期目以降の者は最新のWeb学業成績表のコピーまたは学業成績証明書を用意しましたか？ 【注意】・学業成績証明書は、原本を用意してください。 ・秋学期(9月入学生は春学期)に申請する場合 ➡ p.26⑤	☐	☐	
⑦	【該当者のみ】 在留資格および在留期間が明記されている証明書	p.27⑭		☐	☐	
⑧	確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書	p.27⑬	☐ 右上の日付欄に記入しましたか？ 【注意】本人控としてコピーを取り、保管してください。	☐	☐	
⑨	学生本人名義の 通帳見開きページのコピーまたは Web通帳の印刷 (A4サイズ)	p.26⑥	☐ 学生本人名義ですか？ ☐ 振り込みができない銀行を指定していませんか？ ☐ 支店名・店番号・口座番号に変更はありませんか？ 【注意】コピーした用紙を通帳のサイズに切り取らないでください。	☐	☐	
⑩	研究科により申請に必要な書類	p.27⑯	【注意】理工学研究科の学生は、「研究業績書」の提出が必要です。 ➡ p.27⑯	☐	☐	
⑪	(郵送で申請する場合) 返信用レターバック(1通)		☐ 郵送先住所に自分の住所・宛名を記入しましたか？ 【注意】在籍キャンパスの奨学金担当窓口へ発送報告をしてください。	☐	☐	

受付印

受付番号

Application No.

2024年度 奨学金申請票＜大学院生＞

AY 2024 Application Slip <for Graduate School Students>

※春学期募集の指定寄付奨学金については、©-2指定寄付奨学金一斉募集申請票＜大学院生＞を使用してください。（一部除く）

研究科 Graduate School		(修士 ・ 博士) 課程 Master's Doctor's Course	
		(既修 ・ 未修 ・ L L M) コース 2-year 3-year Course	
専攻 Major		学 籍 番 号 Student ID	
年 Year			

フリガナ	
氏 名 Full name	

申請する奨学金・奨学団体の名称 Awarding Body& Scholarship Name	申請締切日 Application deadline	月 mm	日 dd
--	-------------------------------	---------	---------

作文課題 Essay	☐ あり Submitted	☐ なし Essay not required
---------------	--	---

現在下記に該当しますか？ Enrollment Status
☐ 原級中 Repeated the year
☐ 留学中 Studying abroad
☐ 休学中 Temporary leave of absence
☐ 停学中 Suspended
☐ 該当なし None of above

※本申請票は、申請する奨学金ごとに記入・提出してください。複数の奨学金に申請する場合は、必要な枚数をダウンロード・コピーのうえ使用してください。（本申請票1枚で複数の奨学金の申請はできません）

受付番号

2024年度(春) 指定寄付奨学金一斉募集申請票<大学院生>

AY 2024 (Spring Semester) Donor Designated Scholarships Application Slip <for Graduate School Students>

研究科	(修士・博士)課程 (既修・未修・LLM)コース	専攻	年	学籍番号						
				フリガナ						
現在右記に 該当しますか？	☐ 原級中 ☐ 休学中 ☐ 留学中 ☐ 停学中	☐ 該当なし		氏 名						

申請する奨学会の名称の左欄に○をしてください。(3団体まで選択可)

指定寄付奨学金(1名につき申請できるのは3団体までです。この申請書でまとめて上限3団体まで申請できます。)

課題 作文 A		20621 名古屋三田会	課題 作文 B		20965 和歌山三田会
		20723 浜松三田会			20255 関西婦人三田会
		20415 新宿三田会			20624 奈良三田会
		20748 広島慶應倶楽部			20275 京都慶應倶楽部
		20366 讃岐三田会			20237 川越三田会
		20267 岐阜県連合三田会			21224 城北三田会
		20457 仙台三田会			20760 藤沢三田会
		20911 八千代三田会			20772 不動産三田会
				21326 杉並三田会	

●指定寄付奨学金の課題作文について

- ・申請する奨学金により、課題作文AもしくはBを提出していただきます。AまたはBの指定は上記一覧を参照してください。

なお複数の奨学金に申請する場合で課題作文が同じときは、一つの課題に対して一つの作文を提出いただければ結構です。

(例) 課題作文Bのカテゴリーの中から3つに○をした場合に提出する作文は1枚のみで結構です。

課題作文A	タイトル「A. 活動実績と今後の抱負」1,600字以内
課題作文B	タイトル「B. 指定寄付奨学金に志望する理由と今後の目標」800字以内

※本用紙が不足した場合はコピーして使用してください。

受付番号

年収見込証明書

Certificate of Expected Annual Income

事業主各位

奨学金を申請するにあたり、就職日から1年間または今後1年間の支払総額（賞与を含む見込額）に関する証明をお願いいたします。

【提出先】慶應義塾大学

※事業主の方は太枠内をご記入ください。

給与受給者 氏 名					
現 住 所					
就職年月日	(西暦) 年 月 日	職 名 (役職名)			
給 与	区 分	支払期間	内 訳		支払(見込)総額 (税 込)
			給与	賞与	
	直近の月収 (または見込額)	(西暦) 年 月 分			
就職日から1年間または 今後1年間の支払総額 (賞与を含む見込額)	(西暦) 年 月 分から (西暦) 年 月 分まで		円	円	円
扶 養 家 族					
氏 名			氏 名		
①			④		
②			⑤		
③			⑥		
上記のとおりであることを証明します。 (西暦) 年 月 日 勤務先住所(所在地) 勤務先名(名称) 代表者氏名					
印					

※以下は申請学生が記入すること

研究科	(修士・博士) 課 程	専攻	年
(既修・未修・LLM) コース			
学 籍 番 号		奨学金申請者氏名	

受付番号

海外勤務および給与支払（見込）証明書

Certificate of Employment Overseas and (Expected) Income

事業主各位

奨学金の申請にあたり、昨年および本年の「海外勤務および給与支払（見込）」に関する証明をお願いいたします。

【提出先】慶應義塾大学

氏名			
現住所			
海外勤務期間	(西暦) 年 月 日～ ☐ (西暦) 年 月 日現在、海外勤務中 ☐ (西暦) 年 月 日に帰国以降国内勤務、現在に至る		
赴任地			
給与支払実績・ 給与支払見込	<昨年> 2023年中	(海外勤務期間中) 2023年 月 日 ～ 2023年 月 日	支払給与・賞与 円
		(国内勤務期間中) 2023年 月 日 ～ 2023年 月 日	支払給与・賞与 円
	<本年> 2024年中 (見込みを含む 1年間分)	(海外勤務期間中) 2024年 月 日 ～ 2024年 月 日	支払給与・賞与 円
		(国内勤務期間中) 2024年 月 日 ～ 2024年 月 日	支払給与・賞与 円
	扶養家族氏名 ※帯同者は数字を○で囲む	1	2
	4	5	6

(☐ 2023年中 ・ ☐ 2024年中) は海外勤務のため源泉徴収をしておりません。

現地通貨から日本円に換算する際は、財務省が告示している最新版の外国貨幣換算率に従ってください。

(注) 参照ホームページ

https://www.mof.go.jp/about_mof/act/kokuji_tsutatsu/kokuji/KO-20231226-321.pdf

上記のとおりであることを証明します。

(西暦) 年 月 日

勤務先住所(所在地)

勤務先名(名称)

代表者氏名

印

※以下は申請学生が記入すること

研究科	(修士・博士) 課程 (既修・未修・LLM) コース	専攻	年
学籍番号		奨学金申請者氏名	

受付番号

生活状況報告書
Financial Supporter Report記入日
(西暦)

年 月 日

以下の記載内容に相違ありません。

※太枠内は生計維持者または保証人が自署・捺印し、原本を提出してください。(申請学生の記入は無効です)

生計維持者または保証人 氏 名(自 署)		印	申請学生からみた続柄
-------------------------	--	---	------------

1. 家計状況、家族・学生本人の学費・生活費の出所、家庭事情について具体的に記入してください。
例) 預貯金からの切り崩し、遺産がある、別生計の者からの支援、国の教育ローン・学資保険から捻出等

※母子・父子世帯の場合は、提出が必要な書類を確認するため、以下に発生年月を記入
(西暦) 年 月
☐死別 ☐離婚 ☐長期別居(離婚の予定 有・無) ☐その他()

2. 「同一生計の祖父母・兄姉」や「別生計の者」から経済的支援を受けていますか？
☐はい ☐いいえ
※別生計の者からの経済的支援とは、生別の父または母からの養育費(兄弟姉妹全員分)や、祖父母・兄弟姉妹からの生活費や学費の援助等をさします。
「はい」の場合は以下に記入してください。
(支援者氏名: 申請学生からみた続柄:)
学費支援・生活費支援・養育費等の合計金額: 円/月(円/年)

3. 【該当者のみ】家計が急変したことにより奨学金を申請する場合は、以下に記入してください。
(1) 家計急変の事由が生じた年月 (西暦) 年 月
(2) 家計急変の事由を下記から選択
☐ (父・母・())が死亡 ☐ (父・母)が失職 ☐離婚 ☐長期別居 ☐その他()
(3) 事由発生以前の1年間の所得額:源泉徴収票や確定申告書などを参照して、正確に記入してください。
いずれも税込みの金額を記入すること。

生計維持者	(続柄:)	給与収入	万円	事業収入	万円	事業所得	万円
その他の支援者	(続柄:)	給与収入	万円	事業収入	万円	事業所得	万円

※以下は申請学生が記入すること

研究科	(修士・博士) 課 程	専攻	年
	(既修・未修・LLM) コース		
学 籍 番 号	奨学金申請者氏名		

受付番号

独立生計申立書

Record of Independent Household Finances

1. 私は、次の認定条件の1～4のすべてに該当し父母から独立した生計を営んでいます。(ただし、1はAまたはBのいずれか)
※該当する場合は、以下のチェック欄にチェックをしてください。ひとつでも該当しない項目がある場合や必要書類を提出できない場合は、独立生計として認定できません。

認定条件:以下の1～4のすべてに該当すること (ただし、1はAまたはBのいずれか)		認定条件 チェック ☑	必要書類チェック ☑
1	A 本人(配偶者を含む)に年間103万円を超える収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得証明書が発行される者		☐ 本人および配偶者の最新の所得証明書 ☐ 本人および配偶者の収入に関する必要書類 ☐ 本人の退職・休職証明書(該当者のみ)
	B 本人が本学への入学のために退職(休職)等し無収入となり、あるいは本人(配偶者を含む)の収入が年間103万円未満で、預貯金等により生活を行っている者		
2	父母等(配偶者を除く)の扶養親族でない者		扶養親族ではないことが分かる書類 ☐ 本人の健康保険被保険者証(コピー) ☐ 国民健康保険の場合、保険証をマイナンバーカードに切り替えている場合は、父母の源泉徴収票または確定申告書第一表・第二表(コピー)も必要
3	本人(および配偶者)の父母等と別居している者		別居していることが分かる書類 ☐ 世帯主の省略されていない世帯全員の住民票(3ヶ月以内に発行されたもの。原本)に加え、①、②いずれかを提出 ☐ ①本人名義の賃貸契約書(コピー) ☐ ②公共料金の請求書等(当該年度の4月以降に発行されたもの。コピー)
4	父母等(配偶者を除く)から経済的援助を一切受けていない者		独立生計申立書(本紙)

※上記以外にも必要に応じて参考となる資料の提出を求めることがあります。

2. 私(と配偶者)の1ヶ月あたりの平均収入および平均支出は次のとおりです。

収入			支出		
項目		月平均	項目		月平均
定職(手取り収入)	本人	円	住居費		円
	配偶者	円	水道光熱費・通信費		円
アルバイト(手取り収入)	本人	円	食費		円
	配偶者	円	衣服・日用品費		円
奨学金(給付型)	本人	円	学費		円
	配偶者	円	研究・勉学費		円
奨学金(貸与型)	本人	円	医療費		円
	配偶者	円	子どもの養育費		円
預貯金引出	本人	円	交通費		円
	配偶者	円	交際費		円
その他()	本人	円	その他()		円
	配偶者	円	合計		円
合計 ①		円	合計 ②		円
(①×12=) 収入 年額		円	(②×12=) 支出 年額		円

研究科								(修士・博士) 課 程								専攻				年	
								(既修・未修・LLM) コース													
学 籍 番 号								奨学金申請者氏名													

受付番号

取得不可能な証明書に関する申告書

Report about the certificate that the acquisition is impossible

この書類は、p.28～33の＜収入・世帯事情に関する必要書類の詳細＞のうち次のいずれかの状況に当てはまるが、勤務先から該当書類を取り寄せることができない場合のみ、その代わりとして提出ください。
※海外に住んでいるが、働いていないため収入がない方もこちらの申告書を利用してください。

該当欄に○をしてください

状況	勤務先から取り寄せるべき提出物	該当
2023年1月以降に転職し、現在にいたる	「令和5年分の源泉徴収票」・前職の「退職証明書」	
2023年1月以降に退職した	退職した勤務先の「退職証明書」	

↓
これらを勤務先から取り寄せることができない場合、この申告書の提出が必要になります。

正社員だった場合、退職証明書または雇用保険受給者資格証、離職票等の企業・団体または公的機関の発行する証明書（いずれもコピー可）を提出してください。こちらの申告書は使用できません。

以下は申告者本人が記入してください。（申請学生の記入は無効です）

申告者氏名	申請学生から みた続柄
-------	----------------

以下の記載内容に、相違ありません。

勤務先名
雇用形態（該当する項目に○をしてください） 派遣社員・パート・アルバイト ・その他（ ）
期 間 年 月 ～ 年 月
1ヶ月あたりのおおよその給与額（税込） 円

勤務先名
雇用形態（該当する項目に○をしてください） 派遣社員・パート・アルバイト ・その他（ ）
期 間 年 月 ～ 年 月
1ヶ月あたりのおおよその給与額（税込） 円

取得できない理由

※以下は申請学生が記入すること

年 月 日

研究科	（修士・博士）課 程 （既修・未修・LLM）コース	専攻	年
学 籍 番 号	奨学金申請者氏名		

※日本学生支援機構奨学金のみ

※黒ペンまたは黒ボールペンで記入してください。消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンは使用できません。

※本用紙が不足した場合はコピーして使用してください。

①

受付番号

アルバイト収入状況報告書

この書類は、日本学生支援機構奨学金の申請者で、申請者本人が2023年1月以降にアルバイトに従事していて、勤務先から源泉徴収票または支払証明書（綴じ込み書類）が出ない場合に提出するものです。事実と相違している場合は採用後でも採用取消となりますので正しく記入してください。なお、勤務先が5ヶ所以上ある場合はコピーして記入してください。

勤 務 先 名			
勤 務 内 容			
アルバイト期間			
年	月	～	年 月
1ヶ月の勤務時間			
(過当たり			時間
給 与			時間)
時給 ・ 日給			円
(どちらかに○)			
2023年中の収入総額			
			円
2024年中の収入見込総額			
			円
※2024年4月以降継続しない場合＝0円			

勤 務 先 名			
勤 務 内 容			
アルバイト期間			
年	月	～	年 月
1ヶ月の勤務時間			
(過当たり			時間
給 与			時間)
時給 ・ 日給			円
(どちらかに○)			
2023年中の収入総額			
			円
2024年中の収入見込総額			
			円
※2024年4月以降継続しない場合＝0円			

勤 務 先 名			
勤 務 内 容			
アルバイト期間			
年	月	～	年 月
1ヶ月の勤務時間			
(過当たり			時間
給 与			時間)
時給 ・ 日給			円
(どちらかに○)			
2023年中の収入総額			
			円
2024年中の収入見込総額			
			円
※2024年4月以降継続しない場合＝0円			

勤 務 先 名			
勤 務 内 容			
アルバイト期間			
年	月	～	年 月
1ヶ月の勤務時間			
(過当たり			時間
給 与			時間)
時給 ・ 日給			円
(どちらかに○)			
2023年中の収入総額			
			円
2024年中の収入見込総額			
			円
※2024年4月以降継続しない場合＝0円			

以上のとおり、相違ありません。

年 月 日

研究科	(修士・博士) 課 程	専攻	年
(既修・未修・LLM) コース			
学 籍 番 号		奨学金申請者氏名	

呼番受付

作文用紙

※鉛筆、シャープペンシル、消せるボールペン筆は使用不可。
 ※必要枚数を各自で印刷して利用していただく。※だて書きのみ。
 ※目録を記入していただく。
 ※内容を訂正する場合は、修正箇所には黒線を引いて訂正印を押し、余白に書き直していただく。
 厳禁金名称を記入していただく。

タイトル

作文の課題・テーマについては、募集要項等で確認のうえ、各自で記入してください。

[illegible][illegible]

※採用された場合、この作文は奨学会等に公開されることがあります。

